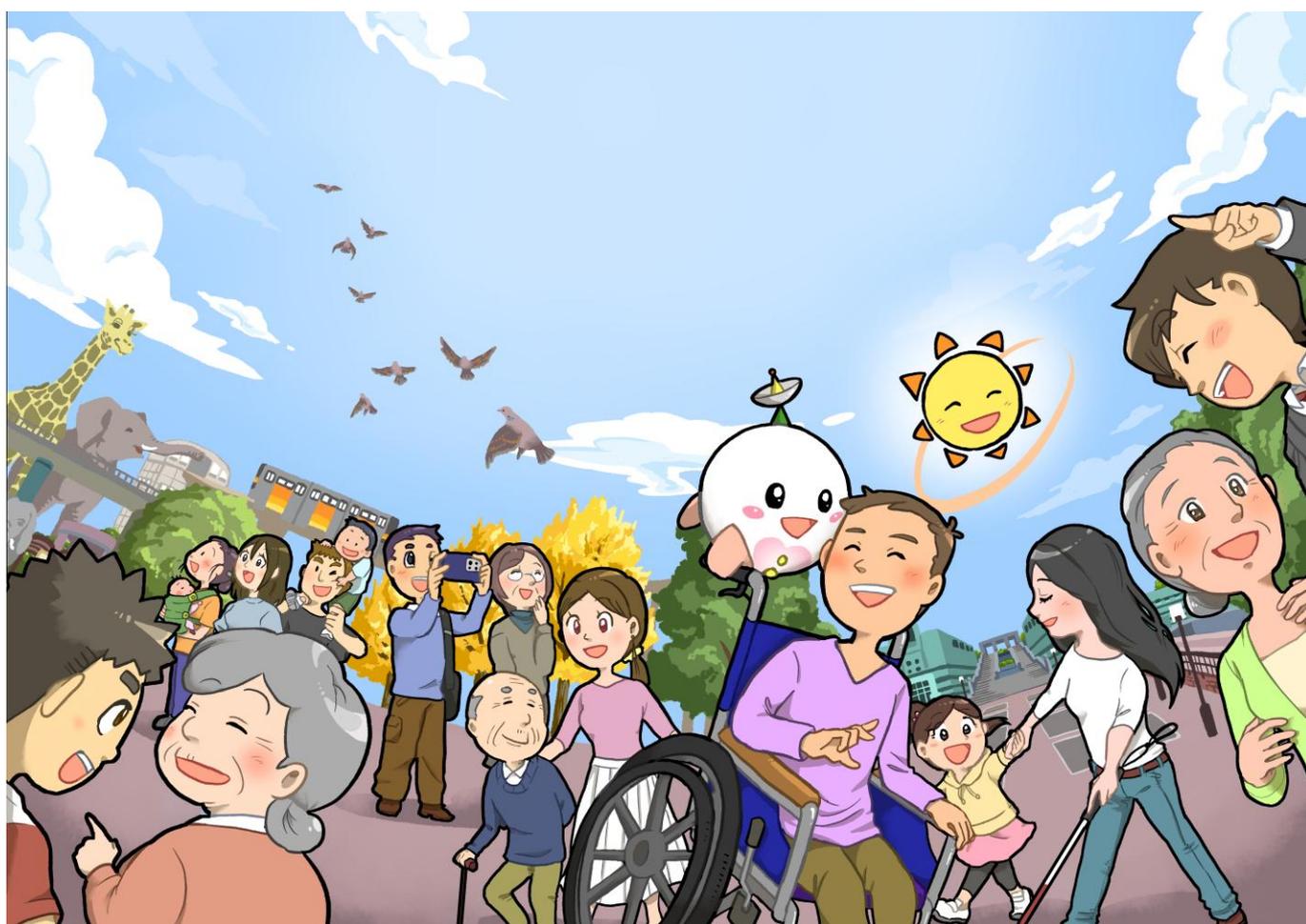


令和6年度 事業報告書



社会福祉法人
多摩市社会福祉協議会

令和6年度 事業報告書 本編 目次

総括	-----	1
新規・重点・拡充事業	-----	2
福祉や地域のことに関心を持つ人が増えている		
施策・取り組み1 広報媒体の拡充、情報発信の強化	-----	6
施策・取り組み2 福祉を身近に感じる機会の提供	-----	8
身近に困りごとを相談できる人が増えている		
施策・取り組み3 様々な(多種多様な)相談を受けられる窓口の強化	-----	10
施策・取り組み4 潜在・複合的な課題へのアプローチ	-----	12
福祉や地域活動に参加するきっかけや機会が増えている		
施策・取り組み5 地域福祉活動への参加のきっかけづくり	-----	14
施策・取り組み6 地域活動の創出支援	-----	15
身近な地域で交流の場や地域のことを一緒に考えていく場が広がっている		
施策・取り組み7 多世代の交流の場づくり	-----	16
施策・取り組み8 同じ課題や関心事を持つ人の居場所づくり	-----	18
地域でのつながりを活かし、活動が充実している		
施策・取り組み9 ニーズに応じた担い手の発掘・育成	-----	19
施策・取り組み10 ネットワークを活かした地域活動の推進	-----	21
生活課題がありながらも地域で安心して暮らせる人が増えている		
施策・取り組み11 見守り・支えあい活動の支援	-----	24
施策・取り組み12 生活支援に係る事業の強化	-----	24

令和6年度 事業報告書 附属明細書 目次

1. 組織運営	
(1) 三役会の開催	27
(2) 理事会の開催	27
(3) 評議員会の開催	28
(4) 監査の概要	28
(5) 各委員会の活動報告	28
(6) 各部会の活動報告	29
(7) 後援名義の使用許可状況	29
(8) 多摩社協活動協力員登録状況	29
2. 連絡調整	
(1) 実習生の受入れ状況	30
(2) 講師の派遣	30
3. 普及・啓発	
(1) 会報「ふくしだより」の発行	32
(2) 福祉バザー	32
(3) 福祉フェスタ	32
(4) 福祉大会	33
(5) メールマガジン配信状況	33
(6) 福祉協力店状況	34
4. 組織強化活動	
(1) 会員賛助金の状況	35
(2) チャリティーゴルフ大会	35
(3) 寄付金の状況	36
5. 助成事業	
(1) 収支の状況	37
(2) 福祉団体補助	37
(3) 老人クラブ連合会事業費補助金	37
(4) 自治会・住宅管理組合ふくし活動助成金	37
6. 地域福祉活動の推進事業	
(1) 収支の状況	40
(2) 相談事業「福祉なんでも相談」	40
(3) ふれあい・いきいきサロン推進事業	41
(4) 小地域福祉活動推進事業	49
(5) 地域福祉コーディネーターの価値向上及び資質向上に向けた取り組み	56
7. 重層的支援体制整備事業	
(1) 契約状況等	58
(2) 収支の状況	58
(3) 参加支援事業の取組み	58
(4) 広域ネットワーク構築・ニーズ把握・周知	59
(5) 多摩市版地域包括ケアネットワーク連絡会	59
8. たすけあい有償活動事業	
(1) 概要	60
(2) 収支の状況	60
(3) たすけあい有償活動活動実績	60
(4) たすけあい有償活動の実施状況	61
(5) たすけあい有償活動協力員研修会	61

(6) たすけあい有償活動協力員懇談会	61
(7) たすけあい有償活動協力員説明会	61
9. 住民主体による訪問型サービス	
(1) 概要	62
(2) 収支の状況	62
(3) 住民主体による訪問型サービス実施状況	62
10. ボランティア・市民活動推進事業	
(1) 収支の状況	63
(2) 多摩ボランティア・市民活動支援センター運営委員会及び各種専門委員会の開催	63
(3) ボランティア育成事業	63
(4) 多摩ボランティア・市民活動支援センター登録団体連絡会	67
(5) 企業・学校・社会福祉法人等による地域貢献活動の促進 (多摩地域企業・大学等連絡会(通称：ゆるたまネット))	68
(6) フードドライブ事業	70
(7) フードパントリー事業	71
(8) 指定寄付金	71
(9) 子ども若者応援助成金交付事業	72
(10) ボランティア活動等振興助成金交付事業	73
(11) 相談事業	73
(12) 協力事業	74
(13) 地域出前事業	74
(14) 学習支援事業(NPO法人BORDER FREE 共催)	75
(15) 販売事務業務委託(市受託事業)	76
(16) 関係機関との連携	76
(17) 多摩ボランティア・市民活動支援センターボランティア登録者状況	76
(18) 多摩ボランティア・市民活動支援センター 利用状況	76
(19) ボランティア相談状況	77
(20) 多摩ボランティア・市民活動支援センター広報状況	78
11. 介護予防ボランティアポイント事業(市受託事業)	
(1) 概要	79
(2) 契約状況等	80
(3) 収支の状況	80
(4) 事業実施状況	80
12. 福祉サービス利用援助事業	
(1) 概要	82
(2) 地域福祉権利擁護事業(東社協受託事業)	82
(3) 東京都福祉サービス総合支援事業(市補助事業)	83
(4) 実施事業	83
13. 成年後見制度利用者支援事業	
(1) 実施事業	85
14. 高齢者あんしんサポート事業	88
15. 資金貸付事業	
(1) 生活福祉資金(東社協受託事業)	89
(2) 小口資金	89
(3) 緊急援護事業	90
(4) ひとり親家庭高等職業促進資金貸付事業(東社協受託事業)	90
(5) 出張相談(しごと・くらしサポートステーション)	90
(6) その他(フードバンク事業)	90

16. 収益事業の実施	91
17. 障がい者地域活動支援センター事業（市受託事業）	
(1) 概要	92
(2) 契約状況等	92
(3) 収支の状況	93
(4) 利用登録状況	93
(5) 実施状況	94
18. 同行援護事業	
(1) 概要	103
(2) 収支の状況	103
(3) 同行援護活動実績	103
(4) 同行援護従事者研修会	104
(5) 虐待防止委員会	104
19. 意思疎通支援（手話通訳者派遣）事業（市受託事業）	
(1) 概要	105
(2) 契約状況等	105
(3) 収支の状況	105
(4) 多摩市登録手話通訳者の活動実績	106
(5) 手話通訳者研修会	106
20. 意思疎通支援（要訳筆記者派遣）事業（市受託事業）	
(1) 概要	107
(2) 契約状況等	107
(3) 収支の状況	107
(4) 要訳筆記者の活動実績	108
(5) 要訳筆記者研修会	108
21. 共同募金関係	
(1) 赤い羽根共同募金	109
(2) 歳末たすけあい運動募金	109
22. その他の事業	
(1) 車椅子貸出事業	110

令和6年度総括

令和6年度は、多摩市第5次地域福祉活動計画前期2年目の年度となり、「つながり 支えあい 安心するまちづくり」を理念に掲げ、6年後の目指す姿の実現に向け、市民や地域の企業や組織、多摩市社会福祉協議会がそれぞれの役割を担い取り組んでまいりました。

特に、令和6年度から新たに受託した重層的支援体制整備事業の参加支援を、市との連携のもと取り組みを始めました。また、地域の企業や学校、社会福祉法人等がゆるやかにつながり、新たな地域貢献活動の輪も広がり、地域の人々と協力した新たなつながりや支援の仕組みの構築を進め、市内の社会福祉法人、企業・大学等のネットワーク等と連携し、継続的な支援・取組を展開するとともに、生活福祉資金特例貸付の償還への対応や、市の自立相談支援機関「しごと・くらしサポートステーション」、生活保護担当課、地域包括支援センターなどと連携し、複合化した地域生活課題への支援に取り組みました。

特に困難を抱える子どもや若者のニーズに即した支援や制度と制度の隙間にあるニーズなど、効果的・効率的な事業の実施に努めました。

これらの取り組みの中で、次世代を担う子どもや若者に対して、多くの市民の方々から継続した支援を頂き、子ども・若者応援基金を活用した多摩市社協独自の助成金交付事業、フードドライブ・フードパントリー事業、多摩地域企業・大学等連絡会（ゆるたまネット）主催の「食料等無料配布事業」等を継続するとともに、更に、NPO法人との共催による「子どもへの学習支援事業」の継続実施へと支援の拡充をいたしました。

なお令和6年度の寄附金約819万円のうち、子ども・若者への指定寄付は約440万円で、全体の53.7%となりました。

一方、超高齢社会を迎え、成年後見制度や権利擁護などをはじめ、単身高齢者の定期的な見守り、入院時の支援、死後事務などを担う支援事業として開始した、「高齢者あんしんサポート事業」も、引き続き多くのお問い合わせをいただき、高齢者の安心へとつながっています。

令和6年1月に発生した能登半島地震では、被災者支援として街頭募金活動や被災地物品の販売など、災害地への継続した支援活動にも取り組みました。

組織運営では、「健幸！ワーク宣言」をもとに、職員のワークライフバランスや定期的な健康相談など、生き生きと働き続けられる職場づくりに努めました。

多摩市社協では、地域福祉活動計画の目指す地域社会の姿（基本目標の具体像）の実現を目指し、令和6年度の活動を総括するとともに、地域福祉活動計画前期の最終年となる明年に向け、多くの市民や地域の多様な企業、団体等と連携しながら、地域生活課題に対して、地域福祉コーディネーターがこれまで培ってきた地域に根差した支援をベースに市民参加型の事業を推進してまいります。

新規・重点・拡充事業

令和6年度は、第5次多摩市地域福祉活動計画を遂行していく2年目となりました。本計画を踏まえ、令和6年度新規・重点・拡充事業として、以下の事項を具体的に推進しました。

■新規事業

・子ども向けボランティア通信の発行(施策・取り組み1)

子ども向けボランティア通信は上記専門委員会で内容を検討、小中学生向けの「たまぼら KODOMO 新聞」として9月下旬に第1号を、2月に第2号を発行し、市内小中学校通じて全校生徒に配布することができた。教育委員会だよりでも取り上げていただいた。「夏のボランティア体験記」「福祉体験学習」「ボランティアパーク」「子ども居場所マップ」等、子どもたちや子どもの居場所を運営する方の声なども含めて掲載し、身近な内容となるよう工夫した。

・当事者の活動への参加支援や場づくり(施策・取り組み7)

令和6年10月から、多摩市立図書館、二幸産業・NSP 健幸プラザを会場に、「生きづらさを抱える方」を対象とした居場所「スペース葉」を毎月実施した(計6回開催)。多摩市立中央図書館による本の選定やボランティア団体ハートフル多摩の協力で参加者の傾聴を行った。また、社協広報媒体や、地域福祉推進委員会や、民生児童委員を通じて、参加支援事業の周知を行い、当事者・関係者からの問合せへの対応を行い、参加支援事業の契約につながった(契約件数3件)。

・子ども・若者応援事業の実施(施策・取り組み10)

・フードパントリーの事業を通じて学習支援ニーズをキャッチし、NPO 法人 BORDER FREE と共催で放課後学習やさくら教室を実施するなど、若者の力を子ども支援につなげることができた。学習支援事業では聖蹟桜ヶ丘(ボラセンと BORDER FREE 共催)と多摩センター(BORDER FREE 単独)の2か所で実施しているが、永山地域で実施してほしいとの声があり、3月から多摩市しごと・くらしサポートステーションの会議室を活用し英検対策の個別教室を開始した。

※子ども若者支援4,409,973円の寄付をいただいた。

・高齢者あんしんサポート事業の推進(施策・取り組み12)

令和5年4月事業開始。より広く市民に事業を周知するため、市民向け・関係機関向け事業説明会の実施、ふくしだより掲載、高齢者関連事業でのパンフレットの配布、ホームページの掲載を行った。

令和6年度は相談件数69件、新規契約2件(80歳代男性1名、70歳代女性1名)があり、令和6年度末契約件数は4件(80歳代男性1名、70歳代男性1名、70歳代女性2名)であった。

相談手段としては電話が一番多く全体の約71%であり、主な相談内容はサービス

の内容や対象者の確認などであった。

■重点事業

・地域出前事業（福祉体験学習）の展開（施策・取り組み2）

・福祉体験学習メニューを作成し、市内小中学校に配布したことで、10校より依頼（昨年度は6校）があり、14回福祉体験学習を行うことができた。中学校からも10年以上ぶりに依頼があり、メニュー表の効果があつた。

・複雑化するケースの社会参加のための活動の創出（施策・取り組み4）

参加支援事業について、社協内での理解促進のため、職員を対象とした事務連絡会を2回開催し、相談窓口職員に事業の周知を行った。また、8050問題に関連し、多摩市内の全地域包括支援センターを回り、包括職員への事業周知を行った。

ゆるたまネットと社会福祉法人ネットワーク連絡会内で、事業の周知を行い、参加支援メニュー案の検討を行った。参加支援事業は、関係機関からの相談等により、3件の契約に至った。

・多機関連携による相談支援体制の構築（施策・取り組み4）

多機関協働については、7月と12月の2回、市の福祉総務課と協働して、介護保険圏域（5圏域）ごとに、多摩市版地域包括ケアネットワーク連絡会のエリア別情報交換会を開催した。7月は、関係機関や専門職間の横のつながりづくりを作るため、それぞれの支援内容を共有した。12月はエリアごとに分かれ、7月に実施した内容の中からテーマで深掘し、情報共有を行った。

・災害ボランティアの育成（施策・取り組み9）

7月に「災害ボランティア講座運営編（参加者19人）」を開催。同月に二幸産業・NSP 健幸福祉プラザにてシステムを活用した「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を実施。市民・関係者・職員を含めて70名が参加。新規3名が登録し災害ボランティア登録者は合計40名となった。11月にゆるたまネット、社福法人NW連絡会と共催で「災害ボランティア講座（参加者20名）」を開催。水害を想定したまち歩きを実施した。

・フードドライブ・フードパントリー事業の推進（施策・取り組み10）

【フードドライブ】

市内にフードドライブ受付窓口を10カ所設置（募菓子箱設置2カ所含む）や、市内読売新聞販売所が購読世帯にフードドライブを実施し定期的に食料の寄付を受ける他、「たまこどもフェス」（ベルブ永山）や「せいせきフードドライブ」（京王ショッピングセンター）などイベント時に合わせて実施するなど支援の輪をひろげることができた。

実績 令和6年度 473件 8,927kg （昨年度 623件 7,894kg）

【フードパントリー】

ゆるたまネットの食料無料配布事業の参加者を対象にアンケートを実施し、継続した支援が必要と回答した方（80世帯）を対象に、多摩ボラセンで毎月フードパントリーを実施し支援した。また、7月より「概ね30歳代までの社会との接点の少ない方がいる世帯」を支援対象に含め、重層的支援体制整備事業の参加支援につなげた。

貸付に係る相談で生活困窮ではあるが、貸付要件に非該当となる方へ食料支援を実施（52件）。食料支援によって次の収入までの間、生活を繋げる支援を行った。

■拡充事業

・ 新たな SNS コンテンツを活用した情報発信（施策・取り組み1）

新たに「ボランティア情報・活動拡充事業専門委員会」を設置し SNS の活用に向けた検討を行った結果、多世代が多く利用している LINE 及び X（旧 Twitter）での情報発信を試行的に実施。各講座やボランティア見本市の情報発信を X（旧 Twitter）にて1月～3月にかけて24回発信した（フォロワー数27人）。

・ 地域福祉推進委員会の SNS 導入支援（施策・取り組み1）

地域福祉推進委員会で Instagram や、YouTube を取り入れ、多世代に情報発信を行い、それぞれ Instagram の若い世代や、他市からのフォロワーも増えつつあり、福祉分野に留まらず、関心を持ってもらえている。桜ヶ丘、連光寺・聖ヶ丘、馬引沢・諏訪地区、関戸・一ノ宮に加え、今年度、貝取・豊ヶ丘の委員会でも新たに SNS に取り組んでおり、フォロワーは徐々に増えている。また、永山地域ではまち歩きのグループ LINE で行き先や当日の写真を共有するなど住民同士の情報交換の場を作っている。

* Instagram を実施している地域福祉推進委員会

- ・馬諏：フォロワー 令和5年度末107人→令和6年度末127人（20人増）
- ・桜ヶ丘：フォロワー 令和5年度末67人→令和6年度末80人（13人増）
- ・貝豊：フォロワー 令和6年度末19人（令和6年度から）

・ ボランティア出張相談窓口の拡充（施策・取り組み3）

多摩ボラセン運営委員会内に新規に設置の専門委員会で検討。昨年度1校で実施の出張相談の状況（学校に向いて相談を受付しても効果が期待できない）等を鑑み、出張相談窓口の開設にこだわらず、事業（夏ボラ出張受付）やゼミ・サークル等通じて大学のみならず、市内の高校とも連携し、学生に働きかけを行うことにした。結果、夏ボラでは大学生52人（昨年度28人）、高校生85人（昨年度62人）が活動に参加した。

・ 地域福祉推進委員会の ICT 活用(施策・取り組み6)

連光寺・聖ヶ丘地区の地域福祉推進委員会は常時オンラインとの併用開催を行っており、普及啓発講座等は、オンライン参加者が定着化してきている。他の委員会については、地域の情報共有、意見交換などは、極力対面で実施したいという意向があるため、オンライン開催は希望者がなく、併用していない状況である。しかしながら、若い世代や専門機関等の参加、感染症等の状況も踏まえ、継続してオンライン対応ができるように常に準備態勢を整えていく。

令和6年度 事業報告書

本編

《事業報告書本編の見方》

施策・取り組み 1 広報媒体の拡充、情報発信の強化

第5次多摩市地域福祉活動計
期計画で記した、主な3年間の
取り組み内容

取組の方向性 (内容)		令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
年次計画	拡充 新たな SNS コン テンツを活用し た情報発信 (ボラ担当)	●検討	●実施	→
	新規 子ども向けボラ ンティア通信の 発行 (ボラ担当)	●検討	●発行	→
	ふくしだよりの 充実 (総務係)	●紙面内容の見直 し検討	●実施	→
	拡充 ホームページ・ フェイスブッ ク・メールマガ ジン等の運営	●HP リニューアル 実施 ●FB 実施	→	●見直し ●見直し
	地 員会の SNS 導入 支援 (まち担当)		●エリア試行実	●実施
令和6年度 事業計画 (実施目標)	<p>[ボラ担当]</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちに、福祉やボランティア活動に関心を持ってもらえるように子ども向けボラン ティア通信の発行に向けた検討を行う。 同様に、幅広い年代の方々に関心を持ってもらえるように、新たな SNS コンテンツ活用 した情報発信について検討を行う。 <p>[総務係]</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙面の見直しを図り、内容の充実を図る。 ホームページのリニューアル及びホー <p>[まち担当]</p> <ul style="list-style-type: none"> 若い年代の方々にも地域活動に関心を持ってもらえるように、各エリアの地域福祉推進 委員会で、SNS コンテンツを活用した情報発信について検討を行う。 			
取組結果	<p>令和6年度の計画に対し での取組結果</p>			

第5次多摩市地域福祉活動計画
計画の3年間の年次計画

令和6年度の事業計画
(実施目標)

基本目標の具体像（6年後の目指す姿）

福祉や地域のことに関心を持つ人や機会が増えている

【社協に求められる役割（取り組み）】

- ・福祉を身近に、関心を持ってもらえるように、ふくしだよりやボランティア通信などの広報紙、ホームページ、メルマガ、SNS などを通じて多世代に向けた情報を発信する
- ・小学生、中学生、高校生など子どもたちから地域の方々まで、幅広い年代に福祉に関心を持ってもらえるよう福祉学習の機会を増やす
- ・福祉・地域活動団体と連携した「福祉」に関する普及・啓発を実施する

施策・取り組み 1 広報媒体の拡充、情報発信の強化

取組の方向性 (内容)		令和 5 年度 (2023 年度)	令和 6 年度 (2024 年度)	令和 7 年度 (2025 年度)
年次計画	従来の広報紙「ふくしだより」「ボランティア通信」「サロン通信」等の紙媒体、社協ホームページ、メールマガジン等の電子媒体などを活用した情報発信を継続しながら、新たに YouTube、LINE、Instagram などの多様な媒体 (SNS 等) を活用し、多世代が福祉を身近に関心を持ってもらえるように情報発信していきます。			
	拡充 新たな SNS コンテンツを活用した情報発信 (ボラ担当)	●検討	●実施	→
	新規 子ども向けボランティア通信の発行 (ボラ担当)	●検討	●発行	→
	ふくしだよりの充実 (総務係)	●紙面内容の見直し検討	●実施	→
	拡充 ホームページ・フェイスブック・メールマガジン等の運営 (総務係)	●HP リニューアル実施 ●FB 実施	→	●見直し ●見直し
拡充 地域福祉推進委員会の SNS 導入支援 (まち担当)	●導入検討	●各エリア試行実施	●実施	

<p>令和 6 年度 事業計画 (実施目標)</p>	<p>[ボラ担当]</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちに、福祉やボランティア活動に関心を持ってもらえるように子ども向けボランティア通信を発行する。 同様に、幅広い年代の方々に関心を持ってもらえるように、YouTube や LINE を活用した情報発信を実施して、引き続き他の SNS の活用について検討を行う。 <p>[総務係]</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙面構成見直し変更した構成を実施継続していく。 ホームページのリニューアル後の SNS 活用について、更新頻度、PR 方法などの質の向上を図り、利用者へより興味が持てる情報を提供していく。 <p>[まち担当]</p> <ul style="list-style-type: none"> 若い年代の方々にも地域活動に関心を持ってもらえるように、各エリアの地域福祉推進委員会で、SNS を活用した情報発信について検討し、取り組んでいく。また、コンテンツや更新については、住民主体で行えるよう、様々な団体や個人と連携・協働しながら行なえるように支援していく。
<p>取組結果</p>	<p>[ボラ担当]</p> <ul style="list-style-type: none"> 多摩ボラセン運営委員会内に新規に「ボランティア情報・活動拡充事業専門委員会」を設置し、SNS の活用に向けた検討を行い、LINE、X(旧 Twitter1 月より)を開設。 <p>LINE は、運営委員、専門委員、ボランティア登録団体連絡会、ゆるたまネットなど登録者を制限し、無料の範囲内で8月から月に 2 回程度試行的に情報発信することにした(令和7年4月から本格的に情報発信予定)。公式 X(旧 Twitter)は1月に開設し、各講座やボランティア見本市の情報発信をX(旧 Twitter)にて、3カ月間で24回発信した(フォロワー数27人)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども向けボランティア通信は上記専門委員会で内容を検討、小中学生向けの「たまぼら KODOMO 新聞」として9月下旬に第1号を、2月に第2号を発行し、市内小中学校通じて全校生徒に配布することができた。教育委員会だよりでも取り上げていただいた。タマボラくんを編集長とし、「夏のボランティア体験記」「福祉体験学習」「ボランティアパーク」「子ども居場所マップ」等、子どもたちや子どもの居場所を運営する方の声なども含めて掲載し、身近な内容となるよう工夫した。 <p>[総務係]</p> <ul style="list-style-type: none"> ふくしだよりの発行において、地域の福祉活動や市民活動、社会貢献活動等の読み手が関心を持てる内容の地域活動記事を掲載した。ホームページについて、タイムリーな情報発信等頻度は上がってきているが、更に画面スライド等の視覚的効果等を利用し PR 力を高める必要がある。SNSのアイコンをトップページに新設しSNSへアクセスのし易さを高めた。 <p>[まち担当]</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域福祉推進委員会で Instagram や、YouTube を取り入れ、多世代に情報発信を行い、それぞれ Instagram の若い世代や、他市からのフォロワーも増えつつあり、福祉分野に留まらず、関心を持ってもらっている。桜ヶ丘、連光寺・聖ヶ丘、馬引沢・諏訪地区、関戸・一ノ宮に加え、今年度、貝取・豊ヶ丘の委員会でも新たに SNS に取り組んでおり、フォロワーは徐々に増えている。また、永山地域ではまち歩きのグループ LINE で行き先や当日の写真を共有するなど住民同士の情報交換の場を作っている。 <p>* インスタグラムを実施している地域福祉推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 馬諏:フォロワー 令和5年度末 107人→令和6年度末 127人(20人増) 桜ヶ丘:フォロワー 令和5年度末 67人→令和6年度末 80人(13人増) 貝豊 :フォロワー 令和6年度末 19人(今年度から)

施策・取り組み2 福祉を身近に感じる機会の提供

<p>取組の方向性 (内容)</p>	<p>「福祉フェスタ」等のイベントや「地域出前事業(福祉体験学習)」等の啓発・理解促進事業などを通じて、子どもたちをはじめ多世代が、「福祉」を身近に感じる機会を提供します。</p> <p>障がいのある方に対する理解を深めるため、当事者団体と連携し、対象や年代別の理解促進プログラムを実施します。</p> <p>成年後見制度に関する制度説明の講座を実施し、より多くの市民が成年後見制度を知る機会を設けます。</p>			
<p>年次計画</p>		<p>令和5年度 (2023年度)</p>	<p>令和6年度 (2024年度)</p>	<p>令和7年度 (2025年度)</p>
	<p>福祉フェスタの開催 (総務係)</p>	<p>●感染症流行防止に対応した開催</p>		
	<p>福祉大会の開催 (総務係)</p>	<p>●50周年式典の開催(外部会場で実施)</p>	<p>●実施</p>	
	<p>重点 地域出前事業 (福祉体験学習)の展開 (ボラ担当)</p>	<p>●福祉体験学習メニューの検討・作成・周知</p>	<p>●年10回以上</p>	<p>●年15回以上</p>
	<p>ボランティアパークの開催 (ボラ担当)</p>	<p>●見直し・検討・実施</p>		
	<p>障がい者理解促進のプログラムの開催 (センター係)</p>	<p>●年間2事業実施</p>	<p>●年間3事業実施</p>	<p>●年間4事業実施</p>
	<p>成年後見制度等の普及・啓発講座の開催 (権利擁護)</p>	<p>●成年後見制度等に関する講座の開催 (年4回)</p>		
<p>令和6年度 事業計画 (実施目標)</p>	<p>[総務係]</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉フェスタ・福祉大会等で、感染症の状況を踏まえつつ積極的な参加を募り、参加団体や参加者増に向けた普及・啓発事業を実施する。 マスコットキャラクターを広報媒体等で活用し、市民への定着化、社協への意識強化を図っていく。 <p>[ボラ担当]</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉体験学習メニューを周知活用して、市内の学校や関係機関で10回以上、福祉体験学習を行う。 福祉フェスタなどのイベント内で、ボランティアパークを企画・実施し、子どもたちはじめ多世代が気軽にボランティア体験できる場の提供を行う。 <p>[センター係]</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害理解のためのツールを活用(リーフレットやDVD、理解動画など)し、障がい当事者との交流の機会「ひとときの和」を継続開催すると同時に、開催後も福祉学習として継続してもらえるよう、学校への情報提供を強化する。普及啓発の映画会や地域での出張講座等により、障がいについて知る機会を増やす。 <p>[権利擁護]</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携し広く市民に成年後見制度を周知し、制度を必要とする市民が適切に利用できるよう支援する。 			

取組結果	<p>〔総務係〕</p> <p>・福祉フェスタ</p> <p>新型コロナウイルス感染症が5類となったことから、飲食場所以外は制限なしで実施し来客者の参加交流促進となった。準備設営、撤収作業を外部委託し職員体制を削減し、それによりイベントに関わる部分を充実し運営の効率化を実施した。今後も参加者を増やしていくため参加者、参加団体の意向確認と唐木田にある4館で連携し広報活動の強化と地域イベントと地域交流の活性化を継続していく。今年度マスコットキャラクターの着ぐるみ制作を進め8月に完成。「たまふくちゃん」の着ぐるみを使用し「親しみやすい社協」のPR活動にあたった。</p> <p>・福祉大会</p> <p>2月22日に福祉大会を第1部式典、第2部講演会で開催。地域福祉功労者表彰に加え「生きづらさを感じている方々の状況の理解」の当事者を交えた講演会と重層的支援体制整備事業報告会を実施し事業理解を深めた。会場は抽選予約となるが、今後は公民館ホール等市民の参加につながりやすい場所を会場とし、催し内容を精査し参加者へのPRを強化できるように開催していく。</p> <p>〔ボラ担当〕</p> <p>・福祉体験学習メニューを作成し、市内小中学校に配布したことで、10校より依頼(昨年度は6校)があり、14回福祉体験学習を行うことができた。中学校からも10年以上ぶりに依頼があり、メニュー表の効果があつた。</p> <p>・多摩ボラセン登録団体の協力のもと、ボランティアパークと題して外部イベントや社協/ボラセン主催イベント内にて3回実施(10月福祉フェスタ、2月VITAふれあいまつり、3月ボランティア見本市)した。2月の見本市は多摩ボラセン登録団体連絡会と共催で開催し、25団体の参加のもと平日にもかかわらず90名が来所した。うち10名以上がその後各団体の活動などにも参加し、活動者の裾野を広げることができた。土日のイベントはボランティア活動に関心をもってもらうなど啓発にはなるが、参加者を活動に直接結びつけるには、平日実施の方が効果があつた。</p> <p>〔センター係〕</p> <p>・「ひとときの和」は輪番制により2校で開催(R7.1月:大松台小学校(参加生徒:65名)、R7.3月:北諏訪小学校(参加生徒:91人))</p> <p>・「ひとときの和」においては、身体障害におけるいわゆる3障害(聴覚・視覚・肢体不自由)に加え、従来児童への障害理解の機会が少なかった知的障害や精神障害について、当事者や保護者からの体験談などを通じて、理解への取り組みを始めるに至った。</p> <p>〔権利擁護〕</p> <p>・10月「市民のための成年後見講座」参加者18名、R7.1月「司法書士による成年後見制度相談会」参加者6組、1月行政書士による「障害のある方とその家族のための成年後見の集い」参加者16名、を実施し制度の周知をおこなうことができた。どの講座もアンケート結果から「わかりやすかった」「まあまあわかりやすかった」などの回答を得られた。</p>
------	--

6年後の目指す姿

身近に困りごとを相談できる人や場が増えている

【社協に求められる役割（取り組み）】

- ・相談をワンストップで受け止め、複合的な課題にも市や専門機関と連携して対応していく
- ・必要な人に必要な情報が届くようにする
- ・ひきこもりや不登校、ヤングケアラーなど、潜在している複合的な課題やニーズに合わせた福祉勉強会などを開催し、気づきの視点を高める場をつくる
- ・福祉なんでも相談など、地域に職員が出向き、気づきを相談できる場を拡充する

施策・取り組み3 様々な（多種多様な）相談を受けられる窓口の強化

取組の方向性 (内容)	<p>誰もが身近な地域で様々な相談を気軽に受けられるよう、「福祉なんでも相談」や「ボランティア出張相談(ボランティアカフェ)」、「成年後見制度等の相談会」の拡充を図ります。</p> <p>ひきこもりや、ヤングケアラーなどの複合的な課題を抱えた方の課題等に対しては、関係機関等と連携して講座の開催を実施します。</p>			
		令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
年次計画	拡充 ボランティア出張相談窓口の拡充 (ボラ担当)	●市内大学で新たに1校実施に向けた調整	●市内大学で新たに1校実施	●市内大学で新たに1校実施に向けた調整
	権利擁護・成年後見相談会の開催 (権利擁護)	●専門職と共催で成年後見制度等に関する相談会を定期的開催		→
	福祉なんでも相談の充実 (まち担当・センター係)	●社協内の各部署が連携し、なんでも相談に対応 ●ひきこもりや、ヤングケアラーなどの複合的課題に関する講座を関係機関と連携して実施	●新規1地区でなんでも相談開始	●新規1地区でなんでも相談開始
令和6年度事業計画 (実施目標)	[ボラ担当] ・新たに多摩市内の大学1校で「ボランティア出張相談(ボランティアカフェ)」の実施に向けた調整を行う。 [権利擁護] ・司法書士や社会福祉士と連携し、市民が成年後見制度を利用する際の疑問や課題を相談できる機会を増やす。			

	<p>[まち担当・センター係]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各エリアで開催している福祉なんでも相談を活用し、社協内の各部署が連携して、専門的なミニ講座等を開催することで、市民の不安や悩みの解決につなげていく。・気軽に立ち寄れるように、看板やのぼり等を工夫する。
<p>取組結果</p>	<p>[ボラ担当]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多摩ボラセン運営委員会内に新規に設置の専門委員会で検討。昨年度 1 校で実施の出張相談の状況(学校に向いて相談を受付しても効果が期待できない)等を鑑み、出張相談窓口の開設にこだわらず、授業(ボランティア活動をテーマ)、事業(夏ボラ出張受付)やゼミ・サークル等通じて大学のみならず、市内の高校とも連携し、学生に働きかけを行うことにした。結果、夏ボラでは大学生 52 人(昨年度 28 人)、高校生 85 人(昨年度 62 人)が活動に参加した。 <p>[権利擁護]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司法書士や社会福祉士と連携し、市民が成年後見制度を利用する際の疑問や課題を相談できる相談会を実施した。司法書士の相談会では年 1 回、社会福祉士の相談会では毎月 1 回実施。司法書士の相談会は 9 人、社会福祉士の相談会は 15 人の相談があった。 <p>[まち担当・センター係]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談は、今年度 2 か所(豊ヶ丘福祉館、連光寺コミュニティ会館)増やし、市内 11 か所でコミュニティセンター等を活用し、実施した。今年度は地域包括支援センターが地域の福祉なんでも相談に同席した箇所もあり、介護保険制度の説明や福祉施設の紹介など、高齢者の相談を連携して受けることができた。また、権利擁護センターによる成年後見制度の講座や、高齢者施設による福祉施設紹介など、社協内の各部署や専門機関と連携して、専門的なミニ講座等を開催することで、市民の不安や悩みの解決につなげることができた。 ・チランなども多世代に向けた内容で広報し、生きづらさを抱えた若い世代の相談にも対応するきっかけとなった。

施策・取り組み4 潜在・複合的な課題へのアプローチ

<p>取組の方向性 (内容)</p>	<p>重層的な相談支援体制を展開し、地域のネットワークの活用やアウトリーチによる相談を実施し、多様化、複雑化するケースの早期発見につなげていきます。また、複合的・複雑化したケースを発見した場合は、関係機関につなぐほか、多摩市社協内連携により課題解決に向けた検討・対応を行います。</p>				
<p>年次計画</p>		<p>令和5年度 (2023年度)</p>	<p>令和6年度 (2024年度)</p>	<p>令和7年度 (2025年度)</p>	
	<p>多摩市社協内横断のケースカンファレンスの開催 (まち担当)</p>	<p>● 個人情報を共有できるシステム等の検討 ★ 全所管PJで検討</p>	<p>● 必要に応じてケース検討開始</p>	→	
	<p>重点 複雑化するケースの社会参加のための活動の創出 (まち担当)</p>	<p>● ケース・事例検討PJ等の設置</p>	<p>● ケースに合わせてプログラム検討</p>	→	
	<p>重点 多機関連携による相談支援体制の構築 (まち担当)</p>	<p>● 仕組みの検討</p>	<p>● 実施</p>	→	
<p>参加支援のコーディネート (まち担当・ボラ担当)</p>	<p>● 仕組みの検討</p>	<p>● 実施</p>	→		
<p>令和6年度事業計画 (実施目標)</p>	<p>[まち担当] ・引き続き、適切に個人情報を管理し、社協内の関係部署で共有し、効果的に対象者の支援ができるようにシステムの検討を行い、導入を決定する。 ・引きこもり等の多様化・複雑化したケースについて、社協内に設置した事例検討会で横断的なケース検討を行い、必要に応じて社会参加に向けたプログラムを創出していく。 ・社協内だけでの調整が難しいケースなどについては専門機関等につなぎ、多摩市版地域包括ケアネットワーク連絡会内に位置付けられた、エリア別情報交換会などを通じて、多機関と連携して支援していく。 [まち担当・ボラ担当] ・引きこもり等、生きづらさをかかえる若者などの社会参加を支援していくために、既存の活動へのつなぎやつなぎ先がない場合は、参加プログラムを創出するなど、多機関と連携してコーディネートしていく。</p>				
<p>取組結果</p>	<p>[まち担当] ・社協内の共有システムについては、全社での実施は行わなかったため、生きづらさを抱えるケースは市のシステムを使用して共有を行った。 ・参加支援事業について、社協内での理解促進のため、職員を対象とした事務連絡会を2回開催し、相談窓口職員に事業の周知を行った。また、8050問題に関連し、多摩市内の全地域包括支援センターを回り、包括職員への事業周知を行った。 ・多機関協働については、7月と12月の2回、市の福祉総務課と協働して、介護保険圏域(5圏域)ごとに、多摩市版地域包括ケアネットワーク連絡会のエリア別情報交換会を開催した。7月は、関係機関や専門職間の横のつながりづくりを作るため、それぞれの支援内容を共有した。12月はエリアごとに分かれ、7月に実施した内容の中からテーマで深堀し、情報共有を行った。</p>				

[まち担当・ボラ担当]

・参加支援メニューについては、ゆるたまネットと社会福祉法人ネットワーク連絡会に呼びかけ、メニュー案を検討してもらう機会をもった。

・参加支援事業は、関係機関からの相談等により、3件の契約に至った。

6年後の目指す姿

福祉や地域活動に参加するきっかけや機会が増えている

【社協に求められる役割（取り組み）】

- ・地域の現状を伝えあい、地域の課題を我が事として考えるきっかけづくりの場をコーディネートしていく
- ・まわりのできごとなど、気づきを共有するネットワークの場づくりを進める
- ・身近な地域で気軽に参加できる地域活動を創出する

施策・取り組み5 地域福祉活動への参加のきっかけづくり

<p>取組の方向性 (内容)</p>	<p>市民が地域福祉活動に参加するきっかけとなるよう各種入門講座を実施するとともに、子どもたちをはじめ多世代が活動体験できる機会を創出に取り組みます。 ボランティア活動が、高齢者の介護予防及びフレイル予防につながることを啓発しながら、介護予防ボランティアポイント事業の活動メニュー(受入先)を拡充し、登録者(活動者)の増大を図ります。</p>			
<p>年次計画</p>		<p>令和5年度 (2023年度)</p>	<p>令和6年度 (2024年度)</p>	<p>令和7年度 (2025年度)</p>
	<p>市民活動入門講座の開催 (ボラ担当)</p>	<p>●年2回以上</p>		→
	<p>夏のボランティア体験の拡充 (ボラ担当)</p>	<p>●体験メニュー100メニュー以上 ●参加者400人以上</p>		→
	<p>介護予防ボランティアポイント事業の拡充 (ボラ担当)</p>	<p>●受入先の増大(新規1団体以上) ●新規登録者数20人以上</p>		→
<p>令和6年度事業計画 (実施目標)</p>	<p>[ボラ担当] ・多くの年代の方々が、ボランティア活動等に関心を持って、活動のきっかけとなるように、市民活動入門講座を開催する。 ・夏休み期間に子どもたち、学生、社会人など多くの年代の方々が、夏休み期間を利用して活動体験できるよう、夏のボランティア体験を実施する。 ・65歳以上のシニア層に対しては、介護予防ボランティアポイントを活用したボランティア活動を促進していくため、活動内容の拡充を図り、新規登録者を増やす。</p>			
<p>取組結果</p>	<p>[ボラ担当] ・市民活動入門講座は、6月に①傾聴ボランティア養成講座(15名)②8月に「ピースボランティア入門講座(18名)③10月に「福祉学習サポートボランティア講座(8名)」を開催した。参加者のうちそれぞれ、①6名継続、②10名で団体化に向けて活動継続、③5名継続となった。 ・夏のボランティア体験では、7月25日(木)～8月31日(土)に実施。参加者258名(昨年度209名)、体験メニュー106。受け入れ施設等79ヶ所となった。小学生58名(昨年度47名)、中学生27名(昨年度25名)、高校生85名(昨年度62名)、</p>			

	<p>大学生 52 名(昨年度 28 名)と多くの子ども・若者が参加し、いずれも昨年度を上回る参加となった。オンラインで申込予約を可能にし、参加者が申込手続きを行いやすいように改善した。</p> <p>・毎月1回、介護予防ボランティアポイント説明会を実施し、60 名が新規登録した(登録者総数 586 名)。9 月には登録者研修会を行った(9 名参加)。</p> <p>介護予防ボランティアポイント受入れ施設拡大のため、ボランティアマッチングなどで施設を訪問したときや、夏のボランティア体験巡回時に事業説明を都度行うなど周知を図ったことで、新規受入先施設を7団体増加することができた。3 月には各施設のボランティア受入れ担当者による情報交換会・研修会を行った(16 施設 13 名が参加)。</p>
--	---

施策・取り組み 6 地域活動の創出支援

<p>取組の方向性 (内容)</p>	<p>10 のコミュニティエリアごとに配置した地域福祉コーディネーター(エリア担当職員)が、地域のネットワーク(地域福祉推進委員会)や通いの場等を活用しながら、地域支援(地域課題の解決)、個人支援(相談や専門機関へのつなぎ)を行います。</p> <p>今後は若い世代や、現役世代など幅広い世代の参加を鑑み、オンラインによる開催等、ICT を活用し、参加者を増やしていくための多様な参加方法を取り入れながら支援を行います。</p> <p>地域福祉推進委員会の無い地域では、住民懇談会等を開催するなど、地域課題や住民ニーズを把握し、住民主体による地域福祉活動の創出に向けた支援を行います。</p> <p>また、通いの場を継続するための支援やサロンのない地域には継続してサロンの立ち上げ支援を行います。</p>			
<p>年次計画</p>		<p>令和 5 年度 (2023 年度)</p>	<p>令和 6 年度 (2024 年度)</p>	<p>令和 7 年度 (2025 年度)</p>
	<p>拡充 地域福祉推進委員会の ICT 活用 (まち担当)</p>	<p>●地域福祉推進委員会のオンライン併用開催支援</p>		→
	<p>住民懇談会(座談会)等の開催 (まち担当)</p>	<p>●必要に応じ随時開催</p>		→
	<p>サロン活動等、通いの場の創出 (まち担当)</p>	<p>●コミュニティエリアで1カ所</p>	<p>●コミュニティエリアで1カ所</p>	<p>●コミュニティエリアで1カ所</p>
<p>令和 6 年度 事業計画 (実施目標)</p>	<p>[まち担当]</p> <p>・10エリアに設置した地域福祉推進委員会については、継続して運営支援を行いながら、さらに若い世代や専門機関等が参加しやすいように、必要に応じてオンラインによる開催を併用する。</p> <p>・地域福祉推進委員会やサロン活動が無いエリアでは、必要に応じて住民懇談会等を実施し、地域の課題やニーズを把握し、通いの場等の創出をコーディネートするなど、地域づくりの支援を行う。</p>			
<p>取組結果</p>	<p>[まち担当]</p> <p>・連光寺・聖ヶ丘地区の地域福祉推進委員会は常時オンラインとの併用開催を行っており、普及啓発講座等は、オンライン参加者が定着化してきている。他の委員会については、地域の情報共有、意見交換などは、極力対面で実施したいという意向があるため、オンライン開催は希望者がなく、併用していない状況である。しかしながら、若い世代や専門機関等の参加、感染症等の状況も踏まえ、継続してオンライン対応ができるように常に準備態勢を整えていく。</p> <p>・新たな住民懇談会は開催していない。サロンが解散した地域等で、住民座談会等を開催し、ニーズ把握と通いの場創出に向けての働きかけを行った。</p> <p>・サロン活動については、市内 100 サロンが活動中(令和 7 年 3 月末)</p> <p>令和 6 年度は 4 か所の新規サロンが立ち上がった。</p>			

6年後の目指す姿

身近な地域で交流の場や地域のことを一緒に考えていく場が広がっている

【社協に求められる役割（取り組み）】

- ・誰もが集い、交流できる場づくりをすすめる
- ・市民の心のよりどころとなったり、当事者同士のつながりや悩みを把握する場となるような居場所づくりを支援する
- ・住民から寄せられる気づきやちょっとした相談を地域の皆さんと一緒に考えていく場づくりを進める
- ・地域活動者などボランティア同士の交流の場づくりを進める

施策・取り組み7 多世代の交流の場づくり

取組の方向性 (内容)	<p>豊ヶ丘にある「健幸つながるひろば とよよん」では、住民サポーターによる運営支援を継続し、企業や大学等多機関協働によるプログラム展開や、住民ニーズや課題に応じたプログラム展開をすることにより、地域のコミュニティスペースとして、多世代・多様な主体が交流できる場づくりを推進します。</p> <p>障がいやひきこもりの家族会などの運営支援や、若い世代も含めた当事者の様々なつながりの中から、関心の持てる活動や場づくりを ICT 等の活用も含め検討・実施し、新たな地域活動者の発掘を図ります。</p>			
年次計画	健幸つながるひろばの運営支援 (まち担当)	令和5年度 (2023年度) <ul style="list-style-type: none"> ●住民サポーターによる運営支援 	令和6年度 (2024年度) <ul style="list-style-type: none"> ●多機関協働によるプログラム展開の充実 	令和7年度 (2025年度) 
	新規 当事者の活動への参加支援や場づくり (まち担当・センター係)	<ul style="list-style-type: none"> ●ニーズ調査 ●要綱等検討 ●オンラインの場づくりの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●試行実施1カ所 ●オンラインサロンの試行実施1回 	<ul style="list-style-type: none"> ●内容精査と拡充 ●オンラインサロン要綱等の整備
	障がい当事者や家族会への運営支援 (センター係)	<ul style="list-style-type: none"> ●連携した運営の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●運営支援の継続 	
令和6年度事業計画 (実施目標)	<p>[まち担当]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊ヶ丘健幸つながるひろば「とよよん」では、住民サポーターの活動を引き続き支援し、多機関協働や多世代交流を推進するなど、プログラムの充実を図っていく。 ※年度途中で運営団体が変わるため、その動向により計画変更を行う。 <p>[まち担当・センター係]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族会や専門機関等と連携し、当事者のニーズや状況を把握しながら、オンラインも含め、当事者が安心できる居場所づくりに取り組む。 			

<p>取組結果</p>	<p>[まち担当]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年9月に楽友会が撤退したため、とよよんとしての活動は終了となった。 ・9月までの活動として、サポーターによる手芸や折り紙、トランプ、ミュージックベルなどの活動の他、小学生向けの夏休み宿題応援プログラム等をボランティアセンターと連携して実施するなど、多世代向けの取り組みの支援を行った。 ・10月より後継団体へ移行することについて、住民サポーターに対し、楽友会、UR、後継団体とともに説明を行った。また、参加者については、公式 LINE やちらしでの周知の他、参加時にサポーターからの説明を行った。 <p>[まち担当・センター係]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年10月から、多摩市立図書館、二幸産業・NSP 健幸プラザを会場に、「生きづらさを抱える方」を対象とした居場所「スペース栞」を毎月実施した(計6回開催)。多摩市立中央図書館による本の選定やボランティア団体ハートフル多摩の協力で参加者の傾聴を行った。また、社協広報媒体や、地域福祉推進委員会や、民生児童委員を通じて、参加支援事業の周知を行い、当事者・関係者からの問合せへの対応を行い、参加支援事業の契約につながった(契約件数3件)。 <p>居場所「スペース栞」の広報は、ちらしや「こくちーず」(イベント集客プラットフォーム)などでを行い、多摩市内だけでなく、市外からの参加もあった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインによる当事者との居場所の実施には至らなかった。オンラインサロンの実施は未着手であったため、まちづくり担当と内部検討・調整し、10～3月にかけて、隔月開催で総合福祉センター内で「スペース栞」を実施。事業運営においてその手法や内容などのノウハウを習得しながら、今後の当事者が安心できる居場所づくりに活かしていく。 <p>[センター係]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり当事者家族会の外部への情報提供や開催周知、参加問合せへの対応や団体へのつなぎなどを行った。昨年度から隔月開催となり、参加希望者への機会提供に繋がらない場合もあったが、他の居場所サロンとの連携を深める調整にも携わった。
-------------	--

<p>取組の方向性 (内容)</p>	<p>多摩ボラセン登録団体が集い、交流したり学習したりする機会を設け、活動の活性化が図れるよう、コーディネートを行います。また、市内でボランティア・NPO・市民活動をしている活動者を対象に、それぞれの課題を共有する機会を設けるなど、活動のフォローアップが図れるようコーディネートを行います。</p> <p>成年後見人や生活支援員が集い、情報交換や課題の共有、学習する機会を設け、成年後見人や生活支援員への支援に取り組みます。</p>			
<p>年次計画</p>		<p>令和 5 年度 (2023 年度)</p>	<p>令和 6 年度 (2024 年度)</p>	<p>令和 7 年度 (2025 年度)</p>
<p>多摩ボラセン登録団体連絡会の運営支援 (ボラ担当)</p>		<p>●連絡会運営のあり方の検討・見直し</p>	<p>●連絡会運営を支援</p>	<p>→</p>
<p>ボランティア活動者等のフォローアップの実施 (ボラ担当)</p>		<p>●年1回以上実施</p>		<p>→</p>
<p>成年後見人の支援 (権利擁護)</p>		<p>●親族後見人懇談会と専門職後見人懇談会を開催 (年各 1 回)</p>		<p>→</p>
<p>生活支援員のフォローアップの実施 (権利擁護)</p>		<p>●生活支援員研修および情報交換会を開催(年 2 回)</p>		<p>→</p>
<p>令和 6 年度 事業計画 (実施目標)</p>	<p>[ボラ担当]</p> <ul style="list-style-type: none"> 多摩ボラセン登録団体が集い、つながり、交流したり学習したりしながら、各団体の活動の充実が図れるように、多摩ボラセン登録団体連絡会の運営を支援する。 ボランティア活動の活性化を図るため、ボランティア活動者等のフォローアップ講座を実施する。 <p>[権利擁護]</p> <ul style="list-style-type: none"> 成年後見人や生活支援員等の知識や技術の向上、情報交換の場として懇談会を開催する。 			
<p>取組結果</p>	<p>[ボラ担当]</p> <ul style="list-style-type: none"> 代表者で構成される登録団体連絡会も新たなスタートより 2 年目となり通称を「たまぼら連」と決定、平均 20 団体以上が参加するなど情報交換・交流の場となっている。ボランティアパークやボランティア見本市などで活動を PR する場を設けたことにより、新たな活動者が団体活動に参加する機会につながっている。年一回の学習会はアンケートにより希望の多かった「ボランティア団体の継続について」をテーマに 10 月に実施し、ボランティア見本市など体験型のイベント実施を実現するなど、新たな事業展開にもつながった。 市内でボランティア活動をしている方などを対象に、フォローアップとして「安心安全な老後のために知っておきたいサポートとは」を実施し18名が参加した。 <p>[権利擁護]</p> <ul style="list-style-type: none"> 親族後見人懇談会は、2 名の応募があったが、うち1名は親族後見人でなかったため、懇談会開催は中止とし、申込みのあった1名の親族後見人には個別対応を行った。次年度以降の親族後見人懇談会の実施方法を検討した。専門職後見人懇談会は、司法書士や社会福祉士など 5 名の参加があり、成年被後見人の財産管理などについて意見交換する機会を設けた。また、生活支援員を対象とした研修および情報連絡会を開催。 7 月には、「活動記録の書き方の再確認と意思決定支援について」および「ヒヤリハットの対策を考えよう」という 2 つのテーマのもと、グループワーク形式で実施し、14 名が参加。1 月には、「傾聴の意義、利用者への寄り添い方について」をテーマに 13 名が参加し、生活支援員の対応力・技量向上に努めた。 			

6年後の目指す姿

地域でのつながりを活かし、活動が充実している

【社協に求められる役割（取り組み）】

- ・ 災害時や緊急時にもお互いに支えあい、困っている人を助けることのできる関係性をつくる
- ・ 地域で活動できる人や困っている人を把握し、つなぎ役を担う
- ・ 活動者の新たな担い手の発掘、育成に取り組み、地域活動やボランティアの育成に取り組む
- ・ 市内の企業や大学等と連携したネットワークをつくり、「地域貢献活動」を推進する

施策・取り組み9 ニーズに応じた担い手の発掘・育成

取組の方向性 (内容)	<p>移動販売時の買い物荷物持ち(買い物支援)や子ども食堂での弁当や食品の配送など、力がある男性向けのボランティア活動ニーズが多くでてきているため、主に退職間近の高齢男性などを対象に、退職後の地域での活躍の場づくりのコーディネートを行います。</p> <p>災害時や緊急時に、地域でお互いが支えあい、助けあい活動に取り組めるよう、「災害ボランティア講座」を開催し、災害ボランティアの育成に取り組みます。同時に災害時要配慮者支援の啓発に取り組む。</p> <p>ボランティアニーズはあるも、活動者がいないなどの理由によりマッチングが難しいケースについては、ニーズに応じたボランティア育成講座等を開催し、ボランティアの育成に取り組みます。</p> <p>高次脳機能障害や精神障害等見た目ではわかりづらい障がいを抱えた人や家族への理解を深め事業に携わるボランティアの育成に取り組みます。</p> <p>認知症や障がいのために判断力が十分でない方が、地域生活を安心して送れるよう支援をする生活支援員の増強を図ります。</p> <p>福祉に理解のある幅広い方々に呼びかけをし、社協活動協力員の拡充を図るとともに、活動内容の見直しを行い、活動の場の拡充を図ります。</p>			
		令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
年次計画	男性の活躍の場の創出(地域活動者の育成) (ボラ担当)	●地域活動者の集いの開催 (年3回以上)	●男性ボランティアグループの立ち上げ支援	●男性ボランティアグループの支援
	重点 災害ボランティアの育成 (ボラ担当)	●災害ボランティア講座の開催 (年1回以上) ●災害ボラセン訓練の実施 (年1回以上) ●災害ボランティア登録者数の増大 (60人以上)	●左記65人以上	●左記70人以上
	冊子「災害時要配慮支援のメッセージ」の改訂 (ボラ担当)	●見直し検討	●改訂・発行	●発行

	ニーズに応じた活動者の育成 (ボラ担当)	●ニーズに応じて育成講座を開催			→
	ボランティアの育成 (センター係)	●開催内容の検討	●実施	●実施	
	生活支援員の養成 (権利擁護)	●生活支援員募集の事業説明会および新任研修会の開催 (年3回)			→
	社協活動協力員の活動の充実 (総務係)	●活動内容の見直し・検討	●実施		→

令和6年度事業計画 (実施目標)	<p>[ボラ担当]</p> <p>男性の地域活動の活躍の場を創出するため、主に男性高齢者を対象にした「地域活動者の集い」を開催し、男性ボランティア活動グループの立ち上げを支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害時に円滑に災害ボランティアセンターを運営していくため、平常時から災害ボランティアの育成や訓練を実施する。 ・平常時から災害時要配慮者支援の啓発を行い、いざというときのたすけあいの必要性について周知し、より多くの方々に共感してもらうため、「災害時要配慮者支援のメッセージ」の改訂版を発行する。 ・学習支援ボランティアの育成など、ニーズに応じた活動者の育成に取り組む。 <p>[センター係]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある方に対し理解を深め、活動に関わるきっかけとなるよう、理解講座を継続開催する。講座参加者への定期的なフォローアップを実施する。 <p>[権利擁護]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約件数が増加する中、福祉サービス利用援助事業の担い手である生活支援員を積極的に募集・養成し、事業の安定的運営につなげる。 <p>[総務係]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な協力内容を新たに追加し、現在の内容以外でも活動へ協力していただけるように呼びかけていく。
---------------------	--

取組結果	<p>[ボラ担当]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性の活躍の場の創出として、男性活動者連絡会を定期的で開催。現在の登録者12名。現在の各々の活動状況や今後の活動希望などの情報交換を行う他、連絡会を通じて10月の福祉フェスタ(ボランティアパーク)の活動協力をすることができた。 ・7月に「災害ボランティア講座運営編(参加者19人)」を開催。同月に二幸産業・NSP健康福祉プラザにてシステムを活用した「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を実施。市民・関係者・職員を含めて70名が参加。新規3名が登録し災害ボランティア登録者は合計42名となった。11月にゆるたまネット、社福法人NW連絡会と共催で「災害ボランティア講座(参加者20名)」を開催。水害を想定したまち歩きを実施した。 ・冊子「災害時要配慮支援のメッセージ」の改訂は、内容を見やすく整理し新たな項目を加えるため当時者団体の協力を得てアンケートを実施した。完成は令和7年5月を予定。 ・傾聴ボランティア養成講座、ピースボランティア入門講座、福祉学習サポートボランティア講座の3講座を実施。ピースボランティアについては、講座後に団体化(組織化)を支援し、令和7年度以降地域出前事業メニュー表にも入れ、戦争体験を子どもたちに伝承していけるようにコーディネートしていくことになった。
------	---

	<p>[センター係]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から継続して取り組んでいる、高次脳機能障害当事者のグループ活動のサポート活動を市民に周知するため、サポーター育成に取り組んでいる NPO 法人に講師として招き 11 月に講演会を開催した。その後登録者が 1 人増え、計 3 人が高次脳グループ活動にて活動した <p>[権利擁護]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援員の増員をするため、生活支援員応募説明会を 4 回実施した。事業説明会には 11 名の参加があり、そのうち、3 名が新規に生活支援員に登録した。次年度以降も引き続き、新規生活支援員の募集を行う。 <p>[総務係]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉フェスタや福祉バザー、赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動(地域ささえあい募金)の街頭募金活動の他、10 月に能登半島豪雨災害義援金街頭募金活動についても協力を呼びかけ、参加をいただいた。
--	--

施策・取り組み 10 ネットワークを活かした地域活動の推進

<p>取組の方向性 (内容)</p>	<p>「多摩地域企業・大学等連絡会(ゆるたまネット)」の事務局を担い、それぞれの事業所等の有機的なつながりを推進し、ネットワークを活かして、支援を求められることが多い「ヒト、モノ、コト、カネ、場所」の問題に対して、できる取り組み(地域貢献活動)のコーディネートを行います。</p> <p>ゆるたまネット、多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会、多摩ボラセン登録団体連絡会などのネットワークを活かして、フードドライブ及びフードパントリー事業の推進を図り、さらには、多摩ボラセン運営委員会内に子ども若者応援事業検討専門委員会を設置し、生活課題を抱える子ども・若者を中心とした支援に取り組めます。</p> <p>また、子ども・若者の支援に取り組む財源を確保するため、子ども・若者応援基金の用途を明確にし、広く周知を行います。</p> <p>ふくしだよりやチラシ等の配架や自販機の設置に協力いただける新規福祉協力店の開拓を図ります。</p>			
<p>年次計画</p>	<p>令和 5 年度 (2023 年度)</p>	<p>令和 6 年度 (2024 年度)</p>	<p>令和 7 年度 (2025 年度)</p>	
<p>多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会の運営支援 (総務係)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●法人連携による地域福祉活動支援取組の継続 ●若い世代を対象とした福祉啓発の取り組み ●災害時における法人による地域支援の取り組み 			→
<p>多摩地域企業・大学等連絡会(ゆるたまネット)の運営支援(ボラ担当)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●企業等との協働活動(地域貢献活動)の推進 <p>(1以上の活動をコーディネート)</p>			→
<p>重点 フードドライブ・フードパントリー事業の推進 (ボラ担当・総務係)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●フードドライブ窓口の拡充(市内6店舗以上) ●フードパントリーの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●市内7店舗以上 ●ニーズ状況に応じて対象者含めて見直し検討・実施 		→
				●実施

		●福祉フェスタ等イベントを通じての食料寄付募集			→
		●貸付相談に伴う一時食料支援の実施			→
	新規 子ども・若者応援事業の実施 (ボラ担当)	●事業検討専門委員会を設置し検討	●実施		→
	子ども・若者応援基金の周知 (ボラ担当)	●基金目標額 150万円以上			→
	福祉協力店の拡充 (総務係)	●新規協力1店舗以上	●新規協力1店舗以上	●新規協力1店舗以上	

令和6年度 事業計画 (実施目標)	〔総務係〕	<ul style="list-style-type: none"> 法人連携による地域貢献活動(求職相談会、車いす貸出、フードドライブ等)を継続実施していく。また、地域のニーズに応じた地域出前事業や地域施設への配分のための共同募金の取組を展開していく。 新規福祉協力店を獲得するほか、公共施設の改修等工事現場への自動販売機設置依頼を積極的に行っていく。
	〔ボラ担当〕	<ul style="list-style-type: none"> ゆるたまネット内に食料配布の実行委員会を設置し、生活困窮者支援(子ども若者支援)につながる取り組みをコーディネートする。また、企業等の関心が高い災害時の連携支援や課題となっている生きづらさを抱える若者の就労体験の受け入れなどについて、検討していく。 市内のスーパーなどに働きかけを行い、フードドライブの受付窓口を拡充できるように取り組む。フードドライブにより寄付いただいた食品等を活用し、ゆるたまネット事業で把握した生活困窮世帯等を継続して支援するため、定期的にフードパントリー事業を実施する。対象世帯については、ニーズ状況等に応じて見直し検討していく。 多摩ボラセン運営委員会内に設置した「子ども・若者応援事業検討専門委員会」で、学習支援や体験の機会などニーズに即した事業を検討し実施する。 子ども・若者を支援する活動や事業を推進していくための財源の必要性を可視化し、共感が得られるように創意工夫したPR方法を検討・実施し、子ども・若者応援基金への寄付を積極的に募っていく。

取組結果	〔総務係〕	<ul style="list-style-type: none"> 地域の防災訓練での車イス体験に協力支援した。(計4回、5法人、14名) 赤い羽根共同募金の募金活動の新規取組を実施し地域貢献事業を拡大した。(4法人、7名) 地域での車イス貸出事業は、利便性があり需要が拡大している。(貸出34件) フードドライブは、貸付事業相談者や食料無料配布事業、生活困窮者の支援へ提供した。(4法人協力) 生活にお困りの世帯への食料提供は、貸付相談を通じて以外に、多摩市やしごと・くらしサポートステーション、地域包括支援センター等関係機関からの依頼に対応しての提供も行った。(52件) 福祉協力店において新規協力2店舗(広報紙設置、車イス貸出窓口、入れ歯回収ボックス設置での協力)。 今後事業のPR動画制作を進めネットワーク連絡会をPRしていく。
------	-------	--

[ボラ担当]

・ゆるたまネットは 43 の企業・大学等が参加し、地域・社会貢献活動につながる取り組みを検討実施した。具体的な内容については、幹事会や食料配布実行委員会で検討し、「生活に困窮している子どものいる世帯と、生きづらさを抱える 30 代までの方を対象に食料無料配布事業」「災害時連携をテーマに学習会(災害ボランティア講座及び防災まち歩き)」「就労前段階の生きづらさ抱えた方々の参加支援についての学習会」「能登半島復興支援活動」「歳末たすけあい募金活動」を行った。3 月の総会にて、「災害用メールリストの作成」「地域出前事業メニューの作成」「参加支援メニューの作成」を令和7年度に着手することになった。

・【フードドライブ】

市内にフードドライブ受付窓口を 10 カ所設置(募菓子箱設置2カ所含む)や、市内読売新聞販売所が購読世帯にフードドライブを実施し定期的に食料の寄付を受ける他、「たまこどもフェス」(ベルブ永山)や「せいせきフードドライブ」(京王ショッピングセンター)などイベント時に合わせて実施するなど支援の輪をひろげることができた。

実績:令和6年度 473 件 8,927kg (昨年度 623 件 7,894kg)

・【フードパントリー】

ゆるたまネットの食料無料配布事業の参加者を対象にアンケートを実施し、継続した支援が必要と回答した方(80 世帯)を対象に、多摩ボラセンで毎月フードパントリーを実施し支援した。また、7 月より「概ね 30 歳代までの社会との接点の少ない方がいる世帯」を支援対象に含め、重層的支援体制整備事業の参加支援につなげた。

7 月より「概ね 30 歳代までの社会との接点の少ない方がいる世帯」を支援対象に含め、重層的支援体制整備事業の参加支援につなげた。

・【子ども・若者応援事業「学習支援事業」】

フードパントリーの事業を通じて学習支援ニーズをキャッチし、NPO 法人 BORDER FREE と共催で放課後学習やさくら教室を実施するなど、若者の力を子ども支援につなげることができた。また、民間の助成金も活用することができ、効率よく運営することができた。

学習支援事業では聖蹟桜ヶ丘(ボラセンと BORDER FREE 共催)と多摩センター(BORDER FREE 単独)の 2 か所で実施しているが、永山地域で実施してほしいとの声があり、3 月から多摩市しごと・くらしサポートステーションの会議室を活用し英検対策の個別教室を開始した。

・【子ども若者応援基金】

「フードドライブ」「フードパントリー」「学習支援」「子ども居場所支援(助成金の交付)」などを通じて、支援の輪が広がり、子ども若者支援として 5,692,354 円を寄付いただいた。シンカブル通じての寄付を募り 456,201 円(2 件)の寄付があった。ホームページからもシンカブルのキャンペーンページに飛べるようにリンクを貼ったことで、寄付の増加につながった。

6年後の目指す姿

生活課題がありながらも地域で安心して暮らせる人が増えている

【社協に求められる役割（取り組み）】

- ・単身高齢者が安心して暮らせる仕組みをつくる
- ・地域課題への取り組みを支援し、見守りや支えあいの取り組みを共に進める
- ・多様な福祉サービスの提供体制を強化する
- ・多様な専門機関が連携・協働して活動できる仕組みづくりを進める

施策・取り組み 1 1 見守り・支えあい活動の支援

取組の方向性 (内容)	地域福祉コーディネーター等が、潜在化・複雑化した課題やニーズの早期発見に取り組み、コミュニティエリアより小地域(自治会・住宅管理組合等)での支えあい活動(通いの場やゴミ出し等)の創出の支援を行います。また、自治会・町会・住宅管理組合ご近所ふくし応援助成金の仕組みを、自治会・住宅管理組合より小グループでも助成できるよう、検討を行います。 「自治会・住宅管理組合ご近所ふくし応援助成金」や「福祉団体補助金」、「ボランティア活動等振興助成金」、「子ども・若者応援助成金」等の活用を推進し、多くの地域福祉活動を行う団体への支援を行います。			
		令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
年次計画	自治会・町会・管理組合単位での支えあいの仕組みづくり (まち担当)	●新規 1 団体を想定	●伴走支援 継続 1 団体	→
	自治会・住宅管理組合ご近所ふくし応援助成金の見直し (まち担当)	●より小グループでの仕組みについて ニーズ調査	●要綱等の見直し ●予算等の検討	●施行実施 ●要綱等の見直し ●予算等の検討 (再掲)
	ボランティア活動等振興助成金交付の実施 (ボラ担当)	●10 団体以上支援		→
	子ども・若者応援助成金交付の実施 (ボラ担当)	●10 団体以上支援		→
令和6年度事業計画 (実施目標)	[まち担当] ・「見守り」や「ゴミ出し」など、自治会・住宅管理組合単位で地域住民主体となった支え合い活動を創出していく。 ・自治会・住宅管理組合単位での立ち上げが難しい場合は、「有志によるグループ化」も視野に入れ、助成金の要綱見直しや仕組みの見直しを行い、予算等の検討を行う。 [ボラ担当] ・ボランティア活動等の振興や子ども・若者の支援に取り組む活動を支援し、活動の活性化を図るため、各団体に対して助成金を交付する。			

取組結果	<p>[まち担当]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 6 年度新たに、桜ヶ丘地域で「助けあいと見守り隊」の活動が立ち上がった。助成事業を活用し、継続 3 件を合わせて、4 件の住民主体の継続的な福祉活動の伴走支援を行っている。 ・自治会・管理組合単位の支え合い活動が高齢化等の影響もあり難しくなっている状況を踏まえ、有志による活動をどのように支援していくか、地域福祉推進委員会等で現状の把握を行い、要綱見直しの検討を行った。ふれあい・いきいきサロン事業推進要綱と併せ、次年度、要綱や仕組みの見直しを行うこととなった。(令和 8 年度から施行予定) <p>[ボラ担当]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動等振興助成金の助成は 14 団体、530,000 円であった。 内訳)スキルアップ支援 2 団体、人材(担い手)育成支援 8 団体、立上げ・継続支援 3 団体、チャレンジ支援 1 団体。 ・子ども若者応援助成金は 13 団体 490,000 円であった。食事等提供事業 11 団体、学習支援事業 2 件、多様な体験機会等提供事業 5 件であった。
------	--

施策・取り組み 1 2 生活支援に係る事業の強化

取組の方向性 (内容)	<p>認知症や障がいを抱えても、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう「福祉サービス利用支援事業」や「成年後見制度の利用支援事業」を推進するとともに、今後、増加が見込まれる身寄りのない単身高齢者であっても、万が一に備えて、急な入院や施設入所、自分自身が亡くなった時の葬儀や家財整理を行えるよう、「高齢者あんしんサポート事業」の展開を図ります。</p> <p>高齢により身体能力や認知機能が衰えた場合でも、視覚障がい者が安全で快適な外出ができるよう、従事者数の確保や関係機関との連携による外出の支援を推進します。</p> <p>聴覚障がいのある方への情報保障について、医療や制度の手続きなど様々な場面に対応できるよう活動者への研修を実施するとともに、コロナ禍での情報保障について関係機関と連携し、推進する。</p> <p>生活困窮者へ貸付制度の周知を図るとともに、関係機関との連携し必要な生活支援を行います。</p>			
年次計画		令和 5 年度 (2023 年度)	令和 6 年度 (2024 年度)	令和 7 年度 (2025 年度)
	福祉サービス利用支援事業の推進(権利擁護)	●新規利用契約 25 件	●新規利用契約 30 件	●新規利用契約 35 件
	成年後見制度の利用支援の推進(権利擁護)	●新規相談および成年後見制度利用申立て支援 130 件	●新規相談および成年後見制度利用申立て支援 140 件	●新規相談および成年後見制度利用申立て支援 150 件
	新規 高齢者あんしんサポート事業の推進(権利擁護)	●実施	→	●分析・検証
	同行援護事業の実施(センター係)	●従事者登録増(新規登録者 3 名)		→
	意思疎通支援事業の推進(センター係)	●活動者のスキルアップ研修の実施		→
	生活支援の推進(総務係)	●貸付事業の実施		→

<p>令和 6 年度 事業計画 (実施目標)</p>	<p>[権利擁護] ・認知症や障がいを抱えても、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう「福祉サービス利用援助事業」や「成年後見制度の利用支援事業」を推進し、広く市民に周知する。 ・高齢者あんしんサポート事業をより多くの高齢者に周知するため、市内で開催されるイベントなどの機会に広報するほか、高齢者を支援する関係機関に周知を図る。</p> <p>[センター係] ・同行援護従事者の資格取得に関する情報を社協ホームページ等で周知し、同時に資格取得後に同行援護従事者登録につながるように周知することで、従事者の登録増を図る。 ・意思疎通支援事業において、利用者からの依頼が多い医療や行政の会議等の活動場面を想定した研修を行うことで活動者のスキルアップを図る。関係機関と連携し、サービスを提供していく。</p> <p>[総務係] ・貸付相談を通じて利用者との信頼関係を築き、自立支援につながる貸付を行い償還完了までの支援が継続できるよう民生委員との連携体制を作る。特例貸付の償還では、貸付時からの相談等継続支援を行い、しごと・くらしサポートステーションや民生委員等の関係機関と連携しながら、償還完了までの支援を行う。</p>
<p>取組結果</p>	<p>[権利擁護] ・福祉サービス利用者支援事業については、新規契約件数 38 件であった。成年後見制度については、新規相談件数 662 件、成年後見制度利用申立て延べ支援件数 196 件を受付けた。 ・高齢者あんしんサポート事業については、市民向け及び事業所・関係機関向け事業説明会を実施。事業所・関係機関向け事業説明会はオンラインで実施し、より多くの方の参加の機会を得ることができた。相談・問い合わせは 69 件あり、2 件の新規契約を取り交わした。年度末契約は 4 件となる。</p> <p>[センター係] ・同行援護事業について、従事者新規登録者は 4 名で、従事者募集チラシや社協ホームページを見て応募された方が多かった。 ・意思疎通支援事業について、昨年度より様々な活動場面を想定した研修は活動者のスキルアップに繋がり、また関係機関とより緊密に連携することにより、質の高いサービス提供に繋がった。</p> <p>[総務係] ・特例貸付の償還のフォローで積極的に架電し償還相談へ繋がる支援を行った。生活困窮者、ひとり親家庭など相談の中で状況がわかり、その状況に応じた救済措置などの提案を行った。 ・特例貸付の地区社協判断による職権免除制度が開始され、ガイドラインに沿って免除手続きを行った。 ・小口資金貸付は 3 件実行し返済済。長期滞納者 1 名が償還終了、完済した。</p>

※本事業報告にある係名称表記は以下のとおり。

表記名	正式名称（課・係名）
(総務係)	法人管理課 総務係
(権利擁護)	法人管理課 権利擁護センター
(センター係)	法人管理課 センター係
(まち担当)	地域福祉推進課 まちづくり推進担当
(ボラ担当)	地域福祉推進課 ボランティア担当

令和6年度 事業報告書

附属明細書

1 組織運営

(1) 三役会の開催

第1回 (R6. 4. 4)	第6回 (R6. 10. 24)
第2回 (R6. 5. 23)	第7回 (R6. 12. 5)
第3回 (R6. 8. 1)	第8回 (R6. 12. 19)
第4回 (R6. 8. 22)	第9回 (R7. 2. 6)
第5回 (R6. 10. 3)	第10回 (R7. 2. 27)

令和7年3月31日現在の役員・評議員の状況

	理事	監事	評議員
定数	10～15	2	30～35
現員数	13	2	32

(2) 理事会の開催

第1回 (R6. 6. 6) 出席者 11名	
【審議事項】	
第1号議案	臨時職員雇用等に関する規則の一部改正について
第2号議案	ふれあい・いきいきサロン事業推進要綱の一部改正について
第3号議案	障害福祉サービス事業者感染症対策委員会設置要綱の制定について
第4号議案	同行援護運営規程の一部改正について
第5号議案	特定相談支援事業運営規程の一部改正について
第6号議案	地域活動支援センター事業運営規程の一部改正について
第7号議案	役員等賠償責任保険の契約について
第8号議案	令和5年度事業報告について
第9号議案	令和5年度決算について
第10号議案	令和6年度補正予算について
第11号議案	令和6年度第1回評議員会(定時評議員会)の招集について
第2回 (R6. 9. 5) 出席者 11名	
第12号議案	電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定について
第13号議案	嘱託職員雇用等に関する規則の一部改正について
第14号議案	令和6年度補正予算について
第15号議案	令和6年度第2回評議員会の招集について
第3回 (R7. 1. 16) 出席者 13名	
第16号議案	コンピューター情報システムの運用管理に関する規程の制定について
第17号議案	個人情報保護規程の一部改正について
第18号議案	給与規程の一部改正について
第19号議案	嘱託職員雇用等に関する規則の一部改正について
第20号議案	令和6年度福祉大会における被表彰者の決定について
第21号議案	令和6年度補正予算について
第22号議案	令和6年度第3回評議員会の招集について
第4回 (R7. 3. 13) 出席者 9名	
第23号議案	定款の変更について
第24号議案	評議員選出規程の一部改正について
第25号議案	組織規程の一部改正について
第26号議案	同行援護従事者設置要綱の一部改正について
第27号議案	同行援護事業運営規程の一部改正について

第 28 号議案	特定相談支援事業運営規程の一部改正について
第 29 号議案	地域活動支援センター事業運営規程の一部改正について
第 30 号議案	福祉サービス利用援助事業の利用料不納欠損処理について
第 31 号議案	令和 6 年度補正予算について
第 32 号議案	令和 7 年度事業計画について
第 33 号議案	令和 7 年予算について
第 34 号議案	令和 6 年度第 4 回評議員会の招集について第 14 号議案 就業規則の一部改正について

(3) 評議員会の開催

第 1 回 (R6. 6. 24)	出席者 23 名
【審議事項】	
第 1 号議案	第 26 期理事の選任・辞任について
第 2 号議案	令和 5 年度事業報告について
第 3 号議案	令和 5 年度決算について
第 4 号議案	令和 5 年度補正予算について
第 2 回 (R6. 9. 30)	出席者 23 名
【審議事項】	
第 5 号議案	令和 6 年度補正予算について
第 3 回 (R7. 1. 27)	出席者 26 名
【審議事項】	
第 6 号議案	令和 6 年度補正予算について
第 4 回 (R7. 3. 24)	出席者 23 名
【審議事項】	
第 7 号議案	定款の変更について
第 8 号議案	令和 6 年度補正予算について
第 9 号議案	令和 7 年度事業計画について
第 10 号議案	令和 7 年度予算について

(4) 監査の概要

第 1 回 (令和 5 年度決算監査)	(R6. 5. 16)	出席者 監事 2 名
特別な改善事項の指摘はなし。		
第 2 回 (令和 6 年度中間決算監査)	(R6. 11. 21)	出席者 監事 2 名
特別な改善事項の指摘はなし。		

(5) 各委員会の活動報告

第 5 次地域福祉活動計画推進委員会			
開催状況	第 1 回 (R6. 10. 9)	出席者	9 名
	第 2 回 (R7. 2. 19)	出席者	11 名

多摩ボランティア・市民活動支援センター運営委員会			
開催状況	第 1 回 (R6. 5. 31)	出席者	8 名
	第 2 回 (R6. 10. 25)	出席者	9 名
	第 3 回 (R7. 1. 30)	出席者	10 名
	第 4 回 (R7. 3. 12)	出席者	10 名

権利擁護センター運営委員会					
開催状況	第1回	(R6. 7. 5)	出席者	5名	
	第2回	(R7. 3. 6)	出席者	5名	

役員選考委員会					
開催状況	第1回	(R6. 6. 18)	出席者	6名	

苦情解決第三者委員会					
開催状況	第1回	(R6. 11. 7)	出席者	3名	

評議員選任・解任委員会					
開催状況	第1回	(R6. 5. 2)	出席者	4名	
	第2回	(R6. 11. 28)	出席者	4名	

(6) 各部会の活動報告

総務部会					
開催状況	第1回	(R6. 12. 3)	出席者	7名	

広報広聴部会					
開催状況	第1回	(R6. 4. 12)	出席者	9名	
	第2回	(R6. 6. 12)	出席者	8名	
	第3回	(R6. 8. 14)	出席者	8名	
	第4回	(R6. 10. 10)	出席者	7名	
	第5回	(R6. 12. 10)	出席者	6名	
	第6回	(R7. 2. 10)	出席者	5名	

イベント推進部会					
開催状況	第1回	(R6. 11. 29)	出席者	7名	

地域福祉まちづくり部会					
開催状況	第1回	(R7. 1. 31)	出席者	10名	
	第2回	(R7. 3. 10)	出席者	10名	

部会連絡会					
開催状況	第1回	(R6. 12. 18)	出席者	7名	

(7) 後援名義の使用許可状況

年度	R2	R3	R4	R5	R6
後援名義使用許可件数	13件	10件	17件	14件	18件

(8) 多摩社協活動協力員登録状況

年度	R2	R3	R4	R5	R6
登録者数	29人	34人	33人	33人	18人

2 連絡調整

(1) 実習生の受入れ状況

年度	人数	期間	学校名
R2	4	R2. 8. ~9 (24日) 2人	大妻女子大学
		R2. 10~11. (24日) 1人	明星大学
		R3. 3. 8~3. 19 (10日) 1人	大妻女子大学
R3	5	R3. 5. 24~6. 15 (14日) 1人	大妻女子大学
		R3. 10. 11~11. 12 (24日) 1人	大妻女子大学
		R3. 10. 11~11. 12 (24日) 1人	明星大学
		R4. 2. 1~3. 7 (24日) 2人	大妻女子大学
R4	8	R4. 8. 1~9. 1 (24日) 2人	大妻女子大学
		R4. 10. 3~11. 7 (24日) 1人	武蔵野大学
		R4. 10. 3~11. 7 (24日) 1人	明星大学
		R5. 2. 6~3. 9 (24日) 2人	大妻女子大学
		R5. 2. 25~3. 23 (8日) 2人	東京都立大学
R5	6	R5. 6. 14~6. 23 (8日) 1人	桜美林大学
		R5. 10. 5~11. 13 (24日) 1人	明星大学
		R6. 1. 20~3. 6 (24日) 2人	大妻女子大学
		R6. 3. 11~3. 21 (8日) 2人	東京都立大学
R6	6	R6. 10. 7~11. 12 (24日) 1人	明星大学
		R6. 10. 7~11. 12 (24日) 1人	大妻女子大学
		R7. 1. 28~3. 3 (24日) 2人	大妻女子大学
		R7. 3. 10~3. 19 (8日) 2人	東京都立大学

(2) 講師の派遣

年度	日数	テーマ	学校名
29	1	ボランティア活動をはじめるにあたって	東京医療学院大学
	2	地域の保健医療福祉	
30	1	ボランティア入門	東京医療学院大学
	2	地域の保健医療福祉	
R1	1	ボランティア入門	東京医療学院大学
	2	地域の保健医療福祉	
R2		なし	
R3		なし	
R4	1	ボランティア入門	大妻多摩中学校
	2	災害ボランティア	国士舘大学
R5	1	多摩市社会福祉協議会とは	大妻大学
	1	多摩市の概要と地域福祉とは	中央大学

	1	総合的学習（地域防災）	大松台小学校
	1	東日本大震災の多摩市協議会の取り組み	多摩大付属高校
	2	災害ボランティア	国士舘大学
R6	1	ボランティア入門	東京医療学院大学
	2	災害ボランティア	国士舘大学
	1	総合的学習（福祉のしごと）	貝取小学校
	1	オンライン施設見学	大妻女子大学
	1	多摩市の概要と貝取・豊ヶ丘地域	大妻女子大学飛田ゼミ

3 普及・啓発

(1) 会報「ふくしだより」の発行

年度	発行数	配布方法	内 容	広告収入	発行経費
R2	年6回 発行 (5・7・9・ 11・1・3 月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスティングによる全戸配布 (H25 年度から実施) ・公共施設、郵便局、福祉協力店等に配架 ・声のふくしだよりの送付 (録音テープ、デイジー版 (H29 年度より実施) を視覚障がい者に送付) ・会員賛助金郵便払込用紙を 5 月号に掲載 (R5 年度～) 	タブロイド版 70,000 部	155,000	5,502,911
R3				104,000	4,845,500
R4				48,000	5,078,042
R5				45,000	6,897,840
R6				16,500	8,062,776

単位：円

(2) 福祉バザー

年度	日時	場所	バザー等 収入	バザー 経費	収益額	備考
R2	未開催	-	-	-	-	感染症拡大防止のため開催せず
R3	未開催	-	300 (0)	-	300	感染症拡大防止のため開催せず
R4	R4. 10. 16(日) 10:00～15:00 R5. 3. 1(水)～3(金) 11:00～15:00	二幸産業・NSP 健 幸福祉プラザ	145,876	27,280	118,596	福祉フェスタ、春の発表会の開催日に合わせて実施
R5	R5. 10. 22(日) 10:00～15:00 R6. 2. 28(水)～3. 1(金) 10:30～15:00	二幸産業・NSP 健 幸福祉プラザ	291,980	13,966	278,014	福祉フェスタ、春の発表会の開催日に合わせて実施
R6	R6. 10. 20(日) 10:00～15:00 R7. 3. 5(水)～3. 7(金) 10:30～15:00	二幸産業・NSP 健 幸福祉プラザ	306,830	-	306,830	福祉フェスタ、春の発表会の開催日に合わせて実施

単位：円

※バザー等収入額は、バザー出店参加費、飲み物販売、寄付品の販売等その他収入を含む。

() 内の数字はバザーのみの収入額

(3) 福祉フェスタ

年度	日時	場所	来場者数	内容	備考
R2	未開催	-	-	-	感染症拡大防止のため開催せず
R3	未開催	-	-	-	
R4	R4. 10. 16 (日) 10:00～15:00	総合福祉センター および アクアブルー多摩	約 1,200 人	<ul style="list-style-type: none"> ・たまかんフェスタ、からきだ菖蒲館まつり (多摩ボラセンキャラクターの派遣) ・福祉団体等による販売、体験、発表、展示 ・福祉バザー 	参加：27 団体 協力者 (ボランティア) 25 人
R5	R5. 10. 22(日) 10:00～15:00	総合福祉センター および アクアブルー多摩	約 1,300 人	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉団体等による販売、体験、発表、展示、映画上映 ・福祉バザー ・ボランティアパーク 	協力：3 団体 参加：47 団体 協力者：(ボランティア) 29 人

R6	R6. 10. 20(日) 10:00~15:00	総合福祉センター および アクアブルー多摩	約 1,300 人	<ul style="list-style-type: none"> 福祉団体等による販売、体験、発表、展示、映画上映 福祉バザー ボランティアパーク 	協力：3 団体 参加：45 団体 協力者：(ボランティア) 27 人
----	------------------------------	-----------------------------	-----------	--	---

(4) 福祉大会

年度	日時	場所	内容	当日参加者
R2	R3. 2. 27(土) (式典中止)		<ul style="list-style-type: none"> 福祉功労者の表彰(表彰状：個人 18 人、7 団体、感謝状：個人 10 人、14 団体)、郵送にて賞状と記念品を贈呈 ふくしだより紙面および多摩社協 HP 上にて表彰者を紹介。表彰者へのメッセージを撮影し、オンライン上で公開。 	
R3	R4. 2. 26(土) (式典中止)		<ul style="list-style-type: none"> 福祉功労者の表彰(表彰状：個人 20 人、6 団体、感謝状：個人 9 人、13 団体)、郵送にて賞状と記念品を贈呈 ふくしだより紙面および多摩社協 HP 上にて表彰者を紹介。表彰者へのメッセージを撮影し、オンライン上で公開。 	
R4	R5. 2. 25(土) 13:30~14:30	総合福祉センター3階多目的フロア	<ul style="list-style-type: none"> 福祉功労者の表彰式典(表彰状：個人 11 人、19 団体、感謝状：個人 16 人、35 団体) 	<ul style="list-style-type: none"> 受賞者 41 人 来賓者 2 人
R5	R6. 2. 24(土) 13:00~16:15	パルテノン多摩小ホール	<p>「法人化 50 周年記念令和 5 年度福祉大会」</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉功労者の表彰 (表彰者：個人 20 人、3 団体) 感謝状：個人 18 人、209 団体) 記念講演会「望まない孤独をなくす」 講師：NPO 法人あなたのいばしょ理事長 大空 幸星 氏 	<ul style="list-style-type: none"> 受賞者 68 人 来賓者 20 人 式典/講演会延べ来場者 195 人 (講演会参加者 143 人)
R6	R7. 2. 22(土) 13:00~15:45	総合福祉センター3階多目的フロア	<ul style="list-style-type: none"> 福祉功労者の表彰 (表彰者：個人 15 人、10 団体) 感謝状：個人 9 人、25 団体) 講演会「生きづらさを感じている方々の状況の理解と必要な支援」 講師：NPO 青少年自立援助センター理事長 河野 久忠 氏 	<ul style="list-style-type: none"> 受賞者 45 人 来賓者 9 人 式典/講演会延べ来場者 144 人 (講演会参加者 53 人)

(5) メールマガジン配信状況

年度	R2	R3	R4	R5	R6
年度末登録者数	734	683	628	638	619
配信回数	13	13	12	13	13

※原則毎月15日に配信。そのほか不定期に配信

※平成29年10月より配信開始

(6) 福祉協力店状況

年度		R2	R3	R4	R5	R6
店舗数		80	77	74	73	74
協力内容	募金箱	58	59	57	55	53
	広報紙	69	68	64	65	67
	自販機	5	4	5	5	5
	車椅子	9	6	6	7	9
	入れ歯回収	5	8	5	5	5
	フードドライブ	2	2	2	2	2

※平成29年度より「災害用自動販売機（自販機）の設置」及び「車椅子の設置」を新設

※平成30年度より「入れ歯回収ボックスの設置」を協力内容に新設

※令和2年度より「フードドライブ」を協力内容に新設

※協力内容（内訳）の件数は延べ数

4 組織強化活動

(1) 会員賛助金の状況

会費及び賛助金の単位：円

区分・単価 (円)	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度	
	件数	賛助金								
個人会員 @500以上	2,504	2,094,200	2,464	1,989,000	2,191	1,763,358	2,202	1,758,260	2,120	1,781,000
団体会員 3,000以上	155	615,100	141	529,500	137	518,000	149	510,500	136	450,500
特別会員 10,000以上	108	1,295,000	97	1,185,000	100	1,150,000	101	1,335,000	108	1,492,560
合計	2,767	4,004,300	2,702	3,703,500	2,428	3,431,358	2,452	3,603,760	2,364	3,724,060+

(2) チャリティーゴルフ大会

年度	日にち	場所	参加者	参加費 収入	協賛 収入	大会 経費	収益額	備考
R2	02.12.7 (月)	府中カントリー ークラブ	113人	348,000	250,600	123,212	475,388	協賛： 18団体、個人3人 (経費には中止した 6月桜ヶ丘大会の案 内通知経費含む)
R3	03.10.4 (月)	桜ヶ丘カント リークラブ	139人	296,000	324,800	135,310	485,490	協賛：29団体、個 人6人(当初予定7 月より延期)
	03.12.6 (月)	府中カントリー ークラブ	128人	384,000	279,100	146,182	516,918	協賛： 9団体、個人6人
R4	04.7.11 (月)	桜ヶ丘カント リークラブ	170人	342,000	385,000	125,724	601,276	協賛： 26団体、個人2人
	04.12.5 (月)	府中カントリー ークラブ	117人	360,000	240,400	99,757	500,643	協賛： 14団体、個人2人
R5	05.6.19 (月)	桜ヶ丘カント リークラブ	161人	342,000	376,200	131,944	586,256	協賛： 31団体、個人7人
	05.12.4 (月)	府中カントリー ークラブ	120人	360,000	244,000	119,044	484,956	協賛： 9団体、個人3人
R6	06.6.17 (月)	桜ヶ丘カント リークラブ	158人	480,000	369,600	124,147	725,453	協賛： 30団体
	06.12.9 (月)	府中カントリー ークラブ	115人	575,000	259,000	386,173	447,827	協賛： 9団体、個人5人

(3) 寄付金の状況

単位：円

区 分		R2	R3	R4	R5	R6
一般寄付		1,079,968	1,762,858	2,567,351	2,404,026	3,019,595
指定 寄付	ボランティア 基金	442,281	1,108,567	266,989	302,418	705,343
	ボランティア・ 市民活動支援	165,940	2,436,642	178,669	144,550	93,622
	小地域 福祉活動	26,205	17,057	68,121	60,000	147,185
	子ども・若者	-	-	2,045,767	1,121,465	5,692,354
	その他	272,912	30,000	10,000	289,579	20,000
合 計		1,987,306	5,355,124	5,136,897	4,322,038	9,678,099

※R6指定寄付「その他」は、用途を水浴訓練事業へ指定。

※ボランティア基金及び子ども・若者は、基金積立額

各種基金年度末残高

単位：円

区 分	R2	R3	R4	R5	R6
ボランティア 基金	12,275,590	13,384,157	12,149,454	12,451,872	13,157,215
地域福祉 特定基金	29,317,269	29,198,732	29,183,283	29,323,192	29,192,484
子ども・若者 応援基金	-	1,500,000	1,804,864	2,888,580	8,231,134
福祉基金	58,281,000	58,281,000	58,281,000	58,331,421	58,281,000

5 助成事業

(1) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区分	令和6年度			令和5年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	4,172,000	3,164,101	75.84	4,615,000	3,454,790	74.86

② 支出の状況

単位：円

区分	令和6年度			令和5年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	4,172,000	3,079,320	73.81	4,615,000	3,316,689	71.87

(2) 福祉団体補助

① 令和6年度実績

目的	団体へ補助することで、地域福祉の充実と発展を図る。	
補助団体	12 団体	
	① サンクラブ多摩	(精神障がい者の家族会)
	② 多摩市失語症友の会こだま	(失語症当事者の会)
	③ 多摩市視覚障害者福祉協会	(視覚障がい者当事者の会)
	④ 多摩市手をつなぐ親の会	(知的障がい児者と保護者の会)
	⑤ 多摩市遺族会	(遺族会)
	⑥ 多摩市身体障害者福祉協会	(身体障がい者当事者の会)
	⑦ 特定非営利活動法人くぬぎ	(知的障がい児者の会)
	⑧ 多摩市聴覚障害者協会	(聴覚障がい者当事者の会)
	⑨ 多摩草むらの会	(精神障がい者と家族の会)
	⑩ プレイルームゆづり葉の家	(知的障がい児者の会)
	⑪ 多摩市ひとり親家庭の会ほほえみ	(ひとり親家庭の会)
⑫ 特定非営利活動法人 暉望	(心身障がい者福祉団体)	
補助金額	総額 2,243,467 円	

② 福祉団体補助金の状況

単位：円

	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
補助団体	9 団体	11 団体	11 団体	12 団体	12 団体
補助総額	1,503,470	1,482,093	1,836,295	1,982,839	2,243,467

(3) 老人クラブ連合会事業費補助金

連合会が行う事業に要する経費の一部を補助することにより、高齢者間の交流や親睦、連合会の活動の活発化を図る。

補助団体：多摩市老人クラブ連合会

補助金額：90,000 円(年額) ※事業費(芸能大会、車椅子講習、体力測定会等)に充当

(4) 自治会・住宅管理組合ご近所ふくし応援助成金

自治会・住宅管理組合が行う地域での福祉活動(生活支援、見守り活動、地域のまつり、敬老事業、防災・文化活動等)に関する事業に対して助成することで、地域の福祉の振興を図る。

① 令和6年度実績

区分	実 績
1	◆住民主体の継続的な福祉活動 4 団体 190,000 円
	都営住宅聖ヶ丘1丁目アパート自治会 ・高齢者の見守りと親睦及び都クリーン隊 多摩市百草団地自治会 ・多摩市百草団地自治会 みまもりの会 グリーンメゾン鶴牧3住宅管理組合 ・要配慮者対応活動とSNSを使った見守り活動の拡充 桜ヶ丘一丁目自治会【新規】 ・桜ヶ丘一丁目「助けあいと見守り隊」
2	◆福祉に関する取り組みや福祉の啓発活動 8 団体 135,000 円
	関戸自治会 多摩ニュータウンエステート聖ヶ丘-3 団地管理組合 サバービア 21 多摩住宅管理組合 エステイメール 21 多摩団地管理組合 大貝戸自治会 多摩ニュータウングリーンヒル貝取 1-28 団地管理組合 貝取 4-4 団地管理組合 ハイライズタウン鶴牧-6 団地管理組合
3	◆地域交流事業 28 団体 273,400 円
	一ノ宮自治会 みどり会自治会 エステート聖ヶ丘-2-東団地管理組合 聖ヶ丘四丁目町会 桜ヶ丘二丁目の会 桜ヶ丘三丁目自治会みどり会 桜ヶ丘四丁目自治会 和田さくら自治会 Brillia 多摩ニュータウン団地管理組合 永山ハイツ住宅管理組合 瓜生自治会 永山五丁目自治会 永山6丁目自治会 タウンハウス貝取-2 住宅管理組合 エステート豊ヶ丘 2-6 住宅管理組合 豊ヶ丘 4-1 住宅管理組合 グリーンテラス豊ヶ丘団管理組合 豊ヶ丘 5 丁目 1 番住宅団地管理組合 D' グラフォート多摩センター煉瓦坂管理組合 プロムナード多摩中央団地管理組合 多摩ニュータウン落合 3-1 団地 (Dブロック) 管理組合 ホームタウン落合-5 団地管理組合 多摩市小野路自治会 鶴牧五丁目東町会 ヒルサイドタウン鶴牧-6 団地管理組合 ホームタウン鶴牧 6 団地管理組合 ブルーミングヒルズ多摩センター・ファーストレジデンス 唐木田自治会

(申請辞退、全額返還については、上記の団体数及び助成総額からは除外)

※申請受付期間：1次(前期)(区分1～区分3)…4月11日～6月28日(交付決定9月)

2次(後期)(区分1～区分3)…7月1日～10月31日(交付決定12月)

※通常は1次募集を区分1～3、2次募集を区分1・2のみだが、コロナウイルス感染症の影響を鑑み、2次募集でも区分1～3を受付。

② 自治会・住宅管理組合ご近所ふくし応援助成金の状況

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
対象団体	自治会	92団体	95団体	97団体	93団体	96団体
	管理組合	110団体	109団体	109団体	112団体	114団体
	計	202団体	204団体	206団体	205団体	210団体
助成団体	自治会	7団体	6団体	13団体	15団体	18団体
	管理組合	4団体	7団体	7団体	19団体	22団体
	計	11団体	13団体	20団体	34団体	40団体
: @助成総額		250,000	330,017	390,000	540,000	598,400

単位：円

※上限額：設立助成金：1団体5万円(区分1のみ対象)

活動助成金：区分1…1団体5万円(4回目からは上限3万円)

区分2…1団体2万円(4回目からは上限1万5千円)

区分3…1団体1万円

6 地域福祉活動の推進事業

(1) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	令和6年度			令和5年度		
	予算現額	執行済額	執行率 (%)	予算現額	執行済額	執行率 (%)
合 計	5,586,000	4,391,766	78.62	5,001,000	3,527,776	70.54

② 支出の状況

単位：円

区 分	令和6年度			令和5年度		
	予算現額	執行済額	執行率 (%)	予算現額	執行済額	執行率 (%)
合 計	5,586,000	4,052,847	72.55	5,001,000	3,427,180	68.53

(2) 相談事業「福祉なんでも相談」

① 令和6年度実績

開催会場 開催日時	① 愛宕かえで館 第2木曜日 (午後2時～3時30分・10回実施) ② ひじり館 第3金曜日 (午後1時30分～3時・11回実施) ③ 貝取こぶし館 第1月曜日 (午後1時30分～2時30分・9回実施) ④ 三方の森コミュニティ会館 第4水曜日 (午後1時30分～3時・10回実施) ⑤ トムハウス 第2火曜日 (午後12時半～午後1時半・11回実施) ⑥ からきだ菖蒲館 第3火曜日 (午後2時～3時30分・10回実施) ⑦ 桜ヶ丘(サロン内) 第1木曜日 (午後2時～3時30分・10回実施) ⑧ 大栗川かるがも館 第4火曜日 (午後2時～3時30分・10回実施) ⑨ 諏訪福祉館 奇数月第3火曜日 (午前9時30分～11時・6回実施) ※7月、9月は第4火曜日に変更 ⑩ 豊ヶ丘福祉館 奇数月第3火曜日 (午後1時～2時30分・6回実施) ※5月は第4水曜日、7月9月は第3木曜日に変更 ⑪ 連光寺コミュニティ会館 5、9、1月第3木曜日 (午後1時30分～3時・3回実施)
内 容	地域住民の身近な相談を関係する団体等と適切につなぐことで、問題の早期発見と予防に努めるとともに、本協議会や福祉サービスの情報提供及びPRを図る。 地域活動支援センターあんどや権利擁護センターと連携し、専門相談への対応を図る。ボランティア出張相談も同時開催する。 地域包括支援センターと共催で実施しているエリアもある。
対 象 者	市民全般
相談件数	相談件数 108件 (高齢89件、障がい10件、その他9件) 事業参加者 96人 (脳トレ、ミニ講座等) *前年度同期 90件 (高齢81件、障がい5件、その他4件) 事業参加者 94人 (脳トレ、ミニ講座等)
連 携 者 (団体)	コミュニティセンター運営協議会、地域包括支援センター 権利擁護センター、自治会

② 福祉なんでも相談の実施状況

	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
相談件数	36	59	62	90	108

(3) ふれあい・いきいきサロン推進事業

① 令和6年度実績

内 容	小地域福祉活動推進にあたり、住民主体で行う地域でのサロン活動の推進と支援を行う。 登録団体への支援内容 <活動方法・内容等の相談、情報提供、人材紹介、保険料の負担> <活動費の補助・・設立助成金 20,000円、活動助成金 月1回実施 5,000円、月2回または3回実施 10,000円、月4回以上または週1回以上実施 15,000円> ・保険加入団体100団体 ※団体数も同数
対象団体	市内の任意の市民団体
連携者 (団体)	サロン活動団体、地域包括支援センター、多摩市、民生・児童委員

② ふれあい・いきいきサロンの実施状況

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
登録団体数	102	104	106	110	100
助成団体数	84	80	76	85	85
助成総額 (単位：円)	960,000	955,000	915,000	1,030,000	1,005,000

③ ふれあい・いきいきサロン説明会

令和5年度、サロン交流会の一環として「スペース葉」を開始したが、令和6年度から重層的支援体制整備事業としての実施に移管した。

窓口や地域福祉コーディネーターが地域内で直接、相談を受ける機会が増えたため、今年度は全体的な説明会は開催していないが、新規団体が4団体誕生している。

④ サロン交流会

開催日時	令和6年11月6日(水)午後2時～4時
会 場	パルテノン多摩4階 会議室1・3・4
内 容	1)アイスブレイク(脳トレ・クイズ) 2)交流(グループごとにテーマを設定しながら情報交換) 3)その他(お知らせ)
対象者	ふれあい・いきいきサロンスタッフ 社協登録サロン：100、連携サロン10、 市内地域包括支援センター
参加者	サロン世話人23団体35人、地域包括支援センター8人

⑤ 大学等の教育カリキュラムへの協力

東京都立南多摩看護専門学校からの依頼を受け、同行が行う「令和6年度『地域特性と看護』フィールドワークに協力し、登録サロンに学生が参加して学ぶ機会を提供した。(令和4年度まで実績無)

実施期間	令和7年1月20日（月）～令和7年2月26日（水）
実施回数	15回 ※1回あたり学生6名が参加
協力サロン数	9団体
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ①瓜生元気アップトレーニング(1/20、2/17) ②ラダー三方の森(1/21、2/18) ③元気アップサロン(2/12、2/19) ④結 からきだの会(2/12) ⑤ふれあいサロン 結(2/12、2/19) ⑥5-34 元気アップトレーニング(2/13、2/20) ⑦おちよん(2/17) ⑧OGB 会(2/17) ⑨すいすいサロン(2/19、2/26)

令和6年度ふれあい・いきいきサロン等活動状況一覧

ア) 本協議会登録サロン

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
1	①	サロン河原倶楽部	関戸2丁目河原クラブ	毎月第2土曜日	H21	無
2		この指とまれ	ポロン(関戸4丁目)	内容により異なる	H21	無
3		一ノ宮けやきサロン	一ノ宮集会所 (一ノ宮1丁目)	毎月第3水曜日	H27	有
4		関戸さくら会	関戸2丁目河原クラブ	毎月第1月曜日	H24	有
5		たまりばらんど	個人宅(一ノ宮4丁目)	毎月第3火曜日	H28	有
6		3丁目かわせみ会	関戸3丁目クラブ	毎週月曜日	H28	有
7		みんなの食堂 スプーン	一ノ宮児童館 (一ノ宮1丁目)	毎月第3水曜日	H29	無
8		サロン・フランヴィーヴル	フランヴィーヴル聖蹟桜ヶ丘2階カフェラウンジ (関戸4丁目)	①毎月第1金曜日 ②毎月第3水曜日	H29	有
9		サロンまちの縁側	関戸2丁目河原クラブ	毎週木曜日	H30	有
10		地域交流スペース やどり木	共同住宅内(関戸2丁目)	毎週水曜日	R1	有
11		マドカ・ストレッチ体操サロン	多摩中学校クラブハウス (関戸3丁目)他	毎週木曜日	R1	有
12		1・2・3・4いきいき体操	桜ヶ丘一ノ宮集会所 (一ノ宮4丁目)	毎週木曜日	R1	有
13		健康を考える会	ザ・スクエア集会室 (関戸1丁目)	毎週金曜日	R5	有
14		②	京王一の宮サロン	京王一の宮自治会集会所 (連光寺4丁目)	①毎月第4木曜日 ②毎週木曜日	H21
15	にじの会		向ノ岡集会所 (連光寺1丁目)	毎月10日	H21	有
16	聖ヶ丘2丁目東サロン “気まま会”		エステート聖ヶ丘2丁目 東団地集会所/個人宅等	内容により異なる	H22	無
17	聖ヶ丘灯火サロン		聖ヶ丘4丁目集会所	①毎週月曜日 ②毎月第4土曜日	H23	有
18	木の実サロン		木の実公園集会所 (連光寺3丁目)	毎月第2火曜日	H27	有
19	聖ヶ丘ふれあいサロン		多摩ニュータウン聖ヶ丘 団地集会所 (聖ヶ丘1丁目)	毎週火曜日	H11	有
20	連光寺東部 健幸サロン わわわ(我和輪)		連光寺東部集会所 (連光寺6丁目)	毎週木曜日	H29	有

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
21		サロンひなの会	連光寺志学サロン (連光寺2丁目)	毎月第1・3水曜日	H30	有
22		金聖会	聖ヶ丘2丁目集会所	毎週金曜日	H30	有
23		② 聖ヶ丘2丁目-西 ニコニコ・サロン	エステート聖ヶ丘-2 西 団地集会所 (聖ヶ丘2丁目) 放課後デイサービスメロ ディ (聖ヶ丘2丁目)	①第1・3日曜日 ②第2・4火曜日	R1	有
24		近トレ丘の上	関戸自治会南田倶楽部 (聖ヶ丘1丁目)	毎週火曜日	R2	有
25	③	桜ヶ丘まちネット にこにこサロン	桜ヶ丘集会所 (桜ヶ丘1丁目)	毎週木曜日	H24	有
26		サロン かなかな	桜ヶ丘集会所 (桜ヶ丘1丁目)	毎月第1月曜日	R3	有
27		まちカフェ ロータリー	桜ヶ丘集会所 (桜ヶ丘1丁目)	毎週火・木曜日 ※第1火曜日を除く	R5	有
28	④	もぐさ井戸端サロン	三方の森コミュニティ会 館 (和田)	毎月第2水曜日	H15	無
29		三方の森 ふれんど広場	三方の森コミュニティ会 館 (和田)	毎月第2土曜日	H28	有
30		ラダー三方の森	三方の森コミュニティ会 館 (和田)	毎月1・3火曜日	H30	有
31		ふらっと東寺方	東寺方住宅コミュニティ サロン	毎週水曜日	H30	有
32		東寺方健やかサロン	東寺方自治会会館	毎月第1月曜日	R1	有
33		いなりづかサロン	和田稲荷塚集会所 (百 草)	毎週木曜日 ※第5週は除く	R4	有
34	⑤	はなもものつどい	グリーンヒル貝取1-28 団地集会所	毎月第3日曜日 (不定期)	R1	有
35		健康麻雀友の会	多摩市立市民活動・交流 センター (貝取1丁目)	①毎週土曜日 ②月1回日曜日	H17	無
36		いきいきサロン夢の会	多摩市立市民活動・交流 センター (貝取1丁目)	毎週水曜日	H30	有
37	⑤	俳研サロン	コンセボール21 多摩集 会所 (愛宕4丁目)	毎月第3・4水曜日	R4	有
38		いきいき・ボッチャサロ ン	多摩市立市民活動・交流 センター (貝取1丁目)	①毎月第1・3水曜 日 ②毎月第2土曜日	R5	有
39		ヒルサイド近トレ会	豊ヶ丘1-53 ヒルサイド テラス豊ヶ丘集会所	毎週金曜日	R6	有
40	⑥	ひまわりの会	個人宅(諏訪2丁目)	①毎月第2火曜日 ②毎月第3木曜日	H26	有
41		F棟みまもりサポート	ブリリア多摩ニュータウ ンF棟 (諏訪2丁目)	毎月第3木曜日	H28	無

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
42	⑥	なごやか健幸体操の会	グリーンメゾン諏訪集会所(諏訪3丁目)	毎週火・木曜日	H30	有
43		はなみずき近トレクラブ	諏訪地区市民ホール(諏訪5丁目)	①毎月第1・2・4月曜日 ②毎月第3火曜日	H30	有
44		のんびり馬引沢	馬引沢自治会館(馬引沢2丁目)	毎月第4土曜日	R1	有
45		ブリリアカフェ	ブリリア多摩ニュータウンC棟パーティールーム(諏訪2丁目)	毎月第1日曜日 毎月第3土曜日	R4	有
46		みんなで楽しく「和(なごみ)の会」	諏訪5丁目第2集会所	毎月第3水曜日	R5	有
47		アイ♪ビ	諏訪地区市民ホール(諏訪5丁目) 他	毎週木・日曜日	R1	有
48	⑦	瓜生サロン	瓜生集会所(永山6丁目)	①毎月第3火曜日 ②毎月5日	H21	有
49		いきいきサロン・メゾネット永山	メゾネット永山5団地管理組合法人集会所	毎月第1火曜日	H24	無
50		サロン5-21	タウンハウス永山5住宅管理組合集会所	①毎月第1・2・4木曜日 ②毎週月曜日 ③毎月第3土曜日	H27	有
51		ネットワーク永山「体操サロン」	諏訪老人福祉館(諏訪5丁目)	毎月第2水曜日	H28	無
52		すいすいサロン	永山東集会所(永山4丁目)	毎週水曜日 ※第5週は除く	H30	有
53		瓜生元気アップトレーニング	瓜生集会所(永山6丁目)	毎週月曜日	H30	有
54		エステート永山-3近トレ教室	エステート永山3団地集会所	①毎週金曜日 ②毎週月曜日	R1	有
55		3の2近トレサロン	永山3-2集会所	毎週水曜日	R1	有
56		永山3丁目近トレクラブ	西永山福祉施設多目的室(永山3丁目) 永山3-12自治管理の会集会所	毎週火曜日	R3	有
57		永山5-34元気アップトレーニング	タウンハウス永山5-34集会所	毎週木曜日	R6	無
58	⑧	月曜会	グリーンメゾン貝取-2集会所	毎月第1・3月曜日	H1	有
59		豊ヶ丘4-1ふれあいおしゃべりサロン	豊ヶ丘4-1集会所	毎月第2水曜日	H16	有
60		ふれあいサロン『木の葉』	豊ヶ丘5-1管理組合集会所	毎月第3月曜日	H18	有
61		豊ヶ丘3-3ふれあい会	豊ヶ丘3-3集会所	月1回(不定期)	H19	無
62		サロン・コスモ	コスモフォーラム多摩コミュニティ棟内(豊ヶ丘3丁目)	毎月第3金曜日	H24	無

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
63		茶ロン つむぎ	エステート貝取-2 集会所 貝取こぶし館（貝取4丁目）	①毎週月曜日 ②毎月第2・4水曜日 ③毎月第1・3木曜日 ④毎月第1・3金曜日	H25	有
64	⑧	南野カフェ	パルシステム東京 多摩センター交流ルーム （南野1丁目）	毎週月曜日	H28	有
65		いきいきサロン 「げんき会」	ゆたか庵（豊ヶ丘4丁目）	毎月第3木曜日	H28	有
66		コスモ近トレ	コスモフォーラム多摩 コミュニティ棟内 （豊ヶ丘3丁目）	毎週水曜日	H30	有
67		元気アップサロン	貝取こぶし館（貝取4丁目）	毎週水曜日	R1	有
68		碁楽会	豊ヶ丘地区市民ホール第2会議室（豊ヶ丘5丁目）	①毎月第1・2・4月曜日 ②毎月第3火曜日 ③毎週水曜日 ④毎週金曜日	H15	無
69		榛（くぬぎ）の会	メゾン豊ヶ丘2-15メゾン 豊ヶ丘-2団地集会所	毎週金曜日	R4	有
70		トランプ市民ホール	豊ヶ丘地区市民ホール第一会議室（豊ヶ丘5丁目）	毎週月曜日（第3週除く）	R6	有
71		貝取3丁目健幸サロン	都営貝取3丁目集会所	毎月第1土曜日	R6	無
72	⑨	環の会	グリーンメゾン鶴牧3集会所	①毎週木曜日 ②第1・3土曜日 ③毎月第3日曜日	H15	有
73		ブリリアシニアの会	ブリリア多摩センター パーティールーム（鶴牧3丁目）	毎月第3水曜日	H20	有
74		落合4の3園芸有志会	落合4-3集会所	毎週土曜日 ※第5週は除く	H22	有
75		鶴三会	タウンハウス鶴牧3丁目 団地集会所	毎月第3木曜日	H24	有
76		木曜サロン	落合3-4集会所	毎月第3木曜日	H25	有
77		鶴5東町会親睦会	鶴牧5丁目集会所 トムハウス（落合6丁目）	①毎週月曜日 ②毎月第1金曜日 ③毎月第3金曜日	H25	有
78		落合4の3おはなし会	落合4-3集会所	毎月第2・4火曜日	H27	有
79		ふれあい サロン 結	落合4-4集会所	毎週水曜日	H27	有
80		おしゃべり広場	グリーンコープ落合団地 集会所（落合6丁目）	①毎月第1・3火曜日 ②毎月第2・4月曜日	H28	有

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付	
81	⑨	たまデフサロン	総合福祉センター障がい者団体共用室内（南野3丁目）	毎月第3水曜日	H29	有	
82		コミュニティサロンあいあい	落合3丁目住宅集会所	毎週木曜日	H30	有	
83		みんなで元気はつらつ会	タウンハウス落合5集会所	毎月第1・3火曜日 毎週金曜日	H30	有	
84		オーベル近トレクラブ	オーベルグランデュオ多摩中央公園コミュニティスクエア（落合2丁目）	毎週火曜日	H30	有	
85		鶴5ふれあいサロン	鶴牧5丁目集会所	①毎月第1・3水曜日 ②毎月第2・4水曜日 ③毎月第3木曜日 ④毎月第3・4金曜日	R1	有	
86		OGB会（落合生き生きサロン）	落合Dブロック集会所（落合3丁目）	毎週月曜日	R1	有	
87		ブリリア 健康体操クラブ	ブリリア多摩センターエクササイズルーム（鶴牧3丁目）	毎週木曜日	R3	有	
88		ながら運動の会	東落合小学校多目的ホール（落合3丁目）、落合3-4集会所	毎週土曜日	R3	有	
89		エステートサロン	エステート落合5-8集会所	毎月第2火曜日	R4	有	
90		おちよん	落合4-4集会所	毎週月曜日	R5	有	
91		落合5-3カフェ ひだまり	タウンハウス落合5集会所	①毎月第2月曜日 ②毎月第4木曜日	R5	有	
92		メゾン落合なかよし会	メゾン落合6集会所	毎週金曜日	R5	有	
93		⑩	ハイライズタウン親睦の会	ハイライズタウン鶴牧6集会所	毎月第2日曜日	H19	有
94			アルテ体操の会	アルテヴィータマンション内コミュニティリビング（鶴牧1丁目）	毎週木曜日	H30	有
95	中沢近トレの会		エステート中沢集会所（中沢2丁目）	①毎週火曜日 ②毎週水曜日	R1	有	
96	中沢一丁目団地スマートエクササイズクラブ		中沢一丁目団地集会所（中沢1丁目）	毎週月曜日	R4	有	
97	近トレゆいま〜る		たまの道（中沢2丁目）	毎週木曜日	R4	無	
98	結 からきだの会		唐木田自治会館（唐木田1丁目）	①毎週水曜日 ②毎月第1木曜日	R5	有	
99	TPH近トレ会		ザ・パークハウス多摩センター集会所（落合1丁目）	毎月第1・2・3・4火曜日	R5	有	
100	⑩	ストレッチクラブサロン	ヒルサイド鶴牧-6団地管理組合	毎週金曜日	R5	有	

イ) 連携サロン(社協サロン登録をおこなわず活動しているサロン。社協は、サロン活動における相談支援・サロン交流会などにおける情報交換の機会の提供などの連携を図っている)

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	備 考
1	②	連光寺志学サロン	連光寺志学サロン (連光寺2丁目)	①毎月5日・20日 ②毎週金曜日	H20	元社協登録サロン
2		ふれあいサロン 「すずめのお宿」	エステート聖ヶ丘-3 団地 集会所	毎月第3木曜日	H22	元社協登録サロン
3	⑤	サロンかいどりやま	グリーンヒル貝取1-40 団 地集会所	①毎月第1・3・ 4・5水曜日 ②毎月第2土曜日	H23	元社協登録サロン
4	⑥	カレーの日(馬引沢団 地ボランティアクラ ブ)	馬引沢団地自治会館 (諏訪1丁目)	毎月第2水曜日	H9	
5		やまももの会	ホームタウン諏訪集会所 (諏訪1丁目)	毎月第3土曜日	H16	元社協登録サロン
6		さくらんぼの会 アダプ ト班	ブリリア多摩ニュータウ ンD棟西側(諏訪2丁目)	毎月第2・4土曜日	R3	元社協登録サロン
7	⑦	M a y u サロン	多摩市音訳グループ繭 事務所(永山2丁目)他	毎月第4土曜日	H30	元社協登録サロン
8		永山ハイツ体操サロン	永山ハイツ集会所(永山2 丁目)	毎週月曜日	H30	元社協登録サロン
9	⑨	落合3-2自治会ふれあ いサロン	落合3-2自治会集会所	毎週月・火曜日	H8	
10		三々五々の会	落合3-3集会所	毎月第1水曜日	H19	元社協登録サロン

(4) 小地域福祉活動推進事業

地域住民ニーズの把握や住民自らが福祉課題を共有化し、それぞれの地域の個別課題の解決に向けて協議する場として、コミュニティエリア内の自治会・住宅管理組合、民生委員、地域包括支援センター、福祉団体ボランティア、コミュニティセンター運営協議会や社協役員とともに「地域福祉推進委員会」を設置し、地域住民がさまざまな地域課題解決に取り組めるよう支援する。

① 令和6年度実績（小地域福祉活動状況）

エリア名	小地域福祉活動の進捗状況
<p>第1エリア (関戸・一ノ宮)</p>	<p><関戸エリア> ■まち育てネットワーク・関一 *委員会：6回開催 ：延べ105団体101人参加 *世話人会：6回開催</p> <p>[定例の委員会内での取り組み] ※定例の委員会では、地域活動状況と情報交換、グループワークを実施。 ・グループワークのテーマ 第1回 「いざという時につながり合える地域づくり」 第2回 「今年度の移動縁側の内容と実施場所について」 第3回 「今年度の移動縁側の内容と実施場所について」 第4回 ①災害時のために平時の関係づくりをどう行うか ②そのための活動が災害時にどう生かされたか ※グループワークの前に防災安全課の講義を聞き、グループワークを実施 第5回 グループワークなし（防犯に関する情報交換） ※テーマ「防犯と地域」 ※情報交換の前に、参加委員より地域の特殊詐欺被害の実例の講話あり。それを元に各地域の状況を共有。 第6回 「顔と顔の見える関係性を広めよう」来年度具体的どこで何を する？～移動縁側はそのきっかけづくり～</p> <p>[委員会企画事業] <交流事業> ・つむぎ館まつり 参加 [10月] まちの縁側 <まち歩き> ・第20弾 浅川沿いの水路散策～高幡不動コース 25人参加 *広報紙：「まちネット・関一だより」 ・発行なし *多摩第一小学校放課後教室ボランティア協力： ・5月～2月（全10回）：竹とんぼ *地域事業（関戸楽縁祭）への参加及び協力 ・11月 会場：関戸河原クラブ *新規サロン登録：なし *普及啓発講座 ・認知症理解講座 [9月]（北部地域包括支援センター、関・一つむぎ館と共催） ・視覚障がい者理解講座 [1月]（当事者を講師に招いて開催。疑似体験も）</p> <p><一ノ宮エリア> *地域事業（ふれあい・おとなりサンデー）への参加及び協力 ※コロナ禍以降中止 *一ノ宮自治会への協力 ・今年度はなし（昨年度、また過去に防災関係の講座開催等）</p>

	<p>*桜ヶ丘一ノ宮自治会への協力 ・今年度はなし（昨年度、また過去に防災関係の講座開催等）</p>
<p>第2エリア (連光寺・聖ヶ丘)</p>	<p>■連光寺・聖ヶ丘地域福祉推進委員会 *委員会：6回開催 ：延べ139団体250人参加 ※会場はひじり館、連光寺小学校、Zoom 参加とハイブリットで開催</p> <p>*世話人会：11回開催 *オリエンテーション：1回開催 8団体8人参加 ※ひじり館、Zoom 参加とハイブリットで開催</p> <p>[定例の委員会内での取り組み] ・各団体からの報告・情報交換[5、7、9、11、1、3月] ・年間テーマ「6年後を見つめて～私たちの地域をどうしたいか」グループワーク（連光寺小学校のヤギさんグループ、聖ヶ丘中学校の農園グループ、居場所ひじりグループ、居場所ココスモグループ）[5、7、9、11、1、3月]</p> <p>・連光寺コミュニティ会館 秋まつり出店[10月] ・連光寺小学校 ヤギさん博士になろう！授業参加[11月] ・連光寺小学校 昔遊び授業協力[12月、1月] ・恵泉女学園コミュニティガーデン見学・参加[1月]、貝取小学校グリーンデイ見学・参加[3月]</p> <p><学校連携グループ> ・さくら運送 ～多摩桜の丘学園・ビッグエー連携買い物支援プロジェクト～水曜日実施(回数は月により異なる)令和6年度は5月～2月(4、7、8、9、11、3月除く)開催。 15回実施、年間80件対応</p> <p>*各部会の活動 ○広報部会 ・広報紙「ふくしポスト」 第37号 [5月] 3,500部発行 第38号 [9月] 3,500部発行 第39号 [1月] 3,500部発行</p> <p>○事業部会 講演会 「認知症の最新医療について皆さんと一緒に考えませんか？」 ひじり館59人、Zoom 9人 合計 68人参加</p> <p>*聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会との連携 ・福祉なんでも相談の実施（ひじり館）11回実施（東部地域包括支援センターと連携）</p> <p>*連光寺コミュニティ会館との連携 3回実施（東部地域包括支援センターと連携） 元気なうちに知っておくと安心！福祉ミニ講座実施（権利擁護センターと連携） 17人参加</p> <p>*新規サロン登録：なし</p>
<p>第3エリア (桜ヶ丘)</p>	<p>■桜ヶ丘まちネット *委員会：4回開催 ：延べ69団体103人参加</p> <p>*世話人会：12回開催 [定例の委員会内での取り組み]</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体からの報告・情報交換[6、9、11、3月] ・テーマ別グループワーク[6、9、11、3月] (多世代、高齢、防犯・防災、コミュニティ) [委員会企画事業] *普及啓発講座： 「消費者被害に遇わないためにインターネットとの向き合い方とネット通販」 [2月] 参加者：24人 協力：東京都消費生活総合センター、桜ヶ丘駐在所 共催：桜ゆうゆう会 *住民交流事業： 「ハロウィンイベント」 [10月] 参加者：62人 協力：桜ヶ丘自治会・町会、ロータリー商店会 共催：桜ヶ丘児童館、桜ゆうゆう会 *広報紙：「さくらの丘だより」 第26号 [5月] 2,200部発行 第27号 [12月] 2,200部発行 *サロン活動にこにこサロン (毎週木曜) 47回開催 延べ1,075人参加 (うち新規38人) ・福祉なんでも相談の実施 (にこにこサロン内) : 10回実施 (連携：西部地域包括支援センター) *新規サロン登録：なし
<p>第4エリア (東寺方、和田、百草、落川)</p>	<p><百草団地周辺エリア> ■三方の森ふれんど</p> <ul style="list-style-type: none"> *委員会：4回開催 ：延べ58団体75人参加 *世話人会：5回開催 [委員会企画事業] *定例食事会： 参加者：平均33人 (令和6年度新規11人) 連携：愛生苑 *ふれんどまつり：世代間交流 1回 9月実施。 参加者146名 (大人128名、児童18名) 連携：多摩市百草団地自治会、百草団地自治会、百草ことぶき会、西部地域包括支援センター、東寺方児童館、特別養護老人ホーム愛性苑、おもちゃ病院 KEBO、NPO 法人テラス、futollante-フトランター、芸術工芸高等専修学校、UR コミュニティ百草団地管理サービス事務所、帝京大学ボランティアサークル「あめんぼ〜ず」、個人ボランティア *帝京大学構内見学ツアー： 11月実施 参加者：20名 連携：ボランティアサークル「あめんぼ〜ず」 *ふれんど交流会：世代間交流 1回 2月実施。 参加者：37人 連携：ボランティアサークル「あめんぼ〜ず」 *広報紙：「三方の森ふれんどだより」 第15号 [3月] 1,100部発行 *サロン活動 三方の森ふれんど広場 (第2土曜日) 10回実施 *その他 ・福祉なんでも相談の実施 (三方の森コミュニティ会館) : 10回実施。 (連携：西部地域包括支援センター、帝京大学ボランティアサークル「あめんぼ〜ず」) ※高齢者を対象の脳トレと、大学生によるスマホ相談会実施

	<p><東寺方エリア></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東寺方地区要配慮者個別計画伴走支援（6月、3月） ・東寺方福祉館秋祭り参加（10月） <p><和田エリア></p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談（和田・東寺方コミュニティセンター運営協議会共催・連携：西部地域包括支援センター） <p>10回実施。 脳トレ実施</p> <p>*新規サロン登録：なし</p>																				
<p>第5エリア (愛宕・乞田)</p>	<p><愛宕エリア></p> <p>■ほほえみネットワーク・愛宕</p> <p>*委員会：新しい協働・連携のプラットホームの場として、「ほほえみサミット」を3回開催。延べ46団体77人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回（6月）15団体28人 ・第2回（9月）15団体25人 ・第3回（3月）16団体24人 <p>※主な参加団体…自治会、住宅管理組合、地域団体、コミュニティセンター、児童館、学童クラブ、地域包括支援センター、大学、企業</p> <p>*世話人会：12回開催</p> <p>[定例の委員会内での取り組み]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まち歩き「まち歩き&りんご狩り」日野市日向園〔11月〕22人参加 ・ほほえみサミット（※再掲）〔6月〕〔9月〕〔3月〕 <p>[委員会企画事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーケードカフェ 実施（会場：愛宕第一住宅商店街内「コミュニティサロン悠々」） 12回開催、延べ643人参加 <table border="0"> <tr> <td>第1回（4月）16人</td> <td>第7回（10月）21人</td> </tr> <tr> <td>第2回（5月）25人</td> <td>第8回（11月）13人</td> </tr> <tr> <td>第3回（6月）18人</td> <td>第9回（12月）30人</td> </tr> <tr> <td>第4回（7月）18人</td> <td>第10回（1月）26人</td> </tr> <tr> <td>第5回（8月）250人※</td> <td>第11回 2月 21人</td> </tr> <tr> <td>第6回（9月）23人</td> <td>第12回 3月 182人※</td> </tr> </table> <p>※アーケードまつり ※おむすび交流会</p> <p>※8月、3月は障がい者団体商店街の店舗や児童館等と協働して多様性交流会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホ講座（会場：愛宕第一住宅商店街内「コミュニティサロン悠々」）8回開催 <table border="0"> <tr> <td>第1回 4月</td> <td>第5回 9月</td> </tr> <tr> <td>第2回 5月</td> <td>第6回 11月</td> </tr> <tr> <td>第3回 6月</td> <td>第7回 12月</td> </tr> <tr> <td>第4回 7月</td> <td>第8回 1月</td> </tr> </table> <p>※(株)オヤマダ（NTT ドコモ代理店）の協力にて実施</p> <p>*広報紙：「ほほえみ通信」</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別号50部（第2回ほほえみサミットにて配布） 特別号②50部（第3回ほほえみサミットにて配布） <p>※活動案内等は愛宕かえで館だより掲載することで、情報を発信した。</p>	第1回（4月）16人	第7回（10月）21人	第2回（5月）25人	第8回（11月）13人	第3回（6月）18人	第9回（12月）30人	第4回（7月）18人	第10回（1月）26人	第5回（8月）250人※	第11回 2月 21人	第6回（9月）23人	第12回 3月 182人※	第1回 4月	第5回 9月	第2回 5月	第6回 11月	第3回 6月	第7回 12月	第4回 7月	第8回 1月
第1回（4月）16人	第7回（10月）21人																				
第2回（5月）25人	第8回（11月）13人																				
第3回（6月）18人	第9回（12月）30人																				
第4回（7月）18人	第10回（1月）26人																				
第5回（8月）250人※	第11回 2月 21人																				
第6回（9月）23人	第12回 3月 182人※																				
第1回 4月	第5回 9月																				
第2回 5月	第6回 11月																				
第3回 6月	第7回 12月																				
第4回 7月	第8回 1月																				

	<p>*愛宕コミュニティセンター運営協議会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実施：10回実施 ・運協広報部と連携し、かえで館だよりに、地域情報を掲載継続 <p>*ほほえみサミットを基軸にした新たな連携、試み (地域と企業・大学の協働)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第7回アーケードカフェ (多摩大学が企画・運営) ・第8回アーケードカフェ (大妻女子大学が企画・運営) ・あたご第2ブロック自治会 (司法書士会と連携して講座実施) ・かえで館まつり (企業がコミセンに機材貸与協力) <p>*新規サロン登録：ヒルサイド近トレ会 (豊ヶ丘1丁目)</p>
<p>第6エリア (馬引沢・諏訪)</p>	<p>■馬引沢・諏訪地域福祉推進委員会</p> <p>*委員会：6回開催 ：延べ89団体132人参加</p> <p>*世話人会：12回開催</p> <p>[定例の委員会内での取り組み]</p> <p>*本年度のテーマ 地域の居場所づくり・交流について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の居場所づくりの企画書づくり (多世代グループ、子どもグループ、高齢者グループ) [4月] ・伊東委員長が語る！地域活動の原点、交流事業ポッチャ [6月] ・持出王 防災カードゲーム [8月] 防災安全課連携 ・諏訪児童館との共催企画の検討 [10月] ・諏訪児童館との多世代交流イベントチラシの作成、イベントの検討 [12月] ・3.22多世代交流イベントに向けて ポッチャや紙飛行機づくりなどの体験、実施に向けた最終打ち合わせ [2月] <p>[委員会企画事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3.22 まひきー&すわに一 わくわくフェスタ 参加者約300人 ・見守りウォーキング [毎月第3木曜日] 10回実施 <p>*広報紙：「ささえ愛」 発行なし</p> <p>*その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諏訪名店街ハロウィンイベント協力 [10月] 事前協力) ハロウィンバスケットづくり諏訪児童館、利用者 (小中学生) 当日協力者 3名 諏訪名店街どんぐりパン前でバルーンアート、ぶんぶんコマの昔遊び、ハロウィンバスケットの配布 ・すわっこまつり協力 [12月] 当日協力者 4人 <p>*諏訪福祉館との連携： 福祉なんでも相談の実施 6回</p> <p>*新規サロン登録：なし</p>
<p>第7エリア (永山)</p>	<p>■福祉のネットワーク永山</p> <p>*委員会：6回開催 ：延べ147団体180人参加</p> <p>*世話人会：12回開催</p> <p>[定例の委員会内での取り組み]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉のネットワーク永山概要と永山地域の現状・子ども食堂福祉亭 [5月] ・自治会・管理組合組織のあり方～持続可能な地域活動を考える [7月] ・集会所の活用を通して地域の交流を考える [9月]

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の見守りや支え合い活動 [11月] ・司法書士講座「永山地域で自分らしく生きるために～元気なうちの備え」 [1月] ・今年度の振り返りと次年度に向けて [3月] <p>[委員会企画事業]</p> <p>*交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まち歩き」開催（毎月第2・最終火曜日） <p>*見守り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守りさんぽ（毎週月曜日） <p>*健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク永山「体操サロン」（毎月第2水曜日） <p>*広報紙：「ふくしのネットワーク永山だより」（季刊発行）</p> <ul style="list-style-type: none"> 第52号 [4月] 1,800部発行 第53号 [6月] 2,200部発行 第54号 [10月] 1,800部発行 第55号 [1月] 1,800部発行 <p>*ネットワークづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「瓜生小地区防災組織担当者連絡会」7回開催 ・避難所運営訓練実施 [11月] ○「永山小・多摩永山中地区防災情報連絡会」9回開催 ・合同防災訓練実施 [11月] <p>*新規サロン登録：永山5-34元気アップトレーニング</p>
<p>第8エリア (貝取・豊ヶ丘)</p>	<p>■ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな</p> <p>*委員会：6回開催 ：延べ127団体223人参加</p> <p>*世話人会：12回開催</p> <p>[定例の委員会内での取り組み]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域を知ろう～貝取・豊ヶ丘の現状、興味関心別グループワーク [5月] ・自治会・管理組合連絡会～長期修繕とコミュニティづくりの事例紹介 [7月] ・災害時安否確認の方法と要配慮者への対応 [9月] ・72時間ゲーム～きずな独自の防災図上演習 [11月] ・貝取・豊ヶ丘の子どもたちの現状について [1月] ・令和5年度の振り返りと次年度に向けて ～自治会・管理組合・サロン等の情報交換 [3月] <p>*広報紙：「きずな通信」（年1回発行）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第7号 [4月] 1000部 <p>*貝取コミュニティセンター運営協議会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実施：9回実施 ・元気チェックへ協力：11回実施 <p>*豊ヶ丘福祉館との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実施：6回実施 <p>*豊ヶ丘健幸つながるひろばの運営検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会福祉法人楽友会と連携。 住民サポーターへの支援 ボランティアセンター等と連携し、「夏休みこども宿題応援プログラム」など子どもに対する取り組みの支援を実施。 令和6年9月に楽友会撤退に伴い閉鎖。NPO 団体への引継ぎ実施。 <p>*大妻女子大学との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 大妻女子大学飛田ゼミと貝取・豊ヶ丘の子どもに関するヒアリング実施。 大妻女子大学飛田ゼミ・多摩市協創推進室とエリアミーティングとして子どもに関するふくしワークショップを実施。

	<p>*新規サロン登録：トランプ市民ホール、貝取3丁目健幸サロン</p>
<p>第9エリア (鶴牧・落合・南野)</p>	<p>■ふれあいトムとも</p> <p>*委員会：6回開催 ：延べ123団体、190人参加。</p> <p>*世話人会：9回開催</p> <p>[定例の委員会内での取り組み]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいトムともとは／地域情報の共有[6月] ・多摩市地域防災計画の方向性と地域住民が備えておくこと [7月] ・トムとも版72時間ゲーム [9月] ・防災まち歩き[11月] ・地域交流会（鶴牧・落合・南野地区に関するクイズ／演奏会／懇談会） [1月] ・令和6年度の取り組みの振り返り／次年度の取り組みについて[3月] <p>*広報紙：「トムともだより」 第18号 [3月] 1,200部発行</p> <p>*鶴牧・落合・南野コミュニティセンター運営協議会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実施（トムハウス）：11回実施。 ・福祉なんでも相談特別編 身近な高齢者施設紹介 5人参加 (連携：多摩センター地域包括支援センター) ・トムハウスまつりにて福祉なんでも相談を実施。 <p>*新規サロン登録：なし</p>
<p>第10エリア (唐木田・中沢・山王下)</p>	<p>■ほっとネットしょうぶ</p> <p>*委員会：5回開催（6回開催予定だったが、第3回が中止） ：延べ79団体、127人参加</p> <p>*世話人会：10回開催</p> <p>[定例の委員会内での取り組み]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域包括支援センターの役割」と「ほっとネットしょうぶについて&当地域の地域状況について」 [4月] ・「どうする?!災害時のトイレ」 [6月] ・中止 [8月] ・大妻女子大学連携講座「防災と復興～自分事として地域とともに～」 [10月] ・笑いヨガ体験 [12月] ・地域の防災について～多摩市地域防災計画の方向性と地域住民が備えておくこと～（防災講座） [2月] <p>*広報紙：ほっとネットしょうぶ通信 第12号800部[2月]発行</p> <p>*唐木田コミュニティセンター運営協議会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実施（からきだ菖蒲館）：10回実施。 (連携：多摩センター地域包括支援センター) ・福祉なんでも相談特別編 身近な高齢者施設紹介 6人参加 ・菖蒲館まつりにて福祉なんでも相談を実施。 <p>*新規サロン登録：なし</p>
<p>※地域福祉推進委員会の主なメンバー（民生委員、地域包括支援センター、自治会・住宅管理組合、コミュニティセンター運営協議会、サロン、老人クラブ、青少年問題協議会地区委員会、地域防犯・防火活動組織、大学、企業、社会福祉法人、福祉事業所など）</p>	

(5) 地域福祉コーディネーターの価値向上及び資質向上に向けた取り組み

- ① コーディネーター報告書の発行
地域福祉コーディネーターの取り組みの周知と価値向上を目的に、9月に令和5年度コーディネーター報告書を発行した。
- ② 内部研修の実施
地域福祉コーディネーターの資質向上を目的に、外部講師（東京都立大学人間社会学部准教授 室田 信一氏）をスーパーバイザーとして招き、OJT研修を企画し、実施した。今年度で実施3年目となる。

◆室田信一先生スーパービジョン

	内 容
第1回	<p>日 時：令和6年7月25日(木) 9:00～12:00 会 場：多摩ボランティア・市民活動支援センター 第2活動室 参加者：12名（職員11名、講師）</p> <p>事前テーマ：地域福祉コーディネーター 当日タイトル：「理想のコーディネーター像を考える」 内容：3グループに分かれてのグループワーク&発表</p>
第2回	<p>日 時：令和6年10月1日(火) 9:30～12:00 会 場：関戸公民館 第3学習室 参加者：11名（職員10名、講師）</p> <p>事前テーマ：地域福祉推進委員会 当日タイトル：「地域福祉推進委員会の5年度」 ～多世代・多職種が参加するプラットホームづくり～ 内容：3グループに分かれてのグループワーク&発表</p>
第3回	<p>日 時：令和6年12月17日(火) 9:30～11:50 会 場：関戸公民館 第3学習室 参加者：12名（職員11名、講師）</p> <p>事前テーマ：小地域福祉活動 当日タイトル「真実はいつも1つ!…じゃない」～名探偵コナン（考難）～ 内容：3グループに分かれてのグループワーク（事例検討）&発表</p>
特別回	<p>◆調布社協コーディネーター交流会 日 時：令和7年2月7日(金) 9:00～12:00 会 場：調布市教育会館 会議室 参加者：27名（職員9名、調布市社協職員17名、講師）</p> <p>内容：調布市社会福祉協議会の地域福祉コーディネーターとの交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各社協の取組み発表 ・テーマ別交流会 <ul style="list-style-type: none"> ①活動計画意識してる？ ②地域での支え合いって大切 ③コーディネーターのお仕事 ④相談とマッチングのノウハウ ⑤情報発信と魅せ方
第4回	<p>日 時：令和7年3月1日(火) 9:30～12:00 会 場：多摩ボランティア・市民活動支援センター 第2活動室 参加者：11名（職員10名、講師）</p>

事前テーマ：エリア別小地域福祉活動計画 当日タイトル：「エリア別活動計画」策定に向けての前期計画の振り返り 内容：包括圏域別のチームに分かれてエリア別活動計画に向けた現状と今後の地域像についてシートを作成&発表

※職員を4チームに分けて、チーム毎に各回の研修を企画及び運営

(講師の要望により、講師が「教える側」、職員が「教わる側」になることなく、職員が課題に応じてテーマを設定し、職員が主体的に研修を進める方法を取った)

※本番前に、各回、事前に講師と打合せを実施した。

7 重層的支援体制整備事業（参加支援事業） ※令和6年度から事業受託

(1) 契約状況等

	R6 年度
契約年月日	令和 6 年 4 月 1 日
契約金額	19,535,000 円
契約変更年月日	
契約金額	

(2) 収支の状況

① 収入の状況 単位：円

	R6年度		
区 分	予算現額	執行済額	執行率 (%)
合 計	19,536,000	19,539,134	100.01

② 支出の状況 単位：円

	R6年度		
区 分	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	19,536,000	19,234,672	98.5

(3) 参加支援事業の取り組み

① 相談支援

ア) 相談（新規）件数

	R6年度
相談件数 (延べ)	38

※スペース業内での相談、福祉なんでも相談等も含んだ数字

イ) 相談件数（件）

	R6年度
窓口相談	9
対面相談	19
電話相談	2
オンライン相談	1
福祉なんでも相談（出張相談）	7
支援機関・ボランティア団体からの相談	

ウ) 参加支援事業

① 参加支援事業

活動実績（件）

	R6年度
活動件数	3

② スペース栞（居場所）

ア) 開催回数&参加者数

R6 年度	
開催回数（延べ）	6
参加者数（延べ）	27

イ) 会場・参加者内訳等

二幸産業・NSP 健幸福祉プラザ						多摩市立中央図書館					
月	人数	内訳				月	人数	内訳			
		市内	市外	新規	継続			市内	市外	新規	継続
10	2	2	0	2	0	11	3	2	1	3	0
12	4	2	2	2	2	1	7	4	3	6	1
2	7	4	3	4	3	3	4	1	3	2	2

(4) 広域ネットワーク構築・ニーズ把握・周知

機関・団体名	訪問数 (回)
地域包括支援センター（北部 2ヶ所、西部、東部、中部、多摩センター）	6
地域活動支援センター（多摩市障がい者支援センターの一ま）	1
当事者団体（居場所クリエイターズサミット）	1
近隣社協（稲城、国分寺、日野）との連携	3
地域福祉推進委員会（各 1～10 エリア）	10
民生委員協議会会長会	1
多摩地域企業・大学等連絡会（ゆるたまネット）	1

(5) 多摩市版地域包括ケアネットワーク連絡会（エリア別情報交換会）

多摩市が主催する、「多摩市版地域包括ケアネットワーク連絡会」に協力した。

※地域における相談支援機関の連携強化及び地域課題に関する情報交換の場として地域包括センター圏域ごとに開催した。

会議名	内容
第 1 回 エリア別情報交換会	<ul style="list-style-type: none"> ・重層的支援整備体制事業について、理解を共有する。 ・各機関が行っている支援の内容について理解を深める。
第 2 回 エリア別情報交換会	<ul style="list-style-type: none"> ・エリア別情報交換会の概要、前回の振り返り ・各機関から周知したいイベントやお知らせ等の共有 ・エリアごとのグループワーク

8 たすけあい有償活動事業

(1) 概要

実施日時	月曜日～土曜日
内 容 利用料金	住民同士の支えあいの仕組みづくりも含めた地域福祉の観点から、地域ニーズに柔軟に対応できるサービス提供をめざしている。 生活援助サービス・・・家事全般、簡単な身の回りの世話、手続き代行、薬の受取、趣味活動などの外出補助 (1時間1,000円、時間外1,220円) 介助サービス・・・車イス、通院の付き添いなどの身辺介助 (1時間1,100円、時間外1,320円) その他のサービス・・・換気扇掃除、窓拭き、草むしり、簡単な模様替えなど (1時間1,000円、時間外1,220円) ※課税対象事業のため料金改正900→1,000円、1,000円→1,100円
対象者	多摩市在住で、上記内容を本人または家族ができない方
連携者 (団 体)	市、地域包括支援センター、介護保険事業所、シルバー人材センター他

(2) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	R6年度			R5年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	3,758,000	2,401,083 (※1)	63.9	3,782,000	2,236,899 (※2)	59.1

※1 執行済額2,401,083円のうち240,959円は前期末支払資金残高より充当

※2 執行済額2,236,899円のうち80,146円は前期末支払資金残高より充当

② 支出の状況

単位：円

区 分	R6年度			R5年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	3,758,000	2,401,083	63.9	3,782,000	2,236,899	59.1

(3) たすけあい有償活動 活動実績

	利 用 者									協 力 員		
	新規 登録 人数	実人数	援 助			介 助			新規 登録 人数	登録人数	活動人数	
			人数	回数	時間	人数	回数	時間				
4月	6	69	69	164	190.0	0	0	0	2	152	43	
5月	4	66	66	174	200.5	0	0	0	0	149	43	
6月	4	67	66	158	191.5	1	1	3.5	0	149	44	
7月	2	58	58	158	184.0	0	0	0	3	151	38	
8月	0	49	49	123	139.0	0	0	0	2	153	31	
9月	1	55	55	142	160.0	0	0	0	1	154	35	
10月	4	62	62	162	193.5	0	0	0	0	154	37	
11月	4	58	58	148	174.5	0	0	0	0	154	38	

12月	0	63	63	148	183.0	0	0	0	0	153	39
1月	4	53	53	122	140.0	0	0	0	0	153	34
2月	0	53	53	125	141.5	0	0	0	7	160	34
3月	0	49	49	114	128	0	0	0	0	160	34
合計	29	702	701	1738	2025.5	1	1	3.5	15	1842	450
月平均	2.4	58.5	58.4	144.8	168.7	0.08	0.08	0.2	1.2	153.5	37.5

(4) たすけあい有償活動の実施状況

単位：人

		R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
利用者数(月平均数)		52.1	59.2	56.8	63.6	58.5
協力員	登録者数	155	159	169.3	159	160
	うち新規登録者数	21	20	23	20	15
	活動者数(月平均)	43.5	40.0	44.2	40.0	37.5

(5) たすけあい有償活動協力員研修会

開催日時	令和6年10月24日(木) 午後13時30分～15時30分
会場	多摩ボランティア市民活動支援センター
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 「傾聴講座」 傾聴の基礎知識 講師 ハートフル多摩 向田正裕氏、北條直美氏 ・グループで事例検討 ・意見交換
対象者	たすけあい有償活動協力員
参加者	13人

(6) たすけあい有償活動協力員懇談会

開催日時	令和7年2月28日(金) 午後2時～3時30分
会場	多摩ボランティア市民活動支援センター
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・活動実績報告 ・グループに分かれて意見交換 (活動のやりがい、活動中の困りごとの共有)
対象者	たすけあい有償活動協力員
参加者	12人

(7) たすけあい有償活動事業説明・協力員説明会

開催日時	第1回 令和6年7月29日(月) 午前2時～3時30分 第2回 令和7年2月5日(水) 午後2時～3時30分
会場	第1回 多摩ボランティア市民活動支援センター 第2回 多摩ボランティア市民活動支援センター
内容	たすけあい有償活動の事業説明 協力員登録手続き
対象者	18歳以上の市民及び近隣地区住民
参加者	第1回 2人 第2回 6人

9 住民主体による訪問型サービス

(1) 概要

実施日時	月曜日～土曜日
内 容 利用料金	<p>多摩市介護予防・日常生活支援総合事業において多摩市社会福祉協議会で実施する訪問型サービス。(平成28年5月より指定事業所登録)</p> <p>たすけあい有償活動の協力員登録者のうち、研修を受けた協力員が担い手となる。地域包括支援センターもしくはケアマネジャーの作成するケアプランに基づき、介護予防支援のため生活支援を実施するもの。</p> <p>内 容・・・家事支援(掃除・洗濯・食事の準備・買い物代行等)、買物同行支援 頻 度・・・1週間に2回まで</p> <p>家事支援 1回60分以内 買物同行支援 1回120分以内</p> <p>利用料・・・家事支援 60分以内 2000円/回(利用者負担300円) 買物同行支援 120分以内 4000円/回(利用者負担600円)</p> <p>活動費・・・家事支援1,100円/回 買物同行支援2,200円/回 ※交通費相当含む</p> <p>キャンセル料・・・当日キャンセルの場合 家事支援1,100円 買物同行支援2,200円</p>
0対象者	多摩市在住 介護保険の認定が要支援1、2 もしくは事業対象者の認定がある方

(2) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	R6年度			R5年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	1,820,000	1,730,894	95.1	2,039,000	998,854	49.0

② 支出の状況

単位：円

区 分	R6年度			R5年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	1,820,000	1,347,592	74.0	2,039,000	879,941	43.2

(3) 住民主体による訪問型サービス実施状況

	相談件数	利 用 者			協 力 員		
		初回利用人数	利用人数	回数	新規登録人数	登録者人数	活動人数
4月	1	0	20	60	0	73	11
5月	3	2	20	66	0	71	12
6月	0	1	20	61	0	71	12
7月	0	1	20	73	0	71	13
8月	0	1	22	73	0	73	14
9月	2	0	22	78	1	74	14
10月	1	3	24	92	0	74	15
11月	0	1	24	70	0	74	15
12月	0	1	23	69	0	74	13
1月	0	0	21	68	0	74	12
2月	4	1	23	70	0	74	13
3月	0	1	23	73	0	74	14
合計	11	12	262	853	1	877	158
月平均	0.9	1	21.8	71	0.08	73.0	13.1
昨年度平均	0.8	0.6	18.0	54.6	1.2	83.3	12.8

10 ボランティア・市民活動推進事業（多摩ボランティア・市民活動支援センター）

(1) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	令和6年度			令和5年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	17,440,000	16,007,610	91.79	14,088,000	14,079,925	99.94

※前期末支払資金残高含む

② 支出の状況

単位：円

区 分	令和6年度			令和5年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	17,440,000	13,779,901	79.01	14,088,000	10,356,432	73.51

(2) 多摩ボランティア・市民活動支援センター運営委員会及び各種専門委員会の開催

委員会名	委員数	開催日	出席者数
運営委員会	12名	R6.5.31	8名
		R6.10.25	9名
		R7.1.30	10名
		R7.3.12	10名
審査会	5名	R6.5.14	5名
		R6.10.16	3名
		R7.3.4	5名
災害ボランティアセンター運営強化専門委員会	7名	R6.8.2	5名
子ども・若者応援事業検討専門委員会	5名	R6.6.27	3名
		R7.1.22	5名
ボランティア情報・活動拡充専門委員会	6名	R6.6.21	6名
		R6.8.21	5名
		R6.10.18	5名
		R6.12.20	5名
		R7.2.21	5名

(3) ボランティア育成事業

① 市民活動講座

ア) 「傾聴ボランティア養成講座」

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
① R6.6.7 ② R6.6.14	15名	多摩ボラセン活動室1	1)「傾聴とは何か」 ・傾聴の定義とその意義 2)「多摩市での傾聴活動の実際」 ・傾聴活動を行っている方の話 ・傾聴活動者を受け入れている施設の方の話 ・グループワーク (傾聴ロールプレイ)	・末松渉氏 ・傾聴ボランティアグループ「福寿草」

イ) 「ピースボランティア入門講座」

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R6. 8. 2	18名	多摩ボラセン活動室1	1)講話 ① ピースボランティアとはどんな活動？ ② 戦争体験や平和への願いを次世代に語り継ぐ意義 ③ ピースボランティアの活動例 ④ 平和学習出前授業の概要紹介と平和紙芝居『二度と』の実演 ⑤ まとめ「共に生きる仲間として、ピースボランティアを一緒にやってみませんか？」 2)多摩市平和人権課 ⑥ 多摩市の平和啓発の取り組み ⑦ 平和展内容 ⑧ 平和展と学生の取り組み 3)座談会	岩佐玲子教授 (大妻女子大学)

ウ) 「～福祉体験学習サポートボランティア入門講座～」

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R6. 10. 11	8名	多摩ボラセン活動室1	1)福祉学習とは 2)ボランティアの協力を特に必要とする福祉体験学習メニュー紹介 3)車いす指導の模擬参加 4)ふりかえり・質疑応答	・社会福祉法人 楽友会

② ボランティア・市民活動団体向けフォローアップ講座

「安心安全な老後のために知っておきたいサポートとは」

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R6. 7. 5	18名	多摩ボラセン活動室1	1)国の制度 ・福祉サービス利用支援事業(あんしんサポート・たま) ・成年後見制度 2)多摩市の事業 ・高齢者あんしんサポート事業	講師 権利擁護センター長

③ ボランティア体験

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R6. 7. 25～ 8. 31	252 名	市内・近隣の福祉施設等全 79 箇所	夏のボランティア体験 2024	市内・近隣の高齢者、障がい者施設・団体、保育園、児童館、学童クラブ、NPO・ボランティア団体、コミュニティセンターなど

④ 災害ボランティア育成

ア) 災害ボランティアセンター運営ボランティア育成講座

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R6. 7. 6	19 名	多摩ボラセン活動室	① 講義： ・災害ボランティア活動と災害ボラセンについて ② 演習： ・災害ボラセン運営ロールプレイ体験	・国士舘大学防災・救急救助総合研究所 助教 浅倉大地氏 ・(株) コンサイド 大野敦弘氏
R6. 11. 29	28 名	関戸公民館 学習室	①災害ボランティア活動について ②多摩市の水害時の被害状況について ③防災まち歩き ※ゆるたまネット及び社福法人 NW 連絡会共催	・国士舘大学防災・救急救助総合研究所 助教 浅倉大地氏 ・多摩市防災安全課 豊田虎太郎氏 ・川久保氏、小林氏 ・麒麟ビバレッジ (株) 近藤氏

※上記参加者には社協職員を含む（職員研修を兼ねているため）

※災害ボランティアとして 42 人が登録

※運営ボランティア登録者のフォローアップも兼ねて実施

イ) 多摩市災害ボランティアセンター設置・運営訓練

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R6. 7. 28	70 名	二幸産業・NSP 健幸福祉プラザ 3 階・7 階	・災害ボラセン運営支援システム「JoyLinks」を活用し、「地震」「水害」を想定した訓練を実施	・災害協定締結団体（多摩市、多摩青年会議所、二幸産業・NSP グループ、町田市社協） ・株式会社コンサイド

⑤ ボランティアパーク等

実施日	来場者	場所	内容	協力団体等
R6.10.20	延べ 200 人	二幸産業・NSP 健幸福祉プラザ 7 階	【福祉フェスタ】 ボランティアパーク ・手品体験 ・ぬりえ体験 ・音訳体験 ・おもちゃの修理 ・ミニ手話教室 ・点字体験教室 ・紙芝居、絵本の読み聞かせ ・バルーンアート体験 ・むかし遊び体験 ・縫い物体験 ・マッサージ体験 ・おもちゃ広場	多摩ボラセン 登録団体等 9 団体 ・協力団体 3 団体 及び個人ボランティア
R7.2.9	約 150 人	関戸公民館 多摩ボランティア・市民活動支援センター	【VITAふれあいまつり】 ・バルーンアート体験 ・ボッチャ体験 ・魚釣りゲーム ・手品体験 ・むかし遊び体験	多摩ボラセン 登録団体等 1 団体 及び個人ボランティア
R7.3.2	約 160 人	関戸公民館	【ふれあいこどもまつり】 無料アトラクションコーナー	多摩ボラセン 登録団体等 7 団体
R7.3.7	90 人	多摩ボラセン活動室 関戸公民館 市民ロビー	【たまボラ・テラス】 ～ボランティア見本市～ ・活動紹介 ・体験コーナー ・手作り販売 ・おもちゃの修理	多摩ボラセン 登録団体等 25 団体

※令和 4 年度からボランティアパークを実施

⑥ 男性活動者連絡会

実施日	参加者	場所	内容
R6.6.6	6 名	多摩ボラセン活動室 1	・活動者からの活動報告 ・介護・認知症について知ろう [講師：ケアプラン麻の葉 ケアマネジャー半田エリ子様] ① 介護が必要になったらどうしたらよいか。(手続きや相談等について) ② 家族が認知症になったらどう対応したらよいか。(家族としての対応の仕方) など ・講座内容についての質問・座談会 ・ボランティア活動するにあたって気になっていること ・生活やボランティア活動についての悩みなど

R6.10.3	4名	多摩ボラセン 活動室1	<ul style="list-style-type: none"> ・活動者からの活動報告 ・10月11日(金)福祉学習サポートボランティア入門講座参加案内 ・福祉フェスタ参加打合せ ・VITAふれあいまつり参加案内 ・市内小学校での福祉学習(車いす体験)協力依頼
R7.3.21	4名	多摩ボラセン 活動室1	<ul style="list-style-type: none"> ・活動者からの活動報告及び今年度の振り返り ・今後の予定について

⑦ たまボランティアギフト マッチングギフト合計金額 1,000円

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
R6.6.12-15	1名	石川県	能登半島復興支援	多摩市社会福祉協議会職員共済会
R6.10.6	1名	味の素スタジアム	東京ヴェルディホームゲーム赤い羽根街頭募金活動	多摩市社会福祉協議会職員共済会

(4) 多摩ボランティア・市民活動支援センター登録団体連絡会

実施日	参加者	場所	内容
R6.5.29	32団体	多摩ボラセン活動室1・2 オンライン	【全体会】 <ul style="list-style-type: none"> ・代表者及び副代表者の選出について ・多摩ボラセン運営委員会委員の選出について ・令和6年度登録団体連絡会定例会スケジュール(案)について ・令和6年度ボランティア見本市について ・各団体の活動について情報交換
第2回 R6.10.4	21団体	二幸産業・NSP 健幸福祉プラザ7階 701~703 研修室	【学習会】 <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ「ボランティア団体の継続について」「地域参加のトビラ」の活用について 説明者：地域参加のトビラ事務局認定 NPO 法人サービスグラント栗原彩乃氏
R7.1.29	30団体	多摩ボラセン活動室1・2 オンライン	【全体会】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度団体登録更新手続きについて ・令和7年度団体登録支援内容について ・令和7年度ボランティア・市民活動振興助成金について ・令和7年度子ども・若者応援助成金について ・令和7年度多摩ボラセン登録団体連絡会開催日について
R7.3.7	25団体	多摩ボラセン活動室 関戸公民館市民ロビー	【たまボラ・テラス】 ~ボランティア見本市~ 【再掲】

(5) 企業・学校・社会福祉法人等による地域貢献活動の促進

(多摩地域企業・大学等連絡会(通称:ゆるたまネット))

① 参加団体数 44 団体 (新規 1 団体)

② 取り組み内容

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
復興支援活動 R6. 4. 7	9 人	九頭竜公園	せいせき桜まつりにて下記の取り組みを実施。 ・能登半島復興支援フェアの実施 ※石川県七尾市内の事業者より地場産品を取り寄せて代理販売。 ・国士舘大学石川県七尾市内での支援活動パネル展 ・義援金募金箱の設置 売上金額: 825,000 円 義援金募金額: 54,852 円(石川県七尾市へ寄附)、82,828 円(国士舘大学を通じて国際医療福祉専門学校七尾校へ寄附)	【協力団体】 ・国士舘大学 ・ソスペース多摩 ・恵泉女学園大学 ・島田療育センター ・聖蹟桜ヶ丘オーパ ・あいおいニッセイ同和損保 ・桜ヶ丘事業協会 ・楽友会 ・河北医療財団 ・二幸産業・NSP グループ ・多摩市
定例会 R6. 7. 10	16 人	オンライン (Zoom)	【定例会】 ・構成メンバーについて ・令和6年度学習会及び交流会について ・今後スケジュールについて 他	
定例会&交流会 R6. 10. 16	10 人	永山健康ランド 竹取の湯	・令和6年度学習会について ・令和6年度食料無料配布事業について 他 ※定例会終了後、永山コパボウルにて交流会を開催	
災害学習会 R6. 11. 29	28 人	関戸公民館 学習室	①災害ボランティア活動について ②多摩市の水害時の被害状況について ③防災まち歩き	・国士舘大学防災・救急救助総合研究所 ・多摩市防災安全課 ・キリンビバレッジ(株) ・関戸地区にお住まいの方(2名)
食料配布	③食料等無料配布事業のとおり			

募金活動 R6.12.17	25人	聖蹟桜ヶ丘駅 周辺(西側広 場、さくら広 場)	地域ささえあい募金(歳末た すけあい運動)街頭募金 ※募金額：32,570円	【協力団体】 ・島田療育センタ ー ・生活協同組合パ ルシステム東京 ・ソスペード多摩 ・東京桜ヶ丘学院
定例会& 学習会 R7.1.24	23人	関戸公民館 学習室	【学習会】 テーマ「社会的なつながりを持 つことが難しい方な生きづら さ抱える若者の参加支援を考 える」 ・市の現状と課題 ・しごと・暮らしサポース テーションの事業を通じて の現状と課題 ・参加支援事業の現状と課 題、ゆるたまに期待するこ と ・ゆるたまネット会員からの 事例紹介 ・グループワーク	市内社会福祉法人 ネットワーク連絡 会と共催 ・福祉総務課 ・しごと・暮らし サポーステー ション ・多摩社協まちづ くり推進担当
総会 R7.3.19	12人	多摩ボラセン 活動室1 Zoom 併用	・令和6年度ゆるたまネット 新規団体の紹介 ・令和7年度幹事及び食料無 料配布実行委員の選任につ いて ・令和7年度事業計画につ いて ・令和6年度事業報告につ いて ・意見・情報交換	

③ 食料等無料配布事業

※ゆるたまネット内に食料等無料配布実行委員会を設置し、3回に渡り検討し実施した。

食料等無料配布実行委員会	10人	R6.6.25	7人
		R6.10.10	6人
		R6.11.22	4人
		R7.1.29	7人

ア) 食料等無料配布実行委員会

イ) 令和6年度 多摩地域企業・大学等連絡会 食料等無料配布事業

ゆるたまネットの主催事業として、生活にお困りの「大学生以下の子どもがいる世帯」や「大学生」を対象に「食料等無料配布事業」を実施。※令和4年度、令和5年度は外国人留学生も対象とした。

	R4年度	R5年度	R6年度
実施日	①R4.12.16 ②R4.12.17 ③R4.12.18	①R5.12.15 ②R5.12.16 ③R5.12.17	①R6.12.13 ②R6.12.14 ③R6.12.15
参加者	185世帯(552人)	190世帯(577人)	197世帯(683人)
実施場所	①大妻女子大学 ②旧豊ヶ丘中学校 クラブハウス ③多摩ボランティア・市民活動支援センター	①大妻女子大学 ②旧豊ヶ丘中学校 クラブハウス ③多摩ボランティア・市民活動支援センター	①大妻女子大学 ②旧豊ヶ丘中学校 クラブハウス ③多摩ボランティア・市民活動支援センター
協力団体等	ゆるたまネット会員 32団体、外部団体2 団体	ゆるたまネット会員 28団体、外部団体8 団体	ゆるたまネット会員 31団体、外部団体9 団体

(6) フードドライブ事業

① フードドライブ窓口(募菓子箱設置店)

	受付窓口	受付時間	備考
1	【多摩市社協の窓口】 ①多摩ボランティア・市民 活動支援センター ②総務係	①平日9:00~19:00 (第1・3月曜日除く) 土曜日、日曜日 9:00~17:00 ②平日8:30~17:00	
2	①とよよん	①月・水・金曜日(祝日 除く)10:00~15:00	施設閉鎖のため R6.9.30で終了
3	【ダイエー店舗の窓口】 ①グルメシティ多摩店 ②foodium多摩センター	①・②営業時間内常時受 付	
4	【コープみらい店舗の窓口】 ①コープ貝取店	①営業時間内常時受付	
5	【ファミリーマート店舗の窓 口】 ①秀栄多摩落合店 ②多摩唐木田店	①営業時間内常時受付	

6	【コミセンの窓口】 ①からきだ菖蒲館	第2・4月曜日、年末年始を除く9:00～21:30	
7	読売新聞販売店窓口 市内4か所	読売新聞販売店員がフードドライブ寄付者の自宅に訪問・回収して、月に1度ボラセンに届ける	
8	マイニチ WAW' ON	営業時間内受付	募菓子箱設置店
9	プレゴ永山	営業時間内受付	募菓子箱設置店

② 寄付及び配布状況

	R4年度	R5年度	R6年度
寄付件数(個人)	288件	453件	295件
寄付物品総重量(個人)	1,741kg	1,931kg	1,080kg
寄付件数(団体)	119件	170件	178件
寄付物品総重量(団体)	7,427kg	5,963kg	7,847kg
食材配布数	740件	873件	734件
食料配布数*個人(世帯)(資金貸付相談者)	35件	45件	52件

※寄付された食品・食材を、子ども・誰でも食堂、フードバンク団体、食料無料配布事業、資金の貸付相談者等に配布。

※多摩市社協以外のフードドライブ窓口での寄付は、受付件数に含まず、重量のみを記載。

※一部(賞味期限が長い食品等)を、個人(世帯)への緊急配布用に保管しているため、寄付受付件数と配布件数は数値が異なります。

(7) フードパントリー事業

配布世帯数		R5年度	R6年度
	4月～11月	526件	455件
	1月～3月	157件	279件

※4月～11月までは令和5年度に実施した、ゆるたまネット主催の食料等無料配布事業実施時に今後も継続的な支援が必要とご回答された世帯を対象に配布した。

※1月～3月は、令和6年12月に実施した、ゆるたまネット主催の食料等無料配布事業実施時に今後も継続的な支援が必要とご回答された世帯を対象に配布した。

(8) 指定寄付金

① 子ども若者応援支援への寄付金

単位：円

	R4年度	R5年度	R6年度
寄付金額	2,045,767	1,121,465	5,692,354
子ども・若者応援事業支出額	503,006	590,000	490,000

※令和4年度より子ども・若者応援助成金交付事業実施のため、令和4年度からはフードパントリー事業と子ども若者応援助成金交付事業で活用。

※支出額には、歳末たすけあい配分金を含む

② ボランティア・市民活推進への寄付金

単位：円

	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
寄付金額	165,940	228,720	178,669	144,550	93,622

※ 令和2年度の寄付金のうち、1,500円は「たまボランティアギフト」による寄付金

※ 令和4年度商品券による寄付100,000円を含む

※ 令和5年度商品券による寄付100,000円、たまボランティアギフト1,000円を含む

③ ボランティア基金への積立額（令和7年度末残高 13,157,215円）

単位：円

	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
基金積立額	442,952	1,108,567	266,989	302,418	705,143

(9) 子ども若者応援助成金交付事業

① 令和6年度実績

団体名	事業内容	助成金額 (単位：円)
特定非営利活動法人どんぐりパン	きっちん空(子ども・誰でも食堂)	30,000
ピンクララタマ子ども誰でも食堂	ピンクララタマ(子ども・誰でも食堂)	30,000
特定非営利活動法人麻の葉	Café あさの葉	30,000
一般社団法人祥鶴	こども食堂 ほくの家	30,000
こども食堂ほっこりキッチン	こども食堂「ほっこりキッチン」	30,000
一般社団法人 Life is	多様な交流を生み出すための居場所づくり	30,000
NPO法人 BORDER FREE	学習支援事業	30,000
ゆめ冒険部	ゆめ冒険部	30,000
親子カフェおむすび	親子カフェおむすび	30,000
こども食堂えんそく	こども食堂えんそく	80,000
こども食堂ココット	こども食堂ココット	80,000
Start up あさひ塾	小学生・中学生・高校生への無料学習支援	30,000
エコベル研究会	SDGsで街を元気に～ココベルとSDGsで楽しくあそぶ	30,000
合計(13団体)		490,000

② 交付実績状況

	R5 年度	R6 年度
応募団体数	13	13
助成団体数	13	13
支援総額(円)	740,000	490,000

(10) ボランティア活動等振興助成金交付事業

① 令和6年度実績

団体名	事業内容	助成金額 (単位：円)
傾聴ボランティアグループ「福寿草」	ボランティア活動等の資質向上を図るための事業	20,000
メイクボランティアげんき手	ボランティア活動等の資質向上を図るための事業	20,000
多摩市手話サークル「クローバー」	広く市民を対象としてボランティア活動等の普及啓発を行う事業	30,000
多摩市音訳グループ繭	広く市民を対象としてボランティア活動等の普及啓発を行う事業	30,000
マジックエコー	広く市民を対象としてボランティア活動等の普及啓発を行う事業	30,000
ブロッコリーの会（おはなしサロン）	広く市民を対象としてボランティア活動等の普及啓発を行う事業	30,000
NPO 法人シニアサポート多摩	広く市民を対象としてボランティア活動等の普及啓発を行う事業	30,000
多摩市要約筆記サークル	広く市民を対象としてボランティア活動等の普及啓発を行う事業	30,000
伝統芸のたまいち座	広く市民を対象としてボランティア活動等の普及啓発を行う事業	30,000
この指とまれ	広く市民を対象としてボランティア活動等の普及啓発を行う事業	30,000
グリーンサポートたま	設立2年目以内の登録団体がこれから継続して行おうとするボランティア活動等を目的とした事業	50,000
スマイルバルーン	設立2年目以内の登録団体がこれから継続して行おうとするボランティア活動等を目的とした事業	50,000
多摩市の保護猫の譲渡をすすめる会	設立2年目以内の登録団体がこれから継続して行おうとするボランティア活動等を目的とした事業	50,000
NPO 紬	社会的・地域的課題解決のために行い、効果が期待できる事業	100,000
合計（14団体）		530,000

交付実績状況

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
登録団体数	61	57	53	57	54
助成団体数	5	5	6	12	14
助成総額 (円)	140,000	160,000	230,000	380,000	530,000

(11) 相談事業

① ボランティア出張相談

令和6・7年度ボランティア保険加入受付、ボランティア・市民活動の情報提供、相談等

実施日	来所者	場所	協力団体等
R6.4.3～ R7.3.26 全14回	32人	市内コミュニティセンター4箇所、永山公民館、豊ヶ丘福祉館、福祉センター	市内コミュニティセンター運営協議会、ボランティア相談員延べ1人

② 夏ボラ出張相談 夏のボランティア体験申込み、相談対応、ボランティア保険加入受付

実施日	来所者	場所	協力団体等
R6.6.19～ R6.6.27 全7回	26人	市内コミュニティセンター6箇所、永山公民館、	市内コミュニティセンター運営協議会、
R6.7.1	1人	東京医療学院大学	東京医療学院大学
R6.7.2	39人	大妻女子大学	大妻女子大学
R6.7.4	0人	中央大学	中央大学
R6.7.5	0人	明星大学	明星大学
R6.7.19	20人	永山高校	永山高校
R6.7.20	24人	大妻多摩中学高等学校	大妻多摩中学高等学校

(12) 協力事業

	団体	実施日	実施・協力内容	協力団体等
1	VITA ふれあいまつり	R7.2.9	「ボッチャ体験」「バルーンアート」「むかし遊び体験」など来場者に体験を行う。来場者数約150人	ボランティア団体、男性活動者連絡会メンバー等 22名
2	What's jazz 実行委員会	R6.6.7 R6.9.13 R6.12.6 R7.3.14	チケット代行販売 (販売手数料収入 125,400円)	

(13) 地域出前事業 (総合的学習含む)

	学校・団体	実施日	実施・協力内容	協力団体等
1	永山小学校	R6.5.30	車いす体験	社会福祉法人大和会、
2	第二小学校	R6.10.4	車いす体験	社会福祉法人大和会、一般V
3	愛和小学校	R6.10.22	車いす体験	社会福祉法人楽友会、一般V

4	東落合小学校	R6.11.7	身体障がい当事者の話、車いす体験	檜山和真氏、社会福祉法人大和会
5	多摩市立子育て総合センター たまっこ	R6.11.22	講師派遣 令和5年度子育て・子育て支援者養成講座」での市民活動の紹介と役割について	職員
6	東寺方小学校	R6.12.12	車いす体験	社会福祉法人大和会、一般V
7	東落合小学校	R6.12.23	視覚障がい当事者の話、点字体験	多摩市視覚障害者福祉協会、多摩市点字サークル「トータス」
8	第三小学校	R7.1.16	昔遊び	みんなであそぼう、一般V
9	貝取小学校	R7.1.20	身体障がい当事者の話、車いす体験	檜山和真氏、社会福祉法人大和会、一般V
10	大松台小学校	R7.2.7	視覚障がい当事者の話、点字体験	多摩市視覚障害者福祉協会、パソコン点訳サークルこがめ
11	大松台小学校	R7.2.12	聴覚障がい当事者の話、手話体験	多摩市手話サークル「クローバー」
12	南鶴牧小学校	R7.2.17	聴覚障がい当事者の話、手話体験	多摩市手話サークル「クローバー」
13	南鶴牧小学校	R7.2.19	視覚障がい当事者の話、点字体験	多摩市視覚障害者福祉協会、パソコン点訳サークルこがめ、多摩市点字サークル「トータス」
14	南鶴牧小学校	R7.2.26	身体障がい当事者の話、車いす体験	望月孝裕氏、
15	和田中学校	R7.3.3	視覚障がい当事者の話、点字体験	多摩市視覚障害者福祉協会、パソコン点訳サークルこがめ、多摩市点字サークル「トータス」

(14) 学習支援事業 (NPO 法人 BORDER FREE 共催)

事業名	人数	場所	実施日
放課後学習教室 (4月～3月)	延べ310人	多摩ボラセン活動室1	毎週火曜日 17時～19時
さくら教室 (4月～2月) (基礎英語クラス)	延べ204人	多摩ボラセン活動室1	第1・第3土曜日 14時～17時
さくら教室 (4月～2月) (標準英語クラス)	延べ90人	多摩ボラセン活動室1	第2・第4土曜日 14時～17時
さくら教室 (4月～2月) (都立入試対策英語クラス)	延べ191人	多摩ボラセン活動室1	毎週水曜日 17時～19時

さくら教室（4月～2月） （都立入試対策数学クラス）	延べ431人	多摩ボラセン活動室1	毎週金曜日 17時～19時
【新規教室】※3月開設 ながやま教室（3月2回） 英検準2級対策クラス	延べ4人	しごと・くらしサポ ートステーション会議室	毎週土曜日 9時10分～10時40分
【新規教室】※3月開設 ながやま教室（3月2回） 英検2級対策クラス	延べ4人	しごと・くらしサポ ートステーション会議室	毎週土曜日 10時50分～12時20分

※生活困窮世帯の子どもや学習面で困難を抱えている子どもを対象に学習支援を行う。

※令和5年7月より開始

(15) 販売事務業務委託（多摩市受託事業）

委託件名	事業内容	収入金額 (単位：円)
多摩市印刷物有償頒布事務業務委託	多摩市印刷物の有償頒布に係る業務 (販売) ※委託料は販売価格の20%	2,544
学校施設等使用券売払事務業務委託	学校施設等使用券の販売及び収納業務 ※委託料は販売価格の5%	140,625
合計		143,169

(16) 関係機関との連携

会議名	実施回数	備 考
市区町村ボランティア・市民活動センター長会議	年3回	オンライン会議
市区町村ボランティア・市民活動推進事務局連絡会	年2回	オンライン会議
市区町村社協南多摩ブロック職員の会ボランティア担当者会議	年2回	構成：八王子市、町田市、日野市、稲城市、多摩市の5市社協 ※会議の他、メーリングリストを作成し、情報交換を行っている。

(17) 多摩ボランティア・市民活動支援センターボランティア登録者状況

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
個人登録者数	878人	738人	733人	615人	654人
団体加盟者数	1,884人	1,641人	1,380人	1,398人	1,391人
V保険登録者数	1,810人	1,606人	2,102人	2,382人	2,649人
登録団体数	61団体	57団体	53団体	57団体	54団体

※個人登録者は、介護予防ボランティアポイント、災害ボランティア、特技・芸能ボランティア登録者。

※介護予防ボランティア登録者数は、11介護予防ボランティアポイント事業（4）①参照。

※団体加盟者数は、延べ人数。複数の団体に所属して活動しているボランティアがいるため

(18) 多摩ボランティア・市民活動支援センター 利用状況

① 本センター(ヴィータ)

	R4年度	R5年度	R6年度
来館者数	8,358人	9,640人	10,021人
利用団体数	312団体	392団体	335団体
活動室1利用者数	3,007人	4,765人	6,219人
活動室2利用者数	3,228人	3,955人	4,815人

活動室3利用者数	1,429人	1,925人	2678人
フリースペース利用者数	1,307人	473人	1622人
パソコン相談者数	107人	108人	164人
フードドライブ受付件数	337件	553件	249件
ボランティア保険・行事保険受付件数	390件	372件	421件
個人利用新規登録者数	9人	8人	4人
市内施設利用券及び市有償刊行物販売件数	276件	293件	255件
女性センターライブラリー図書貸出件数	31件	9件	10件

※令和4年2月に永山分室閉鎖に伴い、令和4年4月に本センターを登録団体の活動拠点としてリニューアルしたため、上表のとおり令和4年度より利用状況を明記。

② 総合福祉センター分室

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用団体数	70団体	150団体	253団体	230団体	290団体
活動室利用者数	358人	852人	1,757人	1,629人	2,031人

③ 機材貸し出し状況

印刷機、コピー機(白黒・カラー)、拡大コピー機、ロッカー、車いす、高齢者疑似体験セット、視覚障がい体験セット、アイマスク、白杖、点字練習器等、ボランティア・市民活動に必要な機材・用具の貸出を行った(一部有料)。

貸出機材	R4年度	R5年度	R6年度
ロッカー(本センター)	15	17	18
ロッカー(福祉センター分室)	17	11	12
車いす	21	24	18
高齢者疑似体験セット	10	13	18
視覚障がい体験セット	1	3	3
アイマスク	10	8	8
点字練習器	4	7	8

※(16)①の※の理由により令和4年度より明記。

(19) ボランティア相談状況

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
ボランティア希望	126	202	207	201	213
ボランティア要請	21	38	83	71	69
マッチング(紹介)	11	123	100	118	102
情報提供	25	12	19	28	17
協力依頼	38	23	27	34	32
その他	8	1	10	19	19
計	218	276	346	471	452

※介護予防ボランティア登録者の数は含まない

※マッチング(紹介)は、ボランティア要請に対しての紹介数のため合計数に含まず

(20) 多摩ボランティア・市民活動支援センター広報状況

① 「ボランティア通信」発行状況（月1回発行）

発行部数(月別)	総発行部数	設置・送付箇所数	主な設置・送付場所
2,500部	30,000部	425箇所	市内公共施設（コミュニティセンター含む）、市内郵便局、市内企業・店舗（福祉協力店含む）、学校等

② 多摩ボランティア・市民活動支援センターメールマガジン配信状況

ア 配信日：第1木曜日。その他、不定期に配信。

イ 登録件数：905人（令和7年3月末日現在）

ウ 配信回数：13回

エ 配信実績状況

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
登録件数	595	595	565	811	905

③ 多摩ボランティア・市民活動センターYouTube登録者数23人

1 1 介護予防ボランティアポイント事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

目的	多摩市介護予防ボランティアポイント事業実施要綱に基づき、介護保険法（平成9年法律第123号）第115条の45第1項第1号に規定する介護予防事業として、高齢者のボランティア活動実績を「ポイント」として評価することにより、介護予防を促進し、もって元気な高齢者が地域に貢献できるような取り組みを推進することを目的とする。
事業開始	平成26年7月7日（受託事業開始）
事業概要	<p>(1) 事業内容</p> <p>①制度根拠：介護保険法第115条の45第1項第1号、地域支援事業実施要綱、多摩市介護予防ボランティアポイント事業実施要綱</p> <p>②介護予防ボランティア：多摩市在住の介護保険第1号被保険者（あらかじめ管理機関へ登録が必要）</p> <p>③介護予防ボランティア活動（多摩市長が指定する介護予防ボランティア事業及び活動）</p> <p>ア) 事業 ●介護保険対象施設 ●多摩市が実施する地域支援事業（介護予防事業）</p> <p>イ) 活動 ●レクリエーション等の指導、参加支援 ●お茶だしや食堂内の配膳・下膳などの補助 ●散歩、外出、館内移動の補助 ●模擬店、会場設営、利用者の移動補助、芸能披露などの行事の手伝い ●話し相手 ●その他施設職員と共に行う軽微かつ補助的な活動（例一草刈、洗濯物の整理、シーツ交換など） ●その他</p> <p>④活動実績の把握：介護予防ボランティアが持参する介護予防ボランティア手帳に活動確認スタンプを押印。</p> <p>⑤評価ポイントの付与：介護予防ボランティア手帳に押印されたスタンプの数に応じて最大5,000ポイントの評価ポイントを付与。</p> <p>⑥評価ポイント転換交付金：介護予防ボランティア手帳を添えて、評価ポイント活用を申し出る。交付額は年間最大で5,000円。</p> <p>⑦その他：介護保険料の未納又は滞納の場合、適用しない。</p> <p>(2) 業務内容</p> <p>①介護予防ボランティア登録対象者向け説明会・研修会及び受入機関向け説明会の実施</p> <p>②受入機関の登録に関する事務</p> <p>③介護予防ボランティアの登録及び介護予防ボランティア手帳の交付に関する事務</p> <p>④介護予防ボランティア活動評価ポイントの付与及び管理に関する事務</p> <p>⑤介護予防ボランティアポイント交付金交付申請に関する事務</p> <p>⑥介護予防ボランティアポイント登録者に対する受入機関及び活動内容等の紹介に関する事務</p>

(2) 契約状況等

単位：円

	令和6年度	令和5年度
契約年月日	令和6年4月1日	令和5年4月1日
契約金額	2,078,000円	1,873,000円
変更協議年月日		
契約金額		

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区分	令和6年度			令和5年度		
	予算現額	収入済額	執行率(%)	予算現額	収入済額	執行率(%)
合計	2,078,000	2,078,000	100.0	1,873,000	1,873,000	100.0

② 支出の状況

単位：円

区分	令和6年度			令和5年度		
	予算現額	支出済額	執行率(%)	予算現額	支出済額	執行率(%)
合計	2,078,000	2,075,188	99.87	1,873,000	1,829,056	97.65

(4) 事業実施状況

① ボランティア登録者数

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
登録者数	474人	483人	514人	557人	586人

② 登録施設数

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
登録施設数	50	49	52	53	59

※令和6年度新規登録7団体

③ ボランティア・ポイント説明会

実施日	参加者	場所	内容	備考
R6.4 ~ R7.3 (毎月第一木曜日)	9人	多摩ボランティア・ 市民活動支援センター活動室	・にゃんともTAMAるボランティアポイントについて ・登録手続きについて	全4回(5・6・7・8・10・11・12・1月は参加者がいなかったため未開催)

④ 登録者向け説明会

実施日	参加者	場所	内容	備考
R6.9.13	8人	多摩ボランティア・ 市民活動支援センター活動室1・2	栄養・運動・社会参加について講話と実践	

⑤ 施設向け説明会

実施日	参加者	場所	内容	備考
R7.2.7	0名 ※訪問して5施設説明実施	ZOOM (オンライン)	介護予防ボランティアポイント受け入れ施設登録について	参加者0名のため実施せず。個別に問い合わせがあった施設に対して訪問で行った。

⑥ 施設・団体ボランティア受け入れ担当者情報交換会・研修会

実施日	参加者	場所	内容	備考
R7.2.7	13施設 16人	ZOOM (オンライン)	「なぜボランティアを受け入れるのか」「合意形成について」「継続のサポートについて」講義、情報交換	

12 福祉サービス利用支援事業

(1)概要

目的	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等に対し、本人との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行うことにより、安心して自立した生活が送れるようにする。
対象者	1 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者 2 支援が必要な高齢者、身体障がい者
内容	①福祉サービス利用援助(情報提供、手続き援助、利用料の支払い等) ②日常的金銭管理サービス(年金や手当の受領手続き、日常生活上の支払い手続き、払い戻し等) ③書類等の預かりサービス(年金証書、預貯金通帳、権利証、実印等)

(2)地域福祉権利擁護事業(東京都社会福祉協議会受託事業)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
相談件数	2,156	2,136	3,660	3,376	2,866
契約件数	25	30	26	28	32
解約件数	17	24	13	34	22
年度末契約件数	103	109	122	116	126

○収支状況(人件費を除く)

・収入の状況

単位：円

区分	令和6年度			令和5年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	3,870,000	3,812,507	98.5	3,348,000	3,565,235	105.2

・支出の状況

単位：円

区分	令和6年度			令和5年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	3,870,000	3,535,563	91.4	3,348,000	3,043,949	89.8

(3)東京都福祉サービス総合支援事業（多摩市補助事業）

	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
相談件数	349	191	391	569	456
契約件数	3	2	6	7	6
解約件数	7	8	0	3	6
年度末契約件数	16	10	16	20	20

福祉サービス利用援助事業 令和6年度末契約総数 146件 (126件+20件)

○収支状況（人件費を除く）

・収入の状況

単位：円

区分	令和6年度			令和5年度		
	予算現額	執行済額	執行率（%）	予算現額	執行済額	執行率（%）
合計	1,949,000	1,947,550	99.9	1,612,000	1,649,170	102.3

・支出の状況

単位：円

区分	令和6年度			令和5年度		
	予算現額	執行済額	執行率（%）	予算現額	執行済額	執行率（%）
合計	1,949,000	1,808,259	92.8	1,612,000	1,297,712	80.5

(4)実施事業

広報・ 説明会	<p>1 社協および市広報紙、ホームページの掲載。独自パンフレットの配布。</p> <p>2 社協職員による成年後見制度及び福祉サービス利用援助事業説明会の実施。</p> <p>① 市民向け事業説明会(3回) 令和6年 7月 5日(金) 18人 令和6年11月20日(水) 15人 令和6年11月21日(木) 18人</p> <p>② 事業所・関係機関向け事業説明会(2回) 令和6年 7月22日(月) オンライン実施 令和7年 3月 5日(水) 35人</p> <p>③ 生活支援員募集事業説明会(4回) 令和6年 5月28日(火) 参加者3人 登録者0人 令和6年 8月 8日(木) 参加者4人 登録者2人 令和6年11月25日(水) 参加者2人 登録者0人 令和7年 2月 5日(水) 参加者2人 登録者1人</p>
------------	---

年度	生活支援員				
	説明会参加者数	応募者数	新規登録数	退縮者数	年度末登録者数
R2	13	8	4	3	41
R3	6	5	5	3	43
R4	9	2	2	7	38
R5	8	4	4	5	37
R6	11	3	3	3	37

<p>専門研修会</p>	<p>事業名：生活支援員情報連絡会 「活動記録の書き方の再確認と意思決定支援について」 「ヒヤリハットの対策を考えよう」 日 時：令和6年7月26日（金）午後2時～4時 場 所：総合福祉センター7階 研修室 説明者：権利擁護センター職員 内 容：活動記録の書き方の再確認と意思決定支援についてグループワークを行う。 ヒヤリハットの対策について、小グループに分かれて意見交換を行う。 対象者：生活支援員 参加者：生活支援員14人、職員8人</p> <p>事業名：生活支援員研修会 「傾聴の意義、利用者への寄り添い方について」 日 時：令和7年1月30日（木）午後2時～4時 場 所：総合福祉センター7階 研修室 講 師：傾聴ボランティアグループ福寿草 代表 久保井孝人氏 内 容：傾聴の意義と利用者への寄り添い方について学ぶ。 対象者：生活支援員・職員 参加者：生活支援員13人、職員8人</p>
<p>講演会</p>	<p>事業名：「専門職による遺言と相続講座」（2日間） 日 時：令和6年6月28日（金）午後2時～4時 令和6年7月12日（金）午後2時～4時 場 所：一日目 総合福祉センター7階研修室 二日目 総合福祉センター7階研修室 内 容：一日目 遺言と相続について 二日目 相続税について 講 師：一日目 司法書士：相田浩和氏 二日目 税理士：内藤純氏 目 的：市民を対象に遺言と相続税に関する普及啓発を行う 講演会を通じて権利擁護業務に必要な司法書士と税理士の連携を図る 参加者：延べ59人</p>

1 3 成年後見制度利用者支援事業

目 的	認知症、知的障害、精神障害などにより物事を判断する能力が十分でない方について、本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、本人を法律的に支援する。
事業開始	平成21年10月1日 ※令和2年4月1日より多摩市成年後見制度利用者支援事業業務として委託を受ける。
対 象 者	認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない方で成年後見制度を利用することが有用である方。
内 容	成年後見制度に関する ①広報・啓発活動 ②相談業務 ③利用促進業務

成年後見制度利用支援業務

	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
相談件数（延べ件数）	360	661	671	617	662
新規相談者件数				99	123
申立支援件数	20 (4)	20 (4)	20(4)	20(5)	28(4)
申立支援延べ件数	104	179	229	204	196
マッチング支援件数	21	26	21	19	37

※申立支援件数のうち、括弧内は福祉サービス利用支援事業契約者に対して申立支援を行った件数。

○収支状況（人件費を除く）

収入の状況

単位：円

区 分	令和6年度			令和5年度		
	予 算 現 額	執 行 済 額	執 行 率 (%)	予 算 現 額	執 行 済 額	執 行 率 (%)
合 計	669,000	582,000	87.0	861,000	735,000	85.3

支出の状況

単位：円

区 分	令和6年度			令和5年度		
	予 算 現 額	執 行 済 額	執 行 率 (%)	予 算 現 額	執 行 済 額	執 行 率 (%)
合 計	669,000	570,492	85.3	861,000	534,440	62.0

(1)実施事業

広報・説明会	1 社協および市広報紙、ホームページの掲載。独自パンフレットの配布。 2 社協職員による成年後見制度及び福祉サービス利用援助事業説明会の実施。(再掲) ① 市民向け事業説明会(3回) 令和6年 7月 5日 (金) 18人 令和6年11月20日 (水) 15人 令和6年11月21日 (木) 18人
--------	---

	<p>② 事業所・関係機関向け事業説明会(2回) 令和6年 7月22日(月) オンライン実施 令和7年 3月 5日(水) 35人</p>
ふくし 法律相談	<p>実施日：毎月、第3木曜日 午後1時30分～3時30分 場 所：総合福祉センター内 弁護士：第二東京弁護士会所属 弁護士 増田径子氏 対象者：高齢者、障がい者及びその家族等 相談件数：17件(申込件数23件)</p>
社会福祉士による 成年後見制度 相談会	<p>実施日：毎月、第4火曜日 午後1時30分～3時30分 場 所：総合福祉センター内 弁護士：ぱあとなあ東京会員 対象者：高齢者、障がい者及びその家族等 相談件数：15件(申込件数19件)</p>
講演会	<p>① 事業名：「市民のための成年後見講座」 日 時：令和6年10月26日(土) 午前10時～12時 場 所：視聴覚室(ベルブ永山4階) 講 師：社会福祉士 穴戸孝至氏 穴戸美穂氏 目 的：市民を対象に成年後見制度の普及啓発を行う。 内 容：成年後見制度の基礎知識について 参加者：18人</p> <p>② 事業名：「親族後見人懇談会」 日 時：令和7年1月25日(土) 午後2時～4時 場 所：消費生活センター講座室(ベルブ永山3階) 目 的：親族で後見人等としての活動を考えている方に対して、後見業務の具体的な内容や活動におけるポイントを伝え、今後の後見活動における心構えに繋げる。 内 容：家庭裁判所へ提出する新書式の報告書の書き方と懇談会 ※参加申込みがなく中止となる</p> <p>③ 事業名：「専門職後見人等懇談会」 日 時：令和6年11月8日(金) 午後7時～9時 場 所：総合福祉センター7階研修室 講 師：多摩パブリック法律事務所 秋野達彦氏 目 的：成年後見人等及び受任予定の士業や市民後見人の交流を促進し、情報交換を行うことで成年後見人等の支援を行う。 内 容：「キャッシュレス化の進行に伴う成年被後見人等の資産管理について」の講演と情報交換会。 参加者：5人</p> <p>④ 事業名：「司法書士による市民のための成年後見相談会」 日 時：令和7年1月25日(土) 午後1時30分～4時40分 場 所：ベルブ講座室(ベルブ永山3階) 相談員：(公社)成年後見センターリーガルサポート東京支部所属 司法書士3名 目 的：市民を対象に成年後見制度や遺言等の普及啓発を図る。 内 容：司法書士による成年後見制度に関する相談会を実施。 相談者数：6組</p>

	<p>⑤ 事業名：「障がいのある方とその家族のための成年後見の集い」 日 時：令和6年12月11日（水）午後2時～4時 場 所：消費生活センター 講座室（ベルブ永山3階） 講 師：渡部 伸氏 「親なきあと」相談室相談員 目 的：「障がいのある方」と「その家族」を対象に、成年後見制度の普及を図るとともに、家族信託と成年後見制度に関する疑問等に対応することで利用を促進する。 内 容：障がいのある方の為の成年後見制度～よくある質問から～ 参加者：16人</p> <p>⑥ 事業名：消費者被害予防講座「落語で学ぶ！騙しの手口」 日 時：令和7年1月18日（土）午前10時～11時50分 場 所：消費生活センター 講座室（ベルブ永山3階） 講 師：多摩市消費生活センター相談員 辻村氏 落語家 回路亭 しん劇氏 目 的：主に高齢者の消費生活トラブルを防ぐための注意点やトラブルの対応方法、権利擁護事業を用いた再発防止策の啓発を行う。 内 容：多摩市消費生活センター相談員から「近年の消費者被害の相談傾向について」の講話。 落語家 回路亭しん劇氏による「だましの手口！私たちはもうだまされない」の落語。 権利擁護センター職員による「地域福祉権利擁護事業及び成年後見制度について」のご案内。 参加者：7人</p>
--	--

14 高齢者あんしんサポート事業

目的	急な入院時や死亡時における手続き等に不安を感じている単身で生活する高齢者に対し、安心して自立した地域生活が送れるよう、本人との契約に基づき、必要な支援を行う
事業開始	令和5年4月1日
対象者	次のいずれにも該当する方 (1) 多摩市に住所を有し、かつ、居住していること。 (2) 契約時の年齢が 65 歳以上の単身高齢者で、支援を受けられる親族がいないこと。 (3) 事業の内容を十分に理解し、契約判断できる能力があること。 (4) 生活保護を受給していないこと。
内容	基本サービス 定期的連絡・訪問 選択サービス ①福祉サービス利用時支援②日常的金銭管理・手続き支援 ③賃貸住宅居住支援④入院時支援⑤施設入所時支援⑥葬儀・埋葬等手続き支援⑦書類等預かり⑧専門職仲介支援

○収支状況（人件費を除く）

収入の状況

単位：円

区分	令和6年度			令和5年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	281,000	196,652	75.9	78,000	26,000	33.3

支出の状況

単位：円

区分	令和6年度			令和5年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	281,000	64,254	22.8	78,000	8,000	10.2

- 1 相談件数 69件
- 2 新規契約件数 2件 (80代男性1名 70代女性1名)
- 3 年度末契約件数 4件 (80代男性1名 70代男性1名、70代女性2名)

4 実施事業

広報・説明会	<ol style="list-style-type: none"> 1 社協およびホームページの掲載。独自パンフレットの配布。 2 事業説明会・相談会 <ol style="list-style-type: none"> ① 市民向け事業説明会 令和6年 7月 5日 (金) 18人 ② 事業所・関係機関向け事業説明会 令和6年 7月22日 (月) オンライン実施
--------	--

15 資金貸付事業

(1) 生活福祉資金（東京都社会福祉協議会受託事業）

単位：円

資金種別		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
相談総件数		1,397件 ※特例貸付 (4,596件)	295件 ※特例貸付 (1,534件)	343件 ※特例貸付 (325件)	465件	449件
資金種別ごとの貸付内容	①福祉資金	-	851,000 (2件) 辞退 792,000	140,000 (2件)	-	265,000 (3件)
	②緊急小口資金	※特例貸付 (1,032件)	※特例貸付 (438件)	※特例貸付 (95件)	50,000(1件)	辞退(1件) 55,000
	③教育支援資金	13,269,000 (10件) 辞退 2,190,000	7,066,500 (5件)	6,352,000 (4件)	18,759,000 (12件) 辞退 1,919,000	8,562,500 (6件) 辞退(1件) 2,140,000
	④総合支援資金	※特例貸付 (1,056件)	※特例貸付 (1,194件)	※特例貸付 (86件)	-	-
	⑤要保護世帯向け 不動産担保型 生活福祉資金	-	-	-	-	-
	合計	13,269,000 (2,098件)	7,125,500 (1,639件)	6,492,000 (187件)	18,809,000 (13件)	8,827,500 (9件)

※特例貸付：新型コロナウイルスの影響による特例貸付の申請（緊急小口資金）・貸付（総合支援資金）件数（令和4年9月末で特例貸付の申請終了）

(2) 小口資金（多摩市社会福祉協議会独自事業）

不慮の出来事で、その出費に急を要するものに2万円を限度に資金を貸し付ける。

単位：円

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
相談総件数		51件	154件	259件	246件	37件
貸付金額		20,000 (1件)	50,000 (3件)	30,000 (2件)	40,000 (2件)	55,000 (3件)
償還 状況	当年度貸付分 償還金	20,000 (1件)	20,000 (1件)	30,000 (2件)	30,000 (2件)	55,000 (3件)
	過年度貸付分 償還金	2,000 (1件)	30,000 (4件)	71,000 (6件)	21,000 (4件)	21,000 (3件)

(3) 緊急援護事業（多摩市社会福祉協議会独自事業）

生活困窮者に対して、2,000円を限度に金品等を援助する。

単位：円

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
支給件数	* 5件	1件	1件	-	
支給金額	* 2,500	1,100	10,000	-	

※業務の一部は、多摩市健康福祉部生活福祉課に依頼して実施（R2年度末まで）

*多摩市健康福祉部生活福祉課で、5件合計2,500円支給。うち4件は返還済。

(4) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業（東京都社会福祉協議会受託事業）

ひとり親の修学を支援し、資格取得と資格を活かした就職を促進して一人親家庭の自立を図る（平成28年12月開始）。

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
相談件数		4件	18件	8件	8件	7件
貸付件数	① 入学準備金	-	-	-	-	-
	② 就職準備金	-	200,000 (1件)	200,000 (1件)	-	-
	③ 住宅支援資金		1,999,200 (4件)	480,000 (1件)	960,000 (2件)	1,440,000 (3件)
	合計	-	2,199,200 (5件)	680,000 (2件)	960,000 (2件)	1,940,000 (4件)

※ ③住宅支援資金貸付は令和3年12月より受託開始。

(5) 出張相談（しごと・くらしサポートステーション）

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実施回数	未実施	未実施	未実施	未実施	1回
相談件数	-	-	-	-	4件

※令和元年6月開始、令和2年度より生活福祉資金特例貸付の実施に伴う、社協内での相談・申請対応の増加に対応するため停止中。

(6) その他（フードバンク事業）

生活困窮者に対して、食糧提供による支援を実施。

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
支給件数	(185件)	34件	35件	45件	52件

※令和3年度より貸付相談のあった困窮者への配布件数のみを計上。（ ）は合算数

16 収益事業の実施

公園・資源化センター等の公共施設、福祉協力店、および市内工事現場に自動販売機を設置し、その売上の一部が収益金と、赤い羽根共同募金および地域ささえあい募金への寄付となる。

単位：円

設置場所	業者	ロケーションマージン額（手数料収入）				
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
一本杉公園（2台）	西都ヤクルト販売（株）	572,899	566,139	513,719	528,032	539,239
多摩東公園		479,983	646,472	639,549	670,997	581,688
資源化センター		205,818	187,668	186,751	138,289	115,278
エリアティ		30,247	26,493	29,885	32,611	25,768
魚勇		1,489	-	-	-	-
新井歯科医院	*1	26,792	22,595	24,210	20,995	19,432
ポロン	東京キリンビバレッジ（株）	14,265	15,625	24,812	20,142	12,809
高西寺		24,051	29,263	30,185	28,960	28,779
KDDI 多摩センタービル		13,322	43,261	30,626	22,573	23,894
三井住友建設聖蹟桜ヶ丘現場		66,492	330,559	301,187	258,796	235,319
旧北貝取小学校工事現場		1,488	61,071	-	-	-
トムハウス改修工事現場		-	55,194	39,788	-	-
連光寺老人福祉館工事現場		-	34,895	18,056	-	-
多摩中央図書館工事現場（2台）		-	（募金のみ） *2	（募金のみ） *2	-	-
中沢都営住宅建設工事現場		12,704	-	-	-	-
合計			1,449,550	2,019,235	1,838,780	1,721,395

*1 設置業者）コカ・コーラボトラーズジャパン（株）

*2 設置先の意向により、販売手数料に係る寄付金は赤い羽根共同募金と地域ささえあい募金のみに対象（収益金とならない）

※ ロケーションマージン額：販売品売上単価の1%～40%（設置場所により異なる）を販売手数料としており、商品により1本当たり1円～60円の収益がある。

17 障がい者地域活動支援センター事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

目的	市内在住の障がいのある方や家族等を対象とした事業の実施、情報提供、福祉サービス利用の援助を行い、障がいのある方の社会参加、自立への援助を図る。
事業開始	平成24年4月1日（受託事業開始）
対象	市内在住の障害者手帳所持者・家族、市内の障がい者団体
実施場所	多摩市総合福祉センター内
内容	<p>① 業務日時 月曜日から土曜日まで〔第2土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始を除く〕の午前8時30分から午後5時まで</p> <p>② 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基礎的事業 <ul style="list-style-type: none"> ・趣味や生きがい活動の支援（教養講座など） ・在宅障がい者デイサービス事業 ・社会との交流の場の提供（同好会活動、カラオケの日、グループ活動など） ●機能強化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業（福祉サービスの利用援助等） ・各種相談事業（パソコン相談など） ・水浴訓練室事業（水中機能訓練など） ・入浴サービス（通所入浴・訪問入浴） ・広報・普及啓発 ●障害理解促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・理解促進事業（障がい者と共にひとときの和、福祉体験学習など） ●高次脳機能障害者支援促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援 ・関係機関との連携 ・社会資源の把握・開拓 ・広報・普及啓発 ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルプカードの配布、疑似体験学習への協力など

(2) 契約状況等

区分	令和6年度					令和5年度			
	内容					内容			
契約年月日	令和6年4月1日					令和5年4月1日			
	地域活動支援センター					地域活動支援センター			
	合計	基礎的事業	機能強化事業	障害理解促進事業	高次脳機能障害者支援促進事業	合計	基礎的事業	機能強化事業	高次脳機能障害者支援促進事業
契約金額	108,588,000	35,719,000	68,099,000	668,000	4,102,000	95,296,000	32,865,000	58,329,000	4,102,000
契約変更日	令和7年1月6日					令和6年1月5日			
変更契約金	106,348,000	35,719,000	66,099,000	428,000	4,102,000	94,096,000	32,865,000	57,129,000	4,102,000

単位：円

(3) 収支の状況

① 収入の状況

区 分	令和6年度				令和5年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)
受託金収入	106,348,000	97,147,910	9,200,090	91.4	94,096,000	88,059,721	6,036,279	93.6
参加費収入	34,000	17,581	16,419	51.7	32,000	8,000	24,000	25.0
利用料収入	474,000	84,478	389,522	17.8	470,000	115,058	354,942	24.5
計画相談支援 給付費	8,483,000	8,404,376	78,624	99.1	8,251,000	8,169,180	81,820	99.0
寄付金収入	20,000	20,000	0	100.0				
受取利息配当金収入	1,000	15,392	△14,392	1,539.2	1,000	197	803	19.7
合計	115,360,000	105,689,737	9,670,263	91.6	102,850,000	96,352,156	6,497,844	93.7

単位：円

② 支出の状況

区 分	令和6年度				令和5年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)
人件費	90,674,000	84,261,403	6,412,597	92.9	79,928,000	75,986,416	3,941,584	95.1
事業費	14,912,000	11,945,958	2,966,042	80.1	13,492,000	11,192,656	2,299,344	83.0
事務費	1,587,000	1,176,713	410,287	74.2	1,528,000	1,195,842	332,158	78.3
支払利息	24,000	23,938	62	99.7	48,000	47,946	54	99.9
固定資産取得	572,000	571,120	880	99.8	715,000	592,900	122,100	82.9
リース債務	577,000	576,662	338	99.9	553,000	552,654	346	99.9
退職積立金	2,981,000	2,957,175	23,825	99.2	2,668,000	2,667,105	895	99.9
拠点区分間繰入金	4,033,000	4,176,768	△143,768	103.4	3,918,000	4,116,637	△198,637	105.1
合計	115,360,000	105,689,737	9,670,263	91.6	102,850,000	96,352,156	6,497,844	93.7

単位：円

(4) 利用登録状況

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
登録人数	77人	79人	80人	74人	88人
(内訳)	54人 (身体・知的重複3人、 身体・精神重複4人含)	74人 (身体・知的重複3人、 身体・精神重複2人含)	54人 (身体・知的重複3人、 身体・精神重複2人含)	54人 (身体・知的重複7人、 身体・精神重複4人、 含む)	45人 (身体・知的重複7人、 身体・精神重複2人、 身体・難病1人含)
身体					
知的	8人	1人	9人	5人	5人 (知的・発達重複1人含)
精神	8人	3人 (知的・精神重複1人含む)	13人 (知的・精神重複1人含む)	4人	8人
手帳無	14人	1人	10人	11人	19人
※年度の登録人数の内訳					
登録延人数	369人	383人	414人	431人	447人
利用延人数	2,439人	3,427人	3,975人	4,388人	3,778人

※登録延人数・内訳ともに重複有。年度の登録人数に変更

(5) 実施状況

【基礎的事業】

① 趣味や生きがい活動の支援（教養講座など）

・パソコン教室

コース	内容	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	年間
木曜コース 年3回 (各4回) 延12回	身体、知的、精神障がい者を対象にレベルに応じて基礎から指導	5/2～5/23 ワード入門 チラシを作る 8人	7/4～7/25 エクセル入門 パンフレットを作る 3人	(※注1) 中止	21人	
土曜コース 年3回 (各4回) 延12回		6/1～6/29 ワード入門 チラシを作る 6人		10/5～11/2 図形でイラスト 年賀状 4人 (※注2)		(※注3) 中止
視覚障がい コース 年3回 (各4回) 延12回	視覚障がい者を対象に音声機能付きソフトで文章作成やインターネットの操作方法等の指導		9/5～9/26 入力的基础 (個別対応) 4人	11/7～ 11/28 文章の入力 (個別対応) 5人	2/20～3/13 ネットリーダーの 使い方 (個別対応) 8人	17人

(※注1・3) 木曜日コース 10/3～10/26「ワードで作る年賀状」と1/4～2/1「エクセル表計算と関数」は参加者がいないため実施せず(中止)

(※注2) 土曜日コース 10/5～11/2「図形でイラスト年賀状」については、11/2のみ参加者がいないため実施せず(中止)

・体操・親子体操教室

成人向け 体操教室 前期・後期 各10回 延20回	・ボール、タオルを使った椅子に座りながらの体操 ・身体、知的、精神障がい者が参加し、無理なく身体を動かすことで機能の維持向上と交流を図る	前期 5月～9月(10回) 106人	後期 10月～2月(10回) 92人	198人
		第1四半期 46人 第2四半期 60人	第3四半期 58人 第4四半期 34人	
親子体操 教室 前期・後期 各10回 延20回	・心身の発達の気になる子どもと保護者がボールなどの道具を使い身体を動かしながら共に楽しむ	前期 5月～8月(6回) 46人	中期 10月～12月(6回) 41人 後期 1月～3月(6回) 43人	328人
		第1四半期 23人 第2四半期 23人	第3四半期 41人 第4四半期 43人	

② 在宅障がい者デイサービス事業 毎週水・金曜日 定員：8人

<p><年間>・登録人数 4人：手帳所持者 3人（身体2人・精神2人）、手帳なし（難病） 0人 ・利用者 4月～6月 3人 7月～9月 4人（7月24日で1名入所、1人不定期に参加） 10月～12月 4人（1人不定期に参加） 1月～3月 4人（1人不定期に参加） ※うち1名3月に逝去 ・開設日数 101日 延利用者数 282人 <第1四半期> 開設日数 25日 延利用者数 62人 <第2四半期> 開設日数 26日 延利用者数 85人 <第3四半期> 開設日数 26日 延利用者数 72人 <第4四半期> 開設日数 24日 延利用者数 63人</p>								
内 容		実施回数・人数					年 間	詳 細
		第1 四半期 延人数	第2 四半期 延人数	第3 四半期 延人数	第4 四半期 延人数			
基本事業 （訓練等）	機能訓練	体操	57人 24回延	77人 24回延	55人 20回延	44人 19回延	233人 87回延	<p><通年> ・機能訓練：個別の他体操含む ・社会適応訓練 個別訓練：S.U.D(Step Up Day) 毎月、身体評価日を設け、利用者の 各々の機能低下に合わせたプログラ ムを個別に実施</p> <p><第1四半期> ・外出訓練：各利用者に合わせた移 動手段で、合流してランチ（5/17） ・体力測定 多目的ホール （5/29）</p> <p><第2四半期> ・調理訓練：7月 ・デイルンピック 多目的ホール （7/31） ・アクアブルー作品展 ・夏祭り（8/23） ・季節の園芸（9/27）</p> <p><第3四半期> ・社会適応訓練 ・外出訓練：10月南大沢中止 12月美術展見学 ・調理訓練：11月</p> <p><第4四半期> ・スポーツ大会 ・季節の園芸（3/22） ・ポッチャ交流大会（3/19） ・外出訓練：3月南大沢</p>
		歩行訓練	9人 5回延	11人 5回延	10人 4回延	7人 3回延	37人 17回延	
		その他	0人 0回延	5人 2回延	0人 0回延	0人 0回延	5人 2回延	
	社会適 応訓練	認知訓練	61人 25回延	83人 26回延	68人 25回延	53人 22回延	265人 98回延	
		OT（作 業療法）	61人 25回延	78人 25回延	68人 25回延	53人 22回延	260人 97回延	
		ST（言 語訓練）	31人 13回延	39人 12回延	29人 10回延	16人 7回延	115人 42回延	
		外出訓練	3人 1回延	0人 0回延	3人 1回延	3人 1回延	9人 3回延	
		脳トレ	5人 2回延	6人 2回延	3人 1回延	3人 2回延	17人 7回延	
		調理訓練	0人 0回延	3人 1回延	3人 1回延	3人 1回延	9人 3回延	
		個別訓練 等	13人 5回延	11人 4回延	19人 7回延	19人 9回延	62人 25回延	
	その他	7人 3回延	11人 4回延	5人 2回延	14人 5回延	37人 14回延		
	創作活 動	作業・創作 （作品製作）	5人 2回延	15人 5回延	18人 7回延	7人 4回延	45人 18回延	
		書画	7人 3回延	8人 3回延	7人 3回延	7人 3回延	29人 12回延	
		その他	0人 0回延	3人 1回延	3人 1回延	6人 2回延	12人 4回延	
アク ティ ビ ティ	カラオケ	4人 2回延	3人 1回延	5人 2回延	3人 1回延	15人 6回延		
	ゲーム	6人 3回延	7人 3回延	6人 2回延	9人 5回延	28人 13回延		
	その他	1人 1回延	9人 4回延	3人 1回延	3人 1回延	16人 7回延		
入浴	入浴サービス	12人 12回延	13人 13回延	10人 10回延	13人 13回延	48人 48回延		
付 属	給食サービス	38食 21回延	58食 26回延	45食 23回延	30食 20回延	171食 90回延		
	送迎サービス	119人 25回延	165人 26回延	134人 26回延	114人 24回延	532人 101回延		

③ 社会との交流の場の提供（同好会活動、カラオケの日、グループ活動など）

事業名	実施日	第1 四半期 延人数	第2 四半期 延人数	第3 四半期 延人数	第4 四半期 延人数	年間
同好会—憩書道 *令和3年度末で解散	第1・3月曜日					
カラオケの日	第4土曜日午前	0人	7人	4人	6人	17人
言語訓練 *失語症のある方を対象と したおしゃべりのグループ	水曜日 第1・3・4グループ 第2・4個別	35人	32人	23人	22人	112人
グループ活動 マーブル *統合失調症を主診断と する方を対象	第4木曜日午後 *H30年7月開始	6人	5人	4人	1人	16人

※同好会活動（憩書道）は令和3年度末で解散したため、同好会グループ活動はなし

【機能強化事業】

- ① 相談支援事業（一般相談）電話、来所、訪問、その他による相談支援
 相談内容：精神障がい者の不安時における電話相談の傾聴
 障害福祉サービスを利用していない障がい者の継続的な支援
 親なきあとの暮らしについての相談
 関係機関からの相談や専門の相談窓口についての相談など

	第1 四半期 延人数	第2 四半期 延人数	第3 四半期 延人数	第4 四半期 延人数	年間
相談延人数 (新規継続含む)	149人	144人	143人	210人	637人(1,290人)
来所	12人	7人	14人	12人	45人(81人)
電話	122人	127人	115人	172人	536人(1,064人)
メール	8人	6人	5人	15人	29人(91人)
訪問	4人	2人	2人	10人	18人(39人)
同行	3人	2人	7人	1人	13人(15人)

※（ ）は前年度

② 各種相談事業

相談会名	協力団体・内容	実施日	第1 四半期 延人数	第2 四半期 延人数	第3 四半期 延人数	第4 四半期 延人数	年間
パソコン相談会 *パソコンボランティア多摩	パソコン操作やトラブルに関する個別相談	第1~4 火曜日	22人	15人	12人	9人	58人
聞こえと補聴器の相談会	言語聴覚士による聴力検査、補聴器や日常生活用具等に関する相談	年3回	0人 (中止)	12人			12人

親なきあと個別相談 *渡部行政書士事務所 代表 渡部 伸氏	親なき後を心配している家族が法制度やサービスの内容を相談することで、子の将来の準備を行う機会とする。	毎月第3水曜日	5人	2人	1人	1人	9人
言葉のこと相談	言語聴覚士による言葉と嚥下に関する個別相談	毎週水曜日	3人	2人	1人	0人	6人
唐木田児童館 言葉の相談 ほっとたいむ	来館の子どもと保護者に言語聴覚士がコミュニケーションをとりながら、言葉に関する心配事を聞く	毎月第1水曜日 *H30年6月開始	8人	4人	15人	8人	35人

(ア) 水浴事業

事業名	実施日	内容	第1 四半期 延人数	第2 四半期 延人数	第3 四半期 延人数	第4 四半期 延人数	年間
水中機能訓練	火・木曜日 通年 各42回	水の特性を利用したリハビリや機能維持・向上のための水中運動 *手帳所持者等 脳出血・脳梗塞後遺症、関節リウマチ、変形性股(膝)関節症、パーキンソン等 ・送迎サービス有	162人	151人	170人	117人	600人
水中機能訓練フォローアップ	*今年度、休止	水中機能訓練修了者が、1訓練(個人貸出)移行後の再修正の機会を設ける			15人		15人
水浴訓練 室貸出	個人 月・金曜日 午前/午後	185人	185人	160人	173人	135人	653人
	団体 土曜日 午前/午後	16人	16人	34人	11人	6人	67人

(イ) 入浴サービス事業

	第1 四半期		第2 四半期		第3 四半期		第4 四半期		年間		その他
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	
通所入浴サービス	4人	42人	4人	45人	4人	42人	4人	39人	4人	168人	施設内での機械浴(送迎有・デイ利用者含む)身体、知的
訪問入浴サービス	9人	99人	9人	98人	9人	91人	9人	84人	9人	372人	訪問入浴事業者へ再委託 身体、知的

③ 広報・普及啓発

ア) 総合福祉センターだより発行状況(月1回発行) ※老人福祉センター事業含む			
発行部数	総発行部数	設置・送付箇所	主な設置・送付箇所
約700部	約9,100部/年	約77箇所	市内公共施設(公民館、コミュニティセンター)、関係機関等
イ) 講演会・協力事業			
<p><第2四半期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害支援促進事業 第1回関係機関連絡会 令和6年7月19日(金) 14時~16時 内容 あんどの取り組みの紹介、関係機関から報告など <p><第3四半期></p> <p>① 高次脳機能障害者支援促進事業 講演会「高次脳機能障がいサポーターを知ろう～足立さくら会での取り組み～」 令和6年11月2日(土) 14時~16時 内容 高次脳機能サポーターについて 他 講師 刈脇美佐子氏(特定非営利活動法人足立さくら会理事長)</p> <p>② 地域ボランティアの育成・登録 高次脳機能障害当事者のグループ活動のサポート活動</p>		<p><第2四半期> 参加者(機関) 20人</p> <p><第3四半期> ① 参加者 27人 ② 活動登録者 3人 ※活動継続中</p>	
<p><第4四半期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害支援促進事業 第2回関係機関連絡会 令和7年3月14日(金) 14時~16時 内容 今年度の事業報告、来年度のスケジュール、各関係機関の取り組みについて 等 		<p><第4四半期> 参加者(機関) 13人</p>	
ウ) 障がい者スポーツ体験			
<p>① ボッチャセットの貸出</p> <p>② 福祉フェスタ 2024 でのボッチャ体験、障害理解促進ゲーム</p>		<p>① <第1四半期> 3団体 延日数 27日 <第2四半期> 7団体 延日数 41日 <第3四半期> 7団体 延日数 36日 <第4四半期> 2団体 延日数 13日 ③ 参加者 延人数 65名</p>	

【障害理解促進事業】

ア) 多摩市福祉交流会「障がい者と共にひとときの和」				参加協力団体
＜第2四半期＞				<ul style="list-style-type: none"> ・多摩視聴覚障害者協会 ・多摩市視覚障害者福祉協会 ・多摩市身体障害者福祉協会「アートひまわり」 ・手話サークル「クローバー」
<ul style="list-style-type: none"> ・「障害理解促進事業」に関する話し合い 令和6年7月23日(火) 15時～ 内容 令和5年度「ひとときの和」実施報告 障害理解促進事業について ほか				
＜第3四半期＞				<ul style="list-style-type: none"> ・点字サークル「トータス」 ・パソコン点訳サークル「こがめ」 ・多摩市手をつなぐ親の会 ・多摩市障害福祉課
<ul style="list-style-type: none"> ・「ひとときの和」実行委員会(第1回) 令和6年11月8日(金) 14時～16時 内容 今年度の開催校での実施について(日時、内容の検討) 今後のスケジュール(事前下見、打ち合わせなど)				
＜第4四半期＞				<ul style="list-style-type: none"> ・多摩市身体障害者福祉協会「アートひまわり」 ・多摩市視覚障害者福祉協会 ・多摩市聴覚障害者協会 ・手話サークル「クローバー」 ・多摩市手をつなぐ親の会 ・特定非営利活動法人 縁
実施日	開催校	参加人数	内 容	
令和7年 1月24日 (金)	大松台小学校	65人 (2クラス)	<ul style="list-style-type: none"> ・車いす体験、手話体験、日常生活用具紹介 ・当事者のお話など 	
令和7年 3月3日 (月)	北諏訪小学校	91人 (3クラス)	<ul style="list-style-type: none"> ・車いす体験、ミニ手話体験/日常生活用具体験、ブラインドウォーク体験 ・当事者のお話など 	
イ) 福祉体験学習(※) 市内小・中学校の授業等での障害理解プログラム				
＜第1四半期＞				
実施日	開催校	参加人数	内 容	参加協力団体
5月30日 (木)	永山小学校 6年生	59名 (2クラス)	車イス利用者によるお話、操作・乗車体験など	ベアスポーツクラブ、特別養護老人ホーム和光園、車いすボランティア、多摩ボランティア・市民活動支援センター
＜第3四半期＞				
実施日	開催校/学年	生徒数	内 容	参加協力団体
10月22日 (火)	愛和小学校 5年生	60名	車いす体験	楽友会、一般ボランティア
11月7日 (木)	東落合小学校 4年生	56名	身体障がい当事者の話、車いす体験	檜山和真氏、和光園、一般ボランティア
12月23日 (月)			視覚障がい当事者の話、点字体験	瀬尾敏也氏、多摩市点字サークル「トータス」
12月12日 (木)	東寺方小学校 4年生	88名	身体障がい当事者の話など	檜山和真氏 ほか3名

<第4四半期>

施 日	開催校/学年	生徒数	内 容	参加協力団体
1月16日(木)	第三小学校 1年生	79名	昔遊びの伝承	みんなであそぼう 村松氏、一般ボランティア
1月20日(月)	貝取小学校 5年生	44名	身体障がい当事者の話、車いす体験	檜山和真氏、一般ボランティア
2月7日(金)	大松台小学校 4年生	65名	視覚障がい当事者の話、点字体験	瀬尾敏也氏、パソコン点訳サークル「こがめ」
2月12日(水)			聴覚障がい当事者の話など	手話サークル「クローバー」、多摩市聴覚障害者協会
2月12日(水)	南鶴牧小学校 4年生	101名	身体障がい当事者の話	望月孝裕氏
2月17日(月)			聴覚障がい当事者の話など	手話サークル「クローバー」、多摩市聴覚障害者協会
2月19日(水)			視覚障がい当事者の話、点字体験	有松靖温氏、パソコン点訳サークル「こがめ」、多摩市点字サークル「トータス」
3月3日(月)	和田中学校 1年生	163名	視覚障がい当事者の話、点字体験	多摩市視覚障害者福祉協会、パソコン点訳サークル「こがめ」、多摩市点字サークル「トータス」

【その他】

① ヘルプカードの配布

配布場所：多摩市役所障害福祉課、多摩市地域活動支援センターの一ま

社協（総合福祉センター3階・多摩ボランティア・市民活動支援センター）

	第1 四半期 延人数	第2 四半期 延人数	第3 四半期 延人数	第4 四半期 延人数	年間
身体障害	31人	25人	42人	31人	129人
知的障害	11人	9人	4人	10人	34人
精神障害	26人	34人	26人	35人	121人
難病	8人	6人	2人	8人	24人
高齢	0人	0人	1人	0人	1人
その他	19人	32人	39人	24人	114人
備 考					人
合計	95人	106人	117人	91人	409人

② 団体共用室の使用

使用団体：多摩市聴覚障害者協会、多摩市視覚障害者福祉協会、多摩市身体障害者福祉協会、多摩市手をつなぐ親の会、多摩市精神障害者家族会サンクラブ多摩、失語症友の会

	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	年間
使用日数	42日	30日	45日	34日	117日
延人数	285人	232人	265人	280人	1,062人

【高次脳機能障害者支援促進事業】

<p>①相談事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談人数・件数 新規相談者数：12人（単回も含む） 計画相談：12人、一般相談32人 相談延人数：直接相談（面接/訪問/同行）延べ107人160件 電話等相談 延べ117人321件 相談者内訳：本人、家族、医療機関、関係機関等から相談 相談内容 <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険以外で利用できる障害サービス ・入院中のソーシャルワーカーより退院後の生活相談、社会資源の紹介 ・障害者手帳の取得方法 等 ・土曜相談日：毎月第1土曜日午後実施 ・「パートナー・家族のための個別相談会」：土曜日午後全12回実施
<p>②関係機関との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関連絡会の開催（R6.7, R7.3に開催） 今年度の事業報告/来年度の事業計画、情報交換会等 ・区市町村高次脳機能障害者相談支援員連絡会への出席（6.12月） ・南多摩圏域内連絡会への参加（9月） ・市障害福祉課との打合せ（2月） ・南多摩高次脳機能障害者支援普及事業協力施設会議への参加（毎月Web開催） ・南多摩高次脳機能支援センターとの連携「症例検討会」に参加（2月） ・家族会への参加（らーふの会・多摩市失語症友の会こだま）随時 ・市民向け学習会・勉強会 講演会「高次脳機能障がいサポーターを知ろう」開催（11月） 多摩市失語症友の会こだま主催学習会（失語症の理解と支援）への協力（1月） ・地域活動への参加支援と開拓
<p>③社会資源の把握・開拓</p>	<p>事業所見学</p> <p>就労継続支援B型：「カナウラボ」（さいたま市） 「こひつじ舎」（調布市）</p> <p>グループホーム：「グループホーム星の輪」「みかんの樹」（多摩市） 「スマイルホーム」（日野市） 「りんごの木」（三鷹市） 「にこにこ」（調布市） 「AMANEKU 町田野津田」（町田市）</p> <p>生活介護事業所：「こんぱす」（八王子市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会等への参加：「第8回高次脳機能障害でつながる医療と福祉 in 町田」（6月） 「令和6年度高次脳機能障害者相談支援研修会」（7.10月） 「東京都高次脳機能障害実践的アプローチ講習会」（9月） 「日本高次脳機能障害学会総会」（11月） 「No Problem（脳損傷）in 南多摩」（11月） ・在宅障がい者デイサービスで2名受け入れ ・言語訓練（グループ・個別）6名参加 ・上記活動への失語症会話パートナー派遣要請 ・グループ活動「ほのぼの」月1回土曜日開催9名参加 音楽療法・交流会 ・グループ活動「桜プラス」月1回木曜日開催7名参加 女性のためのグループ活動・交流会

④広報・普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・社協広報誌等やホームページ等を通じた事業の周知 ふくしだより 9月15日号に講演会の紹介 総合福祉センターだより(毎月)：事業紹介・参加者募集など 福祉フェスタにて紹介パネル展示(10月) ・社協ホームページへの掲載 ・福祉センター3階 図書情報コーナー/関連書籍の購入と貸出 ・サポーターの育成・登録、グループ活動での実践3名
----------	--

【指定特定相談支援事業】 福祉サービス等利用計画の作成

障がいのある方が様々なサービスの利用を通じて希望する生活の実現や目標の達成に向けて、生活の中で解決すべき課題や支援の内容を本人と相談しながら具体的にプランを立てていく。

総契約数：144人（149）

相談形態：来所 117件（71）、電話 4,199件（5,226）、訪問 994件（1,006）、

同行 105件（129）、メール 620件（1,048） のべ件数 6,035件（7,840）

計画作成数：新規・モニタリング 517件（521）（ ）は前年度

18 同行援護事業

(1) 概要

目的	視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する障がい者等に対し、同行援護従事者を派遣し、移動時及びそれに伴う外出先において必要な視覚的情報の支援（代読、代筆を含む）を行う。外出先において必要な移動の援護や排泄等必要な介助を行うことにより、社会参加、及び自立支援を行うことを目的とする。
対象者	多摩市より障害福祉サービス受給者証の交付を受けた者。 契約者40人（令和6年3月末現在）*新規契約者7人
同行援護従事者	同行援護従業者養成研修（一般過程）を修了した者。 居宅介護の従事者要件を満たす者については特例措置あり。 ※登録者数26人（令和6年3月末現在）*新規登録者4人

(2) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区分	令和6年度				令和5年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)
介護給付費	12,059,000	9,716,987	2,342,013	80.6	12,021,000	10,115,292	1,905,708	84.1
利用者負担金	222,000	157,052	64,948	70.7	210,000	154,764	55,254	73.7
受取利息配当金	1,000	1,759	△759	175.9	1,000	29	971	2.9
前期末支払資金残高	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	12,282,000	9,875,798	2,406,202	80.4	12,232,000	10,270,067	1,961,933	84.0

② 支出の状況

単位：円

区分	令和6年度				令和5年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)
人件費	4,367,000	4,082,601	284,399	93.5	3,680,000	3,564,445	115,555	96.9
事業費	7,277,000	6,119,792	1,157,208	84.1	7,858,000	5,715,127	2,142,873	72.7
事務費	638,000	320,396	317,604	50.2	564,000	388,375	175,625	68.9
固定資産取得	0	0	0	0	130,000	0	130,000	0
合計	12,282,000	10,522,789	1,759,211	85.7	12,232,000	9,667,947	2,175,882	79.0

(3) 同行援護活動実績

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
契約者数 (うち身体介護有)	40人 —	41人 —	43人 —	40人 —	40人 —
利用人数	245人 (月平均 20.4人)	274人 (月平均 22.8人)	285人 (月平均 23.8人)	285人 (月平均 23.8人)	266人 (月平均 22.1人)
派遣回数	1,100回 (月平均 91.7回)	1,194回 (月平均 99.5回)	1,308回 (月平均 109回)	1,181回 (月平均 98.4回)	1,115回 (月平均 92.9回)

派遣時間	3,395.5時間 (月平均 283時間)	4,108.5時間 (月平均 342.3時間)	4,518時間 (月平均 376.5時間)	4,475時間 (月平均 372.9時間)	4,538時間 (月平均 378.1時間)
活動者数	259人 (月平均 21.6人)	300人 (月平均 25人)	293人 (月平均 24.4人)	268人 (月平均 22人)	231人 (月平均 19.3人)
同行援護 登録従事者	32人	39人	35人	26人	28人

(4) 同行援護従事者研修会

例年実施している従事者研修会に外部講師を招いて全従事者対象に実施した。

開催日・場所	R6.11.12(火) 総合福祉センター 6階集会室 R6.11.15(金) 総合福祉センター 5階視聴覚室
対 象	令和6年度に従事者登録をしている方 28人
内 容	講習：最新の同行援護情報・災害時の支援方法・虐待について 演習：基本の誘導方法と虐待にならないための誘導方法
参加者	11人

(5) 虐待防止委員会

虐待防止に関する委員会を開催し、実施内容について検討した。

開催日・場所	R6.9.12(木) 総合福祉センター 4階機能訓練室
構 成	事業管理者又は施設長、事業担当係長、事業担当者、 事業サービス担当責任者、その他関係職員
内 容	・令和6年度虐待防止委員会事業計画(案)について ・今後の取り組みについて ・令和5年度研修結果報告について ・各事業における虐待案件について 他
参加者	5人

19 意思疎通支援（手話通訳者派遣）事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

目的	聴覚障がい者及び言語障がい者（以下「聴覚障がい者等」という）が、他者との意思疎通を円滑にするため、手話通訳を必要とする場合に、手話通訳者を派遣すること及び手話通訳に係わる交通費を助成することにより、聴覚障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的とする。
対象者	① 多摩市地域生活支援事業要綱第3条の規定を満たし、かつ、市に居住する聴覚、音声又は言語機能障害のため身体障害者手帳を所持する者。 ② 市に事務所を有する聴覚障がい者等団体。 ③ ①に該当する者が複数参加することが見込まれている講演会その他事業の主催者 ④ その他市長が特に認めた者。
利用時間の制限	手話通訳者等の派遣・・・・・・・・原則月20時間
手話通訳者	① 多摩市登録手話通訳者…手話通訳士又は手話通訳者全国統一試験に合格した市内在住の満20歳以上の者で、多摩市長が手話通訳者として認定した者。※登録者数34人（令和6年3月末現在） ② 東京手話通訳等派遣センター登録手話通訳者 ※専門的な内容に関わる場合で、利用者が希望する場合に派遣。

(2) 契約状況等

単位：円

区分	令和6年度		令和5年度	
	内容	備考	内容	備考
契約年月日	令和6年4月1日		令和5年4月1日	
概算契約金額	11,484,000		10,172,000	

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区分	令和6年度				令和5年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)
受託金収入	11,483,000	11,848,988	△365,998	103.2	10,720,000	10,311,996	408,004	96.2
受取利息配当金収入	1,000	1,758	△758	175.8	1,000	21	979	2.1
合計	11,484,000	11,850,746	△366,746	103.2	10,721,000	10,312,017	408,983	96.2

② 支出の状況

単位：円

区 分	令和 6 年度				令和 5 年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)
人件費	5,647,000	5,407,283	239,717	95.8	5,079,000	4,985,740	93,260	98.2
事業費	5,305,000	5,167,426	137,574	97.4	5,031,000	4,588,324	442,676	91.0
事務費	531,000	448,556	82,444	84.5	610,000	448,528	161,472	73.5
固定資産取得	—	—	—	—	—	—	—	—
拠点区分間繰入金	1,000	1,000	0	100	1,000	21	979	2.1
合計	11,484,000	11,024,265	459,735	96.0	10,721,000	10,022,613	698,387	93.5

(4) 多摩市登録手話通訳者の活動実績

	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
利用登録者	113 人	120 人	114 人	133 人	113 人
登録手話通訳者	39 人	37 人	37 人	34 人	34 人
派遣件数 (市・都)	894 件	968 件	941 件	1,009 件	1,096 件
派遣時間 (市)	1,368 時間 21 分	1,479 時間 42 分	1,840 時間 39 分	1,716 時間 48 分	2,072 時間 56 分
派遣者活動人数 (市)	232 人	239 人 (月平均 19.9 人)	276 人 (月平均 23.0 人)	272 人 (月平均 22.7 人)	295 人 (月平均 24.6 人)

(5) 手話通訳者研修会

① 外部講師による研修会 (全5回) 参加延人数71人

講師：東京都手話通訳問題研究会

内容：手話の読み取り、講義と模擬通訳 (医療、歯科、講演会)、事例検討

② その他研修会 (全8回) 参加延人数146人

内容：模擬通訳 (会議、行政窓口)、事例検討、手話の読み取り

20 意思疎通支援（要約筆記者派遣）事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

目的	聴覚障がい者等が、他者との意思疎通を円滑にするため、要約筆記を必要とする場合に、要約筆記者を派遣すること及び要約筆記に係わる交通費を助成することにより、聴覚障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的とする。
対象者	① 多摩市地域生活支援事業要綱第3条の規定を満たし、且つ市に居住する聴覚、音声又は言語機能障害のため身体障害者手帳を所持する者。 ② 市に事務所を有する聴覚障がい者等団体。 ③ ①に該当する者が複数参加することが見込まれている講演会その他事業の主催者 ④ その他市長が特に認めた者。
利用時間の制限	要約筆記者の派遣・・・・・・・・原則月20時間
要約筆記者	①多摩市登録要約筆記者…東京都要約筆記者養成講習会を終了または同程度の満20歳以上の者で、多摩市長が要約筆記者として認定した者。 ※登録者数11人（令和7年3月末現在） ②東京手話通訳等派遣センター登録要約筆記者 ※専門的な内容に関わる場合で、利用者が希望する場合に派遣。

(2) 契約状況等

単位：円

区分	令和6年度		令和5年度	
	内容	備考	内容	備考
契約年月日	令和6年4月1日		令和5年4月1日	
概算契約金額	916,000		893,000	

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区分	令和6年度				令和5年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)
受託金収入	916,000	867,296	48,704	94.7	893,000	746,642	146,358	83.6

② 支出の状況

単位：円

区分	令和6年度				令和5年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)
事業費	870,000	759,580	110,420	87.3	847,000	588,650	258,350	69.5
事務費	46,000	45,480	520	98.9	46,000	45,480	520	98.9
合計	916,000	805,060	110,940	87.9	893,000	634,130	258,870	71.0

(4) 要約筆記者の活動実績

	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
利用登録者	113 人	120 人	114 人	133 人	113 人
登録要約筆記者	22 人	18 人	15 人	11 人	11 人
派遣件数(市・都)	13 件	16 件	37 件	42 件	49 件
のべ派遣時間(市)	133 時間 27 分	113 時間 16 分	324 時間 21 分	380 時間 25 分	472 時間 46 分
のべ派遣活動人数(市)	38 人	28 人 (月平均 2.3 人)	107 人 (月平均 8.9 人)	132 人 (月平均 11.0 人)	145 人 (月平均 12.1 人)

(5) 要約筆記者研修会

- ① 外部講師による研修会 (全3回) 参加延人数16人

講師：東京手話通訳等派遣センター講師

内容：全体投影技術研修 (パソコン、手書き。会議・講演会が題材)

2 1 共同募金関係

(1) 赤い羽根共同募金

※東京都共同募金会多摩地区協力会として実施

単位：円

種別	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
街頭募金	未実施※	未実施※	172,236 (11 団体)	295,015 (20 団体)	358,850 (19 団体)
自治会・住宅管理組合	540,505 (43 団体)	507,982 (43 団体)	438,313 (39 団体)	406,323 (34 団体)	404,082 (29 団体)
職域及び団体募金	235,178 (55 団体)	209,146 (54 団体)	237,626 (60 団体)	218,128 (56 団体)	187,040 (57 団体)
募金箱（公共施設）	40,236 (17 団体)	30,406 (15 団体)	27,943 (17 団体)	27,069 (18 団体)	27,792 (22 団体)
プリペイドカードによる募金	109,620 (26 団体)	79,676 (14 団体)	78,300 (12 団体)	66,330 (15 団体)	57,600 (26 団体)
個人	1,643	37,748	17,599	46	22,192
チャリティお菓子	56,100	67,700	71,500	73,100	44,600
カキ串焼き・牛タンつくね	未実施※	未実施※	未実施※	未実施	未実施
自動販売機	45,396	140,083	221,446	112,044	104,465
合計	1,028,678	1,072,741	1,264,963	1,198,055	1,206,621

()内は、協力等団体数《※R3 年度より、自治会・住宅管理組合区分に含まれていた一部（コミュニティセンター等）を団体の区分に変更》

※新型コロナウイルスの影響で未実施

(2) 歳末たすけあい運動募金（令和6年12月1日～12月31日まで）

単位：円

種別	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
街頭募金	未実施※	152,992 (8 団体)	193,272 (8 団体)	171,489 (6 団体)	277,902 (16 団体)
自治会・住宅管理組合	985,133 (74 団体)	906,163 (69 団体)	840,494 (51 団体)	814,420 (47 団体)	651,346 (37 団体)
法人(団体)募金	255,037 (22 団体)	366,781 (61 団体)	149,104 (61 団体)	119,162 (57 団体)	149,132 (44 団体)
個人募金	57,171	28,368	66,738	69,507	56,619
その他の募金 (チャリティお菓子含む)	62,173	57,700	67,100	99,500	121,800
預金利息	2	2	2	2	2
チャリティーゴルフ	290,000	320,000	301,000	300,000	345,000
自動販売機	42,893	69,299	109,726	54,895	50,836
募金額合計	1,586,047	1,692,409	1,727,436	1,628,973	1,652,635
都共募納付額 ※翌年配分金額	1,519,251	1,636,977	1,658,283	1,553,753	1,570,917

()内の団体数は、協力団体数《※R3 年度より、自治会・住宅管理組合区分に含まれていた一部（コミュニティセンター等）を法人（団体）区分に変更》

※新型コロナウイルスの影響で未実施

2 2 その他の事業

(1) 車椅子貸出事業

① 概要

目的	日常生活において一時的又は短期的に車椅子を必要とする方に車椅子を貸し出し、地域福祉の向上に寄与する。
対象	市内に住所を有する方で、下記のいずれかに該当する方又は使用者を介助する方 (1) 歩行困難な高齢者 (2) 身体障がい者 (3) 疾病、傷病等により一時的に歩行困難な者 (4) その他会長が特に必要と認めたもの
貸出期間	1回 1ヶ月以内
貸出料金	無料

② 車椅子貸出実施状況

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
貸出件数	58	120	130	115	119

平成30年度より、多摩社協窓口以外に市内社会福祉法人施設にて社協車椅子の管理・貸出を行っている。